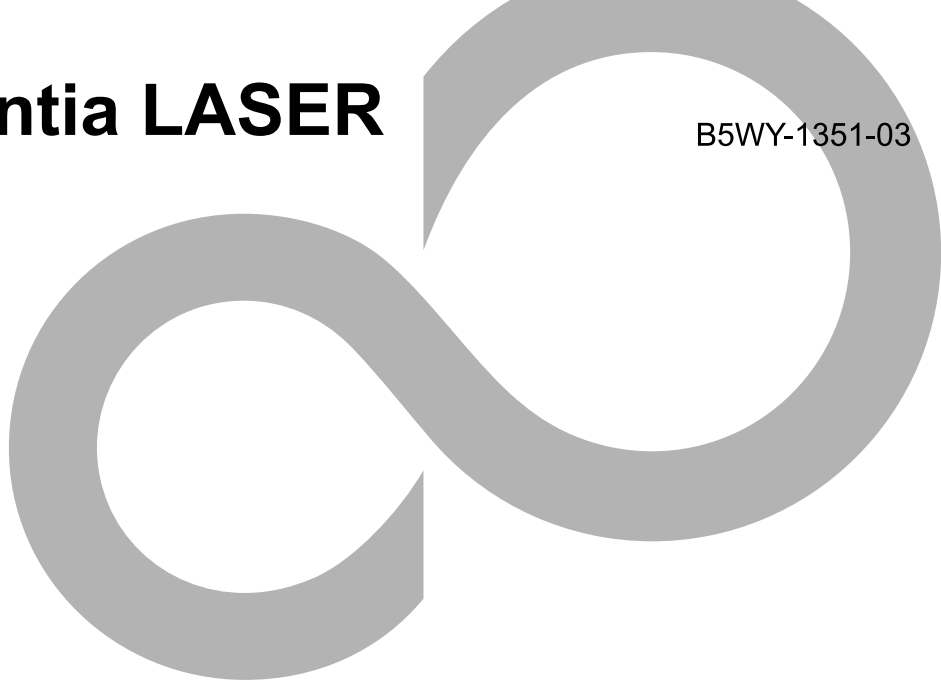
Color Printia LASER

B5WY-1351-03

Color Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ　XL-C2260

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」（9ページ）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

●電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●紙幣、有価証券などの印刷禁止について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条等

●リサイクル部品の使用について

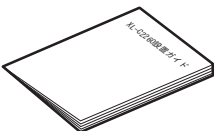
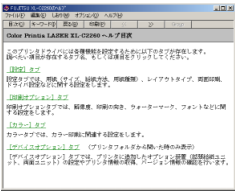
地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-C2260 をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
XL-C2260 はカラー印刷時最大 26 ページ / 分、モノクロ印刷時最大 32 ページ / 分（共に片面印刷時）の高速印刷が可能なカラーページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらについて説明しています。
本書に従って正しく取り扱い、本製品を有効にご利用ください。
なお、本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を XL-XXXX と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。機種やソフトウェアのバージョン、OS によっては表示内容が一部異なることがあります。

2010 年 10 月

マニュアルの種類

本製品では、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	設置ガイド 同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの手順および取扱説明書での参照先を紹介しています。まず、この設置ガイドを見て同梱品を確認してください。
	取扱説明書 プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。 同じ内容の PDF ファイルが、添付の CD-ROM に収められています。
	オンラインマニュアル（PDF） 添付の CD-ROM 内にソフトウェア編、取扱説明書など、機能ごとにいくつかの PDF ファイルが収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本製品の持つすべての機能について説明しています。
	オンラインヘルプ 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・［?］をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする
	クイックガイド 紙づまりのときの対処方法などが書かれています。クイックガイドを専用袋に入れ、プリンタのそばに置いてください。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

●セットアップ編

目次	内容
第 1 章　お使いになる前に	本製品を使用する前に知っておいていただきたいことについて説明しています。
第 2 章　プリンタ本体の設置	プリンタ本体の設置方法からプリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明しています。
第 3 章　オプションの装着	オプションの取り付け方について説明しています。

●運用編

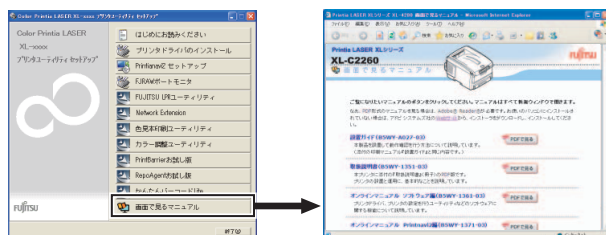
目次	内容
第 4 章　日常の操作	本製品を使用するうえで日常的に必要となる操作について説明しています。
第 5 章　オペレータパネルの操作	プリンタの液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明しています。
第 6 章　用紙について	本製品で使用できる用紙とその保管のしかたについて説明しています。
第 7 章　こんなときには	故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明しています。
付録	本製品を使用する際に補助的に必要となることがらについて説明しています。

オンラインマニュアル

目次	内容
ソフトウェア編	プリンタ設置後、パソコンから印刷を行えるようにするまでの手順や、プリンタドライバや添付ソフトウェアの使い方などの、ソフトウェアに関することがらについて説明しています。 主な記載内容： ・プリンタドライバのインストール手順 ・プリンタを共有するときの設定方法 ・プリンタドライバの機能と利用方法 ・Web ブラウザからのプリンタの状態参照や設定方法 ・プリンタドライバ、添付ソフトウェアに関するトラブルシューティングや留意事項
Printianavi2 編	印刷中の状態を表示したり、Interstage Print Manager との連携を可能にしたりする、Printianavi2 のインストール手順や機能について説明しています。

章構成について、詳しくはオンラインマニュアルを参照してください。

「画面で見るマニュアル」をご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。添付の「ColorPrintia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROMをパソコンにセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」画面で、「画面で見るマニュアル」をクリックすると次の画面が表示されます。

ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。

オンラインヘルプの見かた

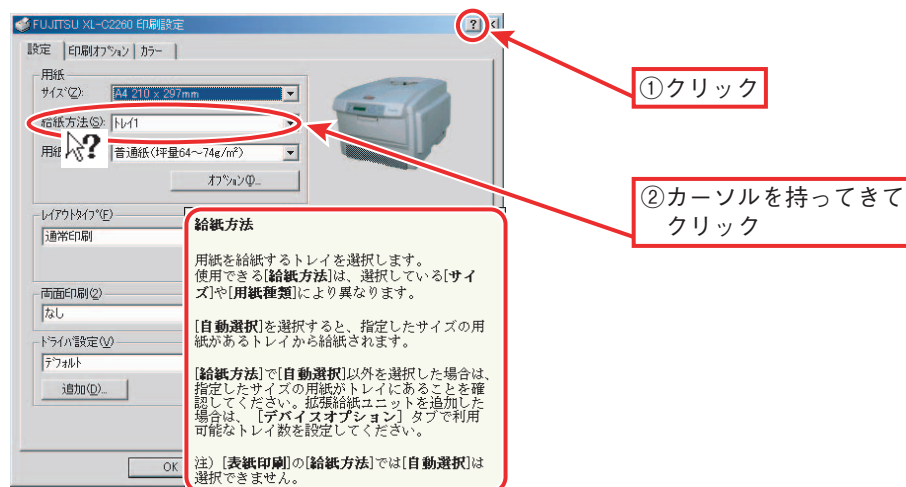
オンラインヘルプを参照する方法を、以下に示します。

ガイド

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 環境では、オンラインヘルプを使用できません。

[?] をクリックする

ダイアログの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が ?に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）給紙方法についてのヘルプを見る場合

[ヘルプ] ボタンをクリックする

［ヘルプ］ボタンがあるダイアログで［ヘルプ］ボタンをクリックすると、そのダイアログに関する詳細なヘルプが表示されます。

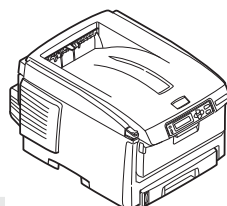
製品に関する注意事項

ここでは、本製品を正しくお使いになるうえで、お客様に特に注意していただきたい項目について、概要を説明します。各項目について、詳しくはそれぞれの参照先をよくお読みください。

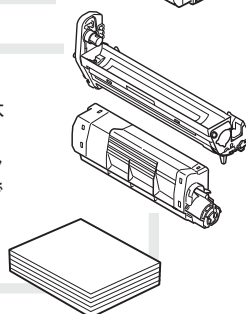
装置寿命について

本プリンタの寿命は、以下のいずれか早いほうです。
- 42万ページ印刷
- 5年（8時間/日）

注）装置寿命は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

参照「プリンタの基本仕様」（184 ページ）参照

サプライ品（消耗品）について

ドラムカートリッジやトナーカートリッジ、用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照「サプライ品一覧」（190 ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。
- 定着器　　　　　　約6万ページ印刷
- ベルトユニット　　約6万ページ印刷

注）用紙の種類や印刷条件によっては、減少します。

参照「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照

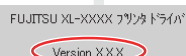
オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照「「画面で見るマニュアル」をご覧ください」（3 ページ）

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の記号を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	本製品に添付の CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」に収められている『オンラインマニュアル』内の参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

製品名称	本文中の表記
Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）	Windows 7
Windows® 7 Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）	
Windows® 7 Professional（64 ビット版／ 32 ビット版）	
Windows® 7 Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）	
Windows® 7 Starter	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit）	Windows Server 2008（R2以外）
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit）	
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（32-bit）	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（32-bit）	
Windows Vista® Ultimate（64ビット版）	Windows Vista
Windows Vista® Home Premium（64ビット版）	
Windows Vista® Home Basic（64ビット版）	
Windows Vista® Business（64ビット版）	
Windows Vista® Enterprise（64ビット版）	
Windows Vista® Ultimate	
Windows Vista® Home Premium	
Windows Vista® Home Basic	
Windows Vista® Business	
Windows Vista® Enterprise	

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition	
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	
Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP
Microsoft® Windows® XP Professional	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Adobe® Reader®	Adobe Reader

注：Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 のように併記する場合があります。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意をうながす事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⦸ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

設置および移動に関するご注意

次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。

- 火気のある場所
- ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、高温になる場所
- アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物に近い場所
- 風呂場、シャワー室などの水場、水気のある場所

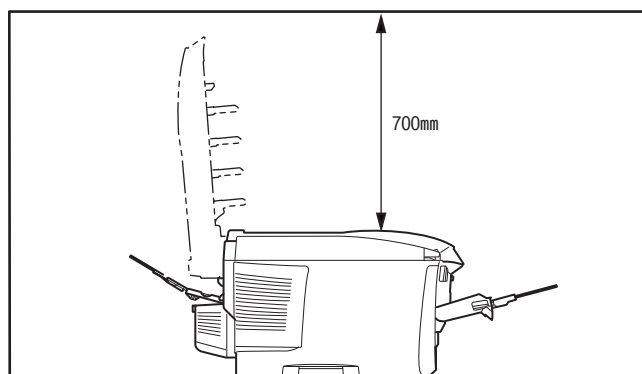
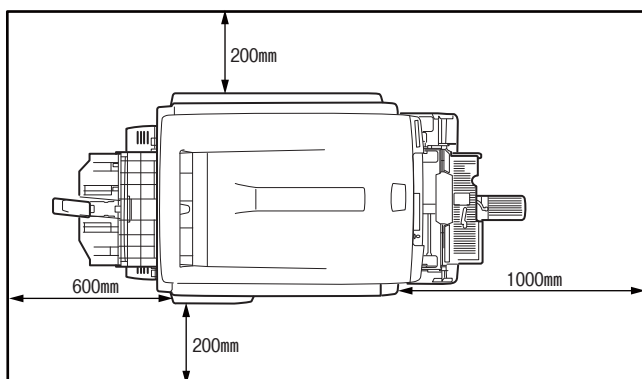
プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。

- 花瓶、植木鉢、コップなどの水や液体の入った容器
- クリップ、アクセサリーなどの金属物

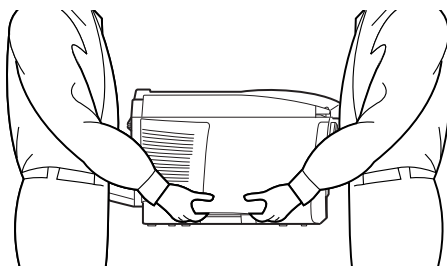
次の場所には設置しないでください。火災や感電、けがの原因になります。

- 湿気・ほこり・油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 直射日光の当たる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所などの、不安定な場所
- 温泉地などの硫黄の影響を受ける場所

⚠ 注意

プリンタの通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

⚠ 注意

本製品は、オプションや消耗品、用紙がない状態で23.9kgあります。プリンタを動かす場合は必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面に向かって、左右両側の底面にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因になることがあります。

プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

本製品は本体のみで23.9kg、最大で約42.3kg（フルオプション、消耗品および用紙最大量含む）の重さがあります。

プリンタの上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、10度以上傾けないでください。

転倒などによりけがの原因になることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元には充分注意して行ってください。

電源コードが傷付き、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。

電源に関するご注意

添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源プラグは、交流100V、15A以上のコンセント以外には差し込まないでください。本製品の定格電源は100V、最大電流15Aです。また、タコ足配線はしないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードを傷付けたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

電源コードは束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると火災の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。

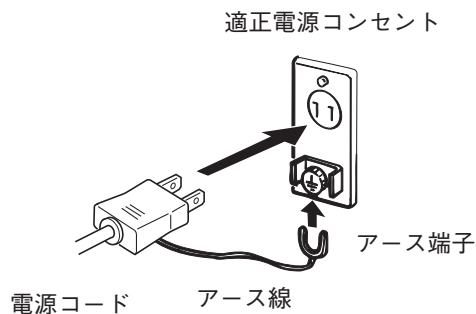
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。

- ・コンセントのアース線端子
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- ・D種（旧：第3種）接地工事を行っている接地端子

アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。

次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）

オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因になります。

近くで落雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

1ヶ月に一度は、次のようなことを点検してください。

- **電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？**
- **電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？**
- **電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？**
- **電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？**
- **アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？**

なお異常があるときは、「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。

長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

プリンタに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

通気口などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災や感電の原因になります。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。

火災や感電の原因になります。

プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。

火災や故障の原因になります。

次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
- 異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
- プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき

その後「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

プリンタを分解したり改造したりしないでください。本書で指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。

内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを火中に投じないでください。

トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。使用済みのトナーカートリッジ、ドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。

参照 「使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス」（199ページ）参照

「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。

つまった用紙を取り除くときは次のことをお守りください。

- 本書をよくお読みください。
- ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。
- 鋭利部に触れないよう注意してください。
- プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。
- 定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。

使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因になることがあります。

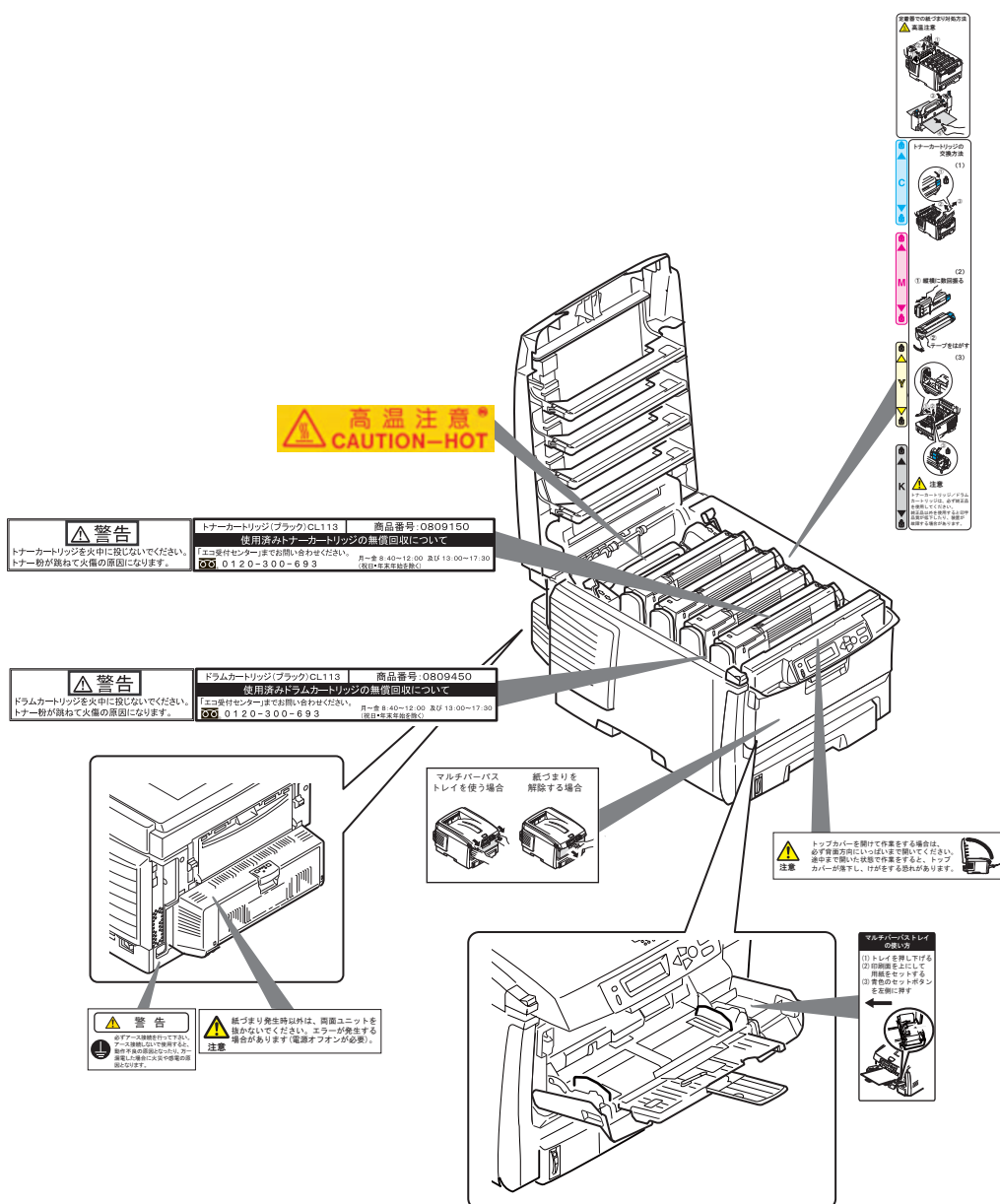
トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。

万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。

トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。

万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本製品を安全にお使いいただくために、以下のような警告ラベルおよび注意ラベルがプリンタ内部に貼ってあります。指示内容をよく読み安全にご利用ください。

●商標および著作権について

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。
Adobe、Reader は、合衆国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

目 次

セットアップ編

運　用　編

第 4 章　日常の操作 79

セットアップ編

第１章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本製品の特長

本製品の特長を示します。

1 高速で高品位な印刷

XL-C2260 はカラー印刷時最大 26 ページ / 分、モノクロ印刷時最大 32 ページ / 分（共に片面印刷時）の高速印刷が可能です。また、カラーレス印刷機能により、カラーのトナーカートリッジのいずれかがなくなった場合でも、黒トナーが残っていれば、モノクロ印刷のみを行うことができます。

2 2 つのポートに対応

USB2.0、LAN の 2 つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

3 高性能なプリンタドライバとユーティリティ

- プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷設定や、目的に応じたカラー調整が可能です。
- カラー調整ユーティリティにより、画面に表示される色とプリンタから出力される色を近づけることができます。
- ネットワークエクステンションを使うと、FUJITSU LPR ユーティリティ、FJRAW ポートモニタによりネットワーク接続した XL-C2260 のオプション設定などをパソコン上で確認できます。

参照 詳しくは、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

4 さまざまな用紙に対応

A4 ～ A6、レター、リーガルサイズに加え、はがき、往復はがき、ユーザ定義サイズ、1200mm までの長尺紙といったさまざまなサイズや、ラベル紙、OHP フィルムなどの媒体への印刷も可能です。

5 優れた拡張性

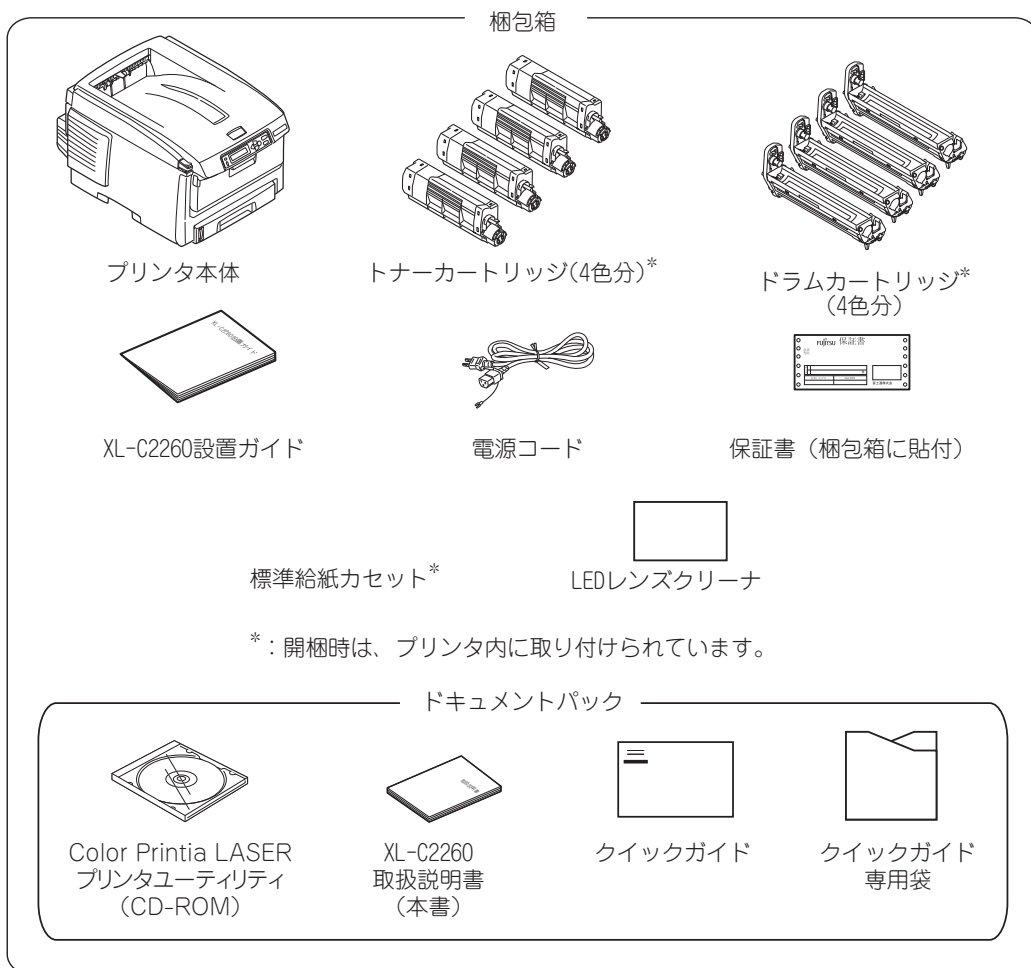
次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

- 拡張給紙ユニット…本ユニットを取り付けることで、最大 1,120 ページの用紙をセットしたり、異なったサイズの用紙を 3 種類まで同時にセットしたりできます。
- プリンタ RAM モジュール…メモリを増設することで、印刷速度を向上させたり、複雑なデータの印刷に対応させたりできます。

6 セキュリティ機能の充実

ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなどセキュリティ面でも優れた機能を持っています。

製品の確認（梱包されている製品）

本製品は、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず 2 人以上で持ち運んでください。

お願い

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付ける場合は、通気口をふさがないように注意してください。
本製品には、パソコンとの接続ケーブル（USB ケーブル）は添付されていません。
別売ケーブルをお使いください。

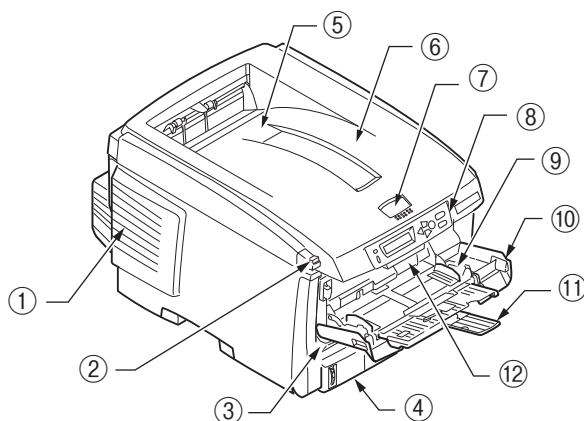
参照 「プリンタケーブル」（68 ページ）参照

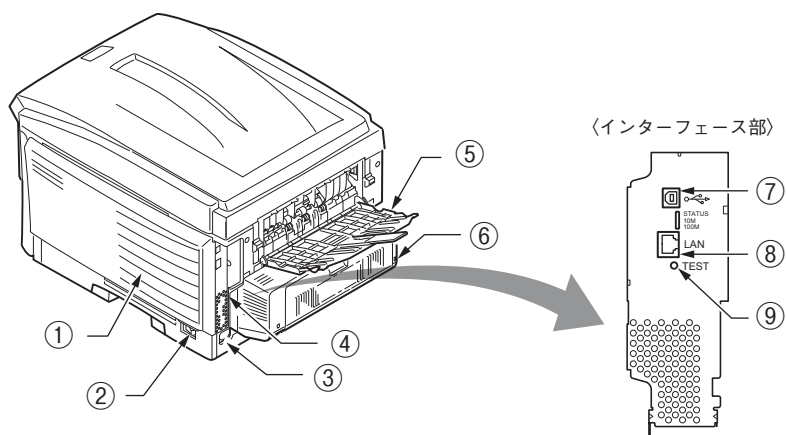
ガイド

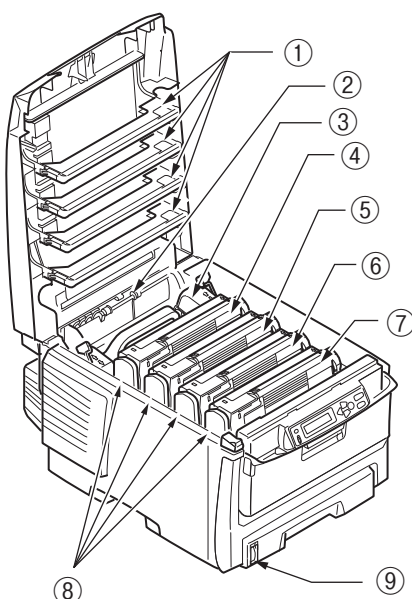
・本製品に添付されたトナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、使用開始から１年以内に使い切ることをお勧めします。
・移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。
・クイックガイドはクイックガイド専用袋に入れてプリンタのそばに置いておくと、困った時にすぐに参照できて便利です。

各部の名称と機能

本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前面

①	通気口	プリンタ内部の加熱した空気を排出します。
②	オープンボタン	トップカバーを開くときに押します。
③	フロントカバー	プリンタ正面のカバーです。
④	給紙カセット	用紙をセットします。
⑤	フェイスダウンスタッカ	印刷された用紙が印刷面を下にして排紙されます。
⑥	トップカバー	プリンタ内部を保護します。
⑦	ディンプルマーク	トップカバーを閉じるときに、この部分を押してロックします。
⑧	オペレータパネル	操作に必要なボタンとメッセージが表示される液晶ディスプレイ、動作状態を示すランプで構成されます。
⑨	手差しガイド	用紙の左右位置を固定します。
⑩	マルチパーパストレイ（手差しトレイ）	用紙をセットします。はがきや厚紙、長尺紙などに印刷するときは、このトレイを使用します。
⑪	用紙サポータ	マルチパーパストレイにセットした用紙を支えます。
⑫	フロントカバーの取っ手	フロントカバー部で紙づまりが発生した場合に、本取っ手を引き出し、用紙を取り除きます。

●背面

①	通気口	プリンタ内部の過熱を防ぐために外気を吸入します。
②	電源スイッチ	電源の投入、切断を行います。
③	電源コードコネクタ	電源コードを接続するためのコネクタです。
④	インターフェース部	パソコンと接続するためのコネクタです。
⑤	フェイスアップスタッカ	印刷された用紙が印刷面を上にして排紙されます。
⑥	両面ユニット	両面印刷を行うときに使用します。
⑦	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB インターフェースで接続するためのコネクタです。
⑧	LAN ケーブルコネクタ (100/10BASE)	プリンタとパソコンを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑨	TEST スイッチ	ネットワークの初期化、ネットワーク情報の印刷を行います。 スイッチを押しながら電源を入れると、ネットワークの初期化を行います。IP アドレスなどのネットワーク設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

●内部

①	LED ヘッド（4ヶ所）	感光ドラムに印刷する文字などを書き込みます。
②	排出ローラ	用紙を送り出すためのローラです。
③	定着器	トナーを熱で用紙に定着させます。定着器は定期交換部品です。
④	トナーカートリッジ（C シアン）	印刷に必要なトナーをドラムカートリッジに供給します。トナーがなくなった場合、トナーカートリッジを交換します。トナーカートリッジはサプライ品です。
⑤	トナーカートリッジ（M マゼンタ）	
⑥	トナーカートリッジ（Y イエロー）	
⑦	トナーカートリッジ（K ブラック）	
⑧	ドラムカートリッジ	感光ドラムに書き込まれた文字などにトナーを付着させます。ドラムカートリッジはサプライ品です。
⑨	用紙残量インジケータ	給紙カセット内の用紙量の目安を表示します。

添付 CD-ROM のご紹介

本製品には「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM が添付されています。この CD-ROM にはプリンタドライバやネットワークで使用するために必要なソフトウェア、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが格納されています。
これらのソフトウェアは、インストーラからインストールできます。インストーラは、添付 CD-ROM「Color Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に起動します。

ガイド

- インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「XLSTART.EXE」をダブルクリックしてください。
- CD-ROM に収録されているソフトウェアについて、詳しくは『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」、および CD-ROM ドライブ直下にある「Readme.txt」を参照してください。

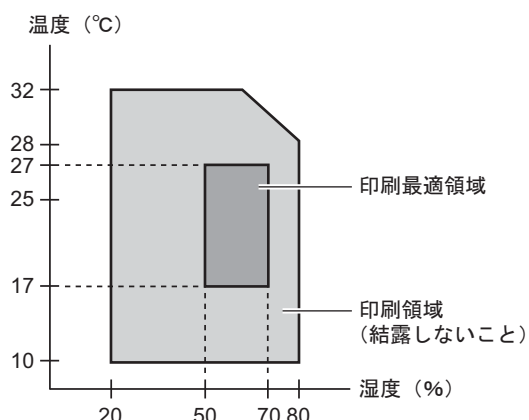
第２章

プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は以下のとおりです。

印刷最適領域を超えて使用した場合には、印刷品質が低下することがあります。
冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

・サーバ接続などによりプリンタの夜間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

・プリンタを傾けないでください。
トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

・プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
斜行などにより印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。

・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

・化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。

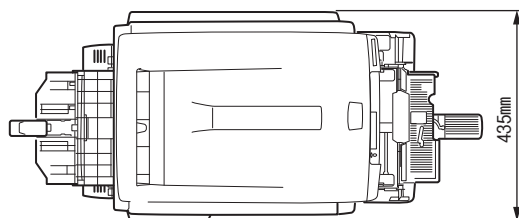
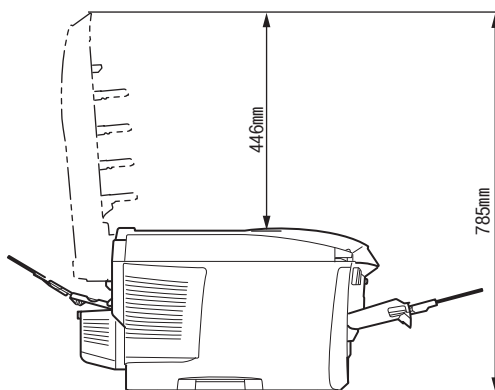
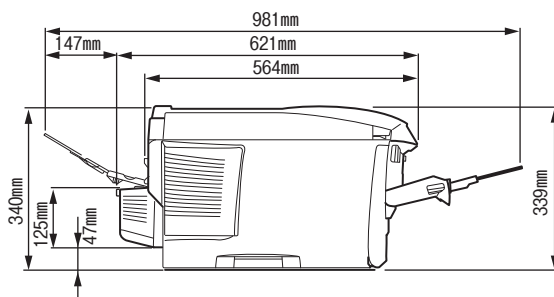
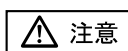
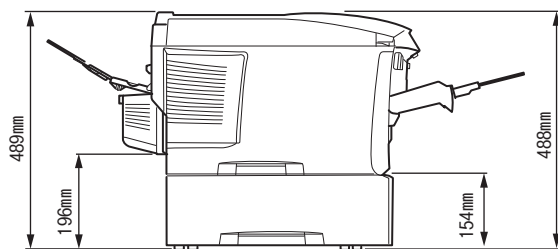
・プリンタや他の機器の、電源コードの上にプリンタを載せないでください。
電源コードが傷付き、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

ー超音波加湿器をご使用のお客様へー
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

上面図

側面（標準）

側面（拡張ユニット装着時）

⚠ 注意

火　災	プリンタの背面と側面には通気口があります。プリンタは壁から充分離して設置してください。
参照	「安全上のご注意」（9 ページ）参照
け　が	設置する台は、プリンタの足全体が充分に載る大きさの物を準備してください。

プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

プリンタ本体の設置

参照 「第２章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

プリンタから印刷が行えるように、プリンタ本体の設置や用紙のセットを行います。

オプションの取り付け

参照 「第３章　オプションの装着」（65 ページ）参照

- 拡張給紙ユニット
- プリンタRAMモジュール
など

ケーブルの接続

お使いの接続、運用形態にあわせてケーブルを接続します。

参照 「ケーブルの接続」（58 ページ）参照

※お使いのOSがWindows7、またはMicrosoft Windows Server 2008 R2でUSBケーブルで接続する場合は、接続を行なう前に、プリンタドライバをインストールしておく必要があります。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」「第２章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」参照

ソフトウェアのインストール

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

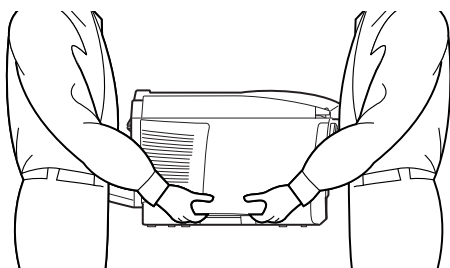
お使いの接続、運用形態にあわせて必要なソフトウェアをインストールします。

※　CD-ROMをパソコンにセットしてください。

梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」（29 ページ）に記載してあります。

本体の取り出し

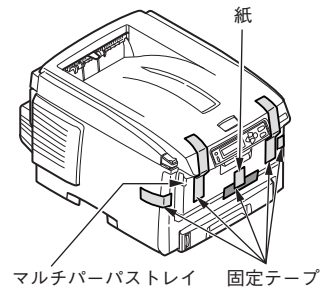
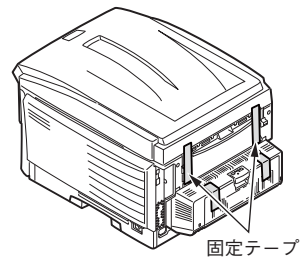
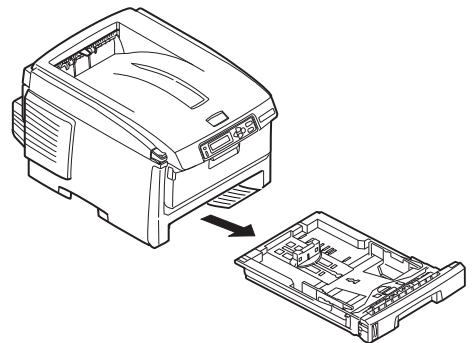
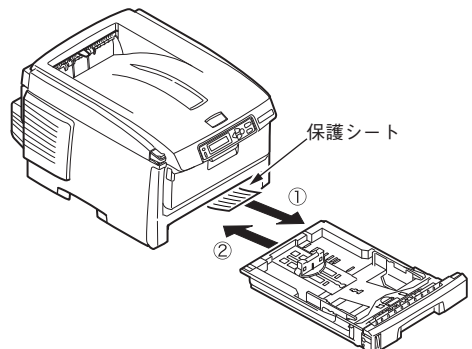
1. 梱包箱の四辺にある留め具（白い部品）を外し、梱包箱の上側を外す
2. 緩衝材、同梱品を取り出す
3. ビニールを外し、プリンタの左右両側の下方にある取っ手部を持ち、水平に保ちながら取り出す

お願い

本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 23.9kg あります。プリンタを動かす場合は必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、左右両側の下方にあるくぼみをしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

4. 水平でしっかりした机などの上に静かに置く

固定テープ、保護シートの取り外し

プリンタ各部に貼られている固定テープおよび紙を取り外し、装置内部の保護シートを取り除きます。

1. プリンタ前面の固定テープ（5ヶ所）と紙を、マルチパーパストレイを開けながらはがす

2. プリンタ背面の固定テープ（2ヶ所）をはがす

3. 用紙カセットを完全に抜く

4. ①保護シートを手前に引き抜いてから、②用紙カセットを元の位置に戻す

オプション品の取り付け

お願い

以下のオプション品は、ドラムカートリッジや用紙を取り付ける前に、プリンタ本体に取り付けてください。
- 拡張給紙ユニット
- プリンタ拡張 RAM モジュール -256MB

各オプション品の取り付けは、第 3 章の目的の項目を参照してください。

参照 「拡張給紙ユニットの取り付け方」（70 ページ）参照

参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付け方」（73 ページ）参照

トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け

ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを取り扱う場合は、次の点に注意してください。

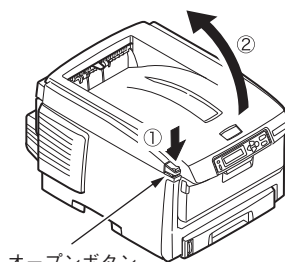
⚠ 警告	故　障	ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

お 願 い

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムカートリッジまたはトナーカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内に終了してください。
- ドラム表面には手を触れないでください。また、ドラムカートリッジを立てたり、裏返して置いたりしないでください。ドラムを傷付けることがあります。
- 遮光フィルムは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。遮光フィルムをむやみに開けないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
- トナーカートリッジ、ドラムカートリッジは、安定した画質を維持するために、開封後1年以内に使い切ることをお勧めします。
- 交換用のトナーカートリッジを使用した後は、製品購入時に添付されているトナーカートリッジは使用できなくなります。製品添付のトナーカートリッジを使用し、「マモナク　トナーギレ」または「トナーコウカン」になってから、交換用のトナーカートリッジをご使用ください。

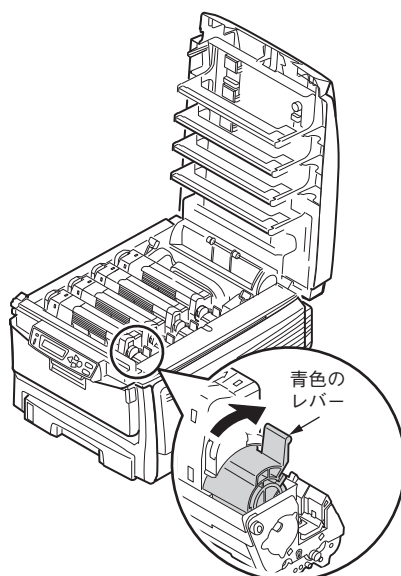
1 オープンボタンを押し下げ、トップカバーを開ける

お 願 い

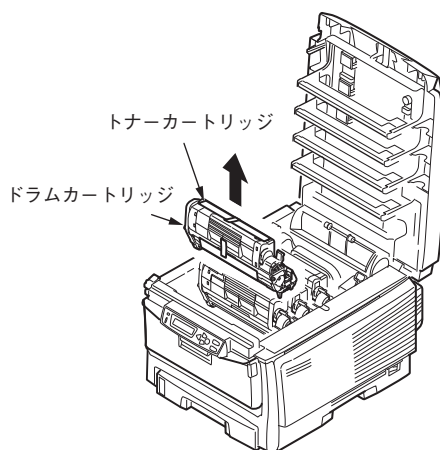
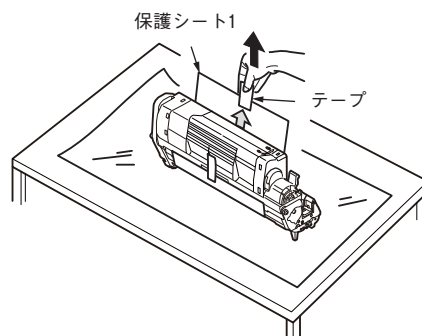
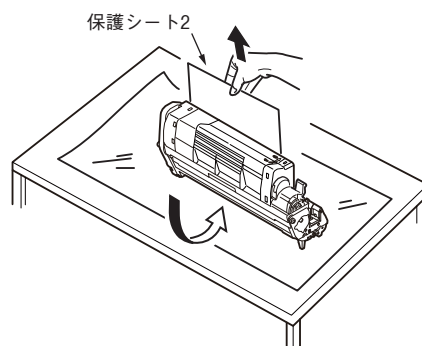
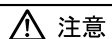
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

2 定着器のレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）の上部を左側に押しながら取り外す（②）

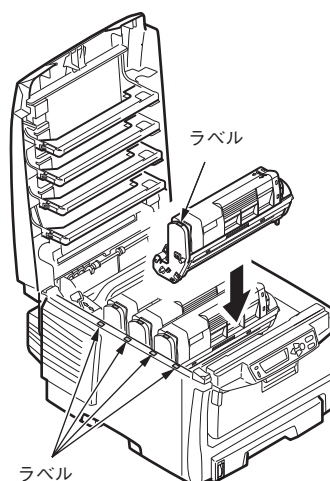
お願い

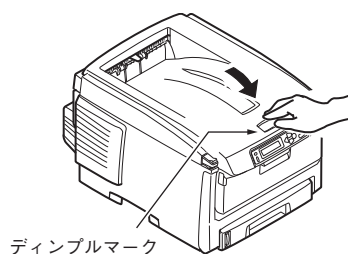
- ストッパリリースを左側に押す場合は、指を挟んだり、指に強く当たったりするおそれがあるため、充分に注意してください。
- ストッパリリースはプリンタを長時間使用しないときや、輸送するときに使います。必ず保管してください。

3 トナーカートリッジの青色のレバー（4ヶ所）を矢印の方向にいっぱいまで回す

4 トナーカートリッジを付けたまま、ドラムカートリッジ（4 個）を静かに上に取り出す

お願い

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷付きやすいため取り扱いには充分注意してください。
- ドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

5 紙を敷いた、平らなテーブルの上にドラムカートリッジを置き、保護シート１を留めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く

6 保護シート２を矢印の方向に引き抜く

7 同様に、他のドラムカートリッジからも保護シート１と２を取り除く

⚠ 注意	故 障	電源を入れる前に必ずドラムカートリッジの保護シートを取り外してください。故障の原因になります。

8 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせ、ドラムカートリッジ（4 個）を静かに戻す

ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

ガイド

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、サプライ品と比較すると少なくなっています。A4 サイズの用紙に 5%の印刷密度（1 ページの印刷可能領域でトナーの付いている面積の割合）で、1 度に 3 ページを出力する印刷ジョブを繰り返した場合（片面連続印刷時）、約 1500 ページ印刷できます。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、オペレータパネルの「トナーカートリッジ　ナシ」の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- オペレータパネルに「カートリッジ / レバーカクニン」が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。
- 通常のトナーカートリッジを使用した後は、製品購入時に添付されているトナーカートリッジは使用できなくなります。
  製品添付のトナーカートリッジを使用し、「マモナクトナーギレ」または「トナーコウカン」になってから、通常のトナーカートリッジをご使用ください。

電源の投入

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードを接続する

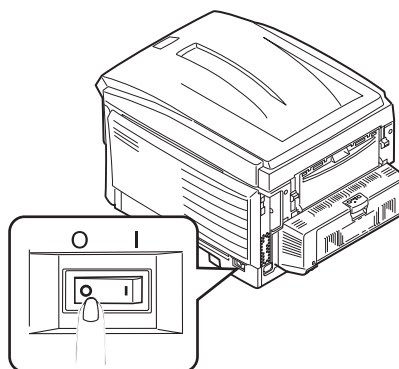
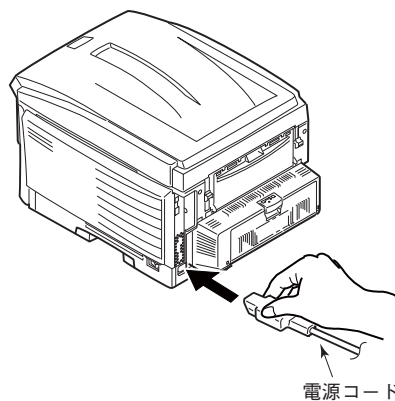
次の手順で、電源コードを接続します。
本製品の電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

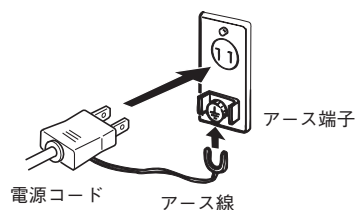
⚠ 警告

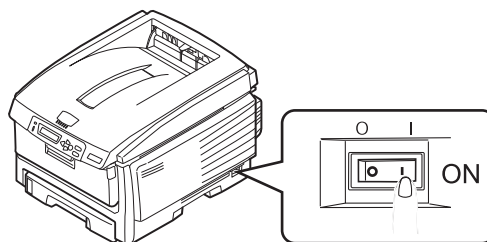
感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります。） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）
感　電	プリンタや他の機器の、電源コードの上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷付き、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意

故 障	電源を入れる前に必ずドラムカートリッジのシートを取り外してください。故障の原因になります。

1. スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

2. 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む

3. 電源コードのもう一方をコンセントに差し込む

・アース接続は必ず行ってください。
・アース接続を行ってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れる

プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

オペレータパネルの液晶ディスプレイに、「イニシャルチュウ」と表示される。この表示が「オンライン」に変わることを確認する

ガイド

オンライン表示後は、しばらくの間「ウォーミングアップ」「カラーチョウセイチュウ」が交互に表示されます。液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、「オペレータパネルのエラーメッセージ」(175ページ)を参照してください。

用紙のセット

ここでは、用紙トレイやマルチパーパストレイに用紙をセットする手順について説明します。

> **ガイド**
> 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つのトレイにセットすることはできません。

用紙トレイに用紙をセットする

標準の給紙カセット、またはオプションの拡張給紙ユニットへの、用紙のセット方法は同じです。A6 サイズの用紙に印刷する場合は、標準の給紙カセット、またはマルチパーパストレイから印刷してください。

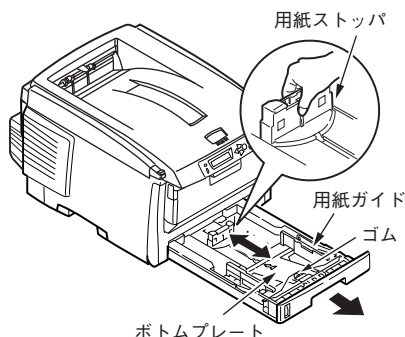
> **ガイド**
> - 用紙は、印刷する面(両面印刷時は表面)を下にしてセットしてください。
> - 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
> - 用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。
> - 指定した量を超えて用紙をセットしないでください。
> - 厚紙や OHP フィルム、ラベル紙などの特殊紙は給紙カセットからの印刷はできません。
> - 給紙カセットを差し込むときは、勢いよく押さないでください。
> - 印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。
> - 給紙カセットの用紙は、完全になくなってから補充してください。このとき用紙をつぎ足して補充すると、複数の用紙が同時に給紙され、紙づまりが発生する場合があります。
> - A5 より小さい用紙の場合は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください(「印刷面を上にして用紙を排出する」(85 ページ)を参照)。
> - プレプリント用紙に印刷する場合は、用紙上端を給紙カセットの手前側に向けてください。

次の手順に従って、給紙カセットへ用紙をセットしてください。ここでは標準の給紙カセットへのセット方法を例に説明します。

給紙カセットを引き出す

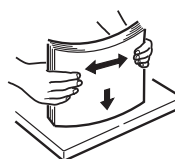
ボトムプレートに付いているゴムは、はがさないでください。

2

セットアップ編

2 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、固定する

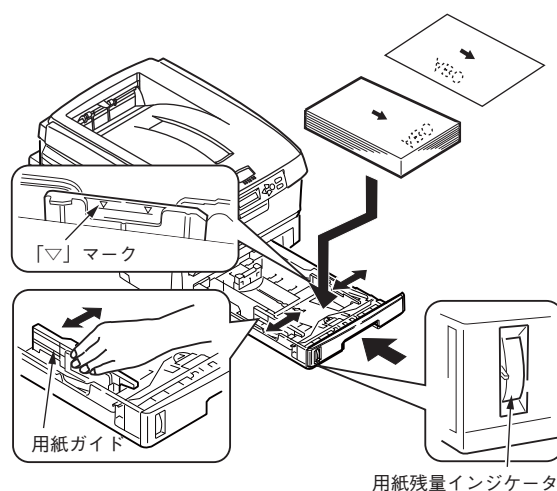
ガイド

標準の給紙カセットに A6 サイズの用紙をセットする場合は用紙ストッパを取り外し、「A6」と書かれている位置に取り付けてください。

3 用紙の上下左右を揃える

4 印刷面を下に向けて用紙をセットする

用紙は給紙カセットの手前に寄せて置き、用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。

5 用紙ガイドで用紙を固定する

6 給紙カセットをプリンタに戻す

お願い

セットした用紙が給紙カセットに押しつけられた状態で給紙カセットをプリンタに戻すと、ボトムプレートが上がらず、用紙なしアラームになることがあります。この場合は、用紙ストッパの位置を用紙表示目盛りから1～3クリックの範囲でうしろにずらしてください。

マルチパーパストレイに用紙をセットする

はがき、封筒、OHP フィルムなどは、マルチパーパストレイから印刷してください。複数枚の用紙を自動給紙できます。

ガイド

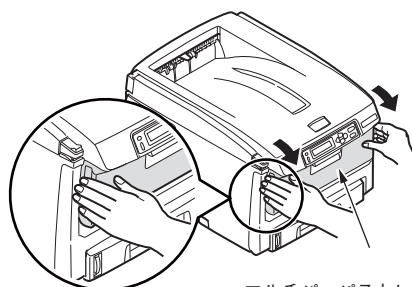
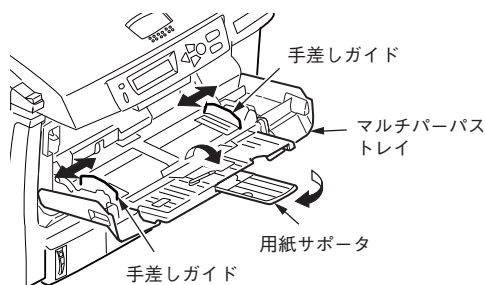
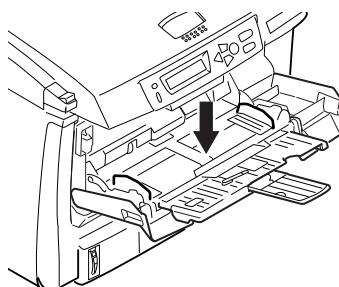
マルチパーパストレイから複数の用紙を連続して給紙する場合は、プリンタドライバの「給紙オプション」ダイアログを表示し、「マルチパーパストレイ設定」の「手差しとして扱う」のチェックを外してください。

参照　給紙オプションについては、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

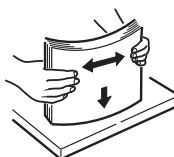
お願い

- 用紙は、印刷する面を上にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
- 用紙が曲がるほど用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。
- マルチパーパストレイの上には、印刷する用紙以外のものを置かないでください。
- マルチパーパストレイを上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- 厚紙（用紙種類：より厚い紙、ごく厚い紙）、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙や A5 より小さい用紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください（「印刷面を上にして用紙を排出する」（85 ページ）を参照）。
- はがき、封筒、OHP フィルムなどの用紙は両面ユニットを使用した自動の両面印刷はできません。詳しくは、「使用できる用紙のサイズ」（146 ページ）を参照してください。

次の手順に従って、マルチパーパストレイへ用紙をセットしてください。

1 マルチパーパストレイを手前に開き、次に用紙サポータを開く

2 手差しガイドを用紙サイズに合わせる

3 トレイ（底板）が上がっている場合は、トレイを押し下げる

4 用紙の上下左右を揃える

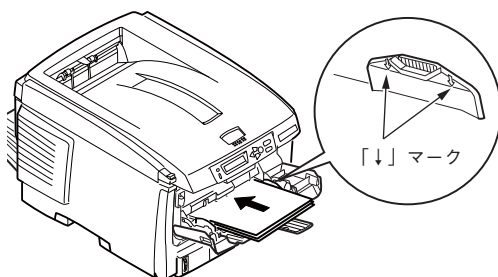
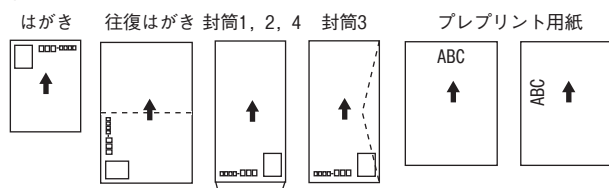
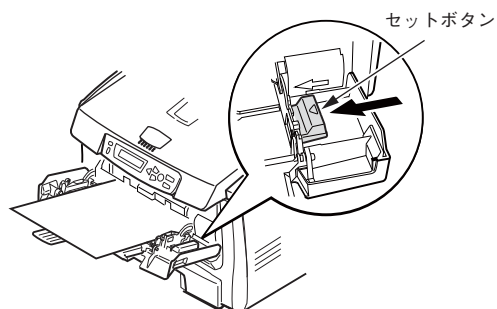
お願い

普通紙は端面を揃えてそのままセットしてください。また、はがきなどの特殊用紙の場合は、端面がくっついている場合があります。用紙をよくさばき、端面を揃えてからセットしてください。

印刷面を上に向けて用紙をセットする

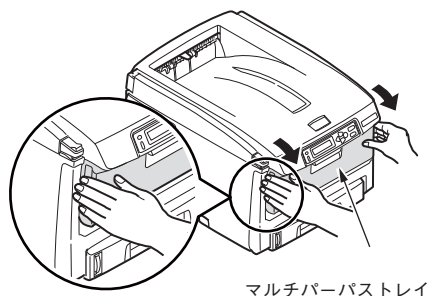
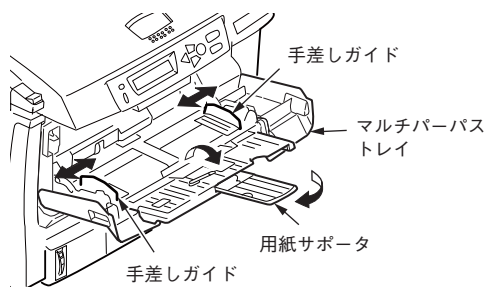
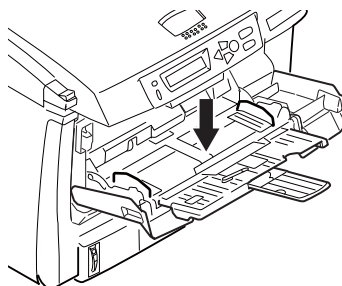
用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込む

用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1，2，4　封筒3　プレプリント用紙

ABC　ABC

6 セットボタンを押す

手差しで印刷する

マルチパーパストレイに用紙をセットし、1 枚ずつ手差し印刷を行います。
アプリケーションで印刷を実行後、プリンタに用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押して印刷します。

マルチパーパストレイを手前に開き、次に用紙サポータを開く

2 手差しガイドを用紙サイズに合わせる

3 トレイ（底板）が上がっている場合は、トレイを押し下げる

4 用紙の排出先をセットする

参照 「用紙の排出面を切り替える」(84 ページ）を参照

5 アプリケーションを起動し、印刷したいファイルを開く

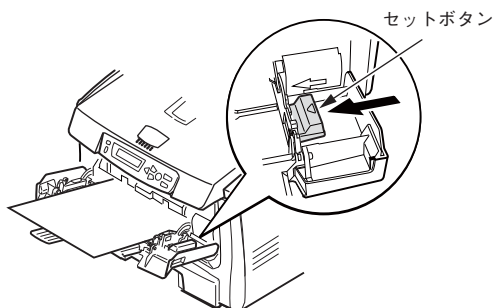
プリンタドライバの「給紙オプション」ダイアログの「手差しとして扱う」をチェックします。

6 プリンタドライバで「用紙サイズ」、「給紙方法」を選択する

「設定」タブの「給紙方法」で「マルチパーパストレイ」を選択します。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

7 用紙をセットし、セットボタンを押す

プリンタのオペレータパネルに「XX ヲ　MP トレイニ　セットシテ／オンライン　ヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、「XX」に表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイにセットし、セットボタンを押します。

8 「オンライン」スイッチを押す

印刷が開始されます。

設定内容の印刷

次の操作で設定内容を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
・オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3 「メニュー＋」スイッチを1回押し、「インフォメーションメニュー」と表示する

4 「設定」スイッチを１回押し、「セッテイ　ナイヨウ　インサツ」と表示する

5 「設定」スイッチをもう１回押す

設定内容の印刷が開始されます。
印刷が完了すると、「オンライン」表示に戻ります。

6 印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第７章　こんなときには」（155 ページ）参照

参照　オペレータパネルについて、詳しくは「第５章　オペレータパネルの操作」（115 ページ）参照

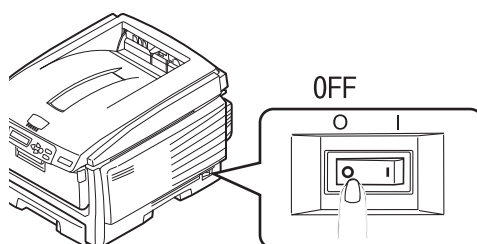
電源の切断

お願い

- 印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照 「紙づまりになったとき」(156 ページ)参照

- 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。

プリンタ本体左側面にある電源スイッチをオフ(「〇」側)に倒す

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照 パソコンと USB ケーブルで接続するには
「USB ケーブルの接続」(59 ページ)参照

参照 LAN ケーブルで接続するには
「LAN ケーブルの接続」(61 ページ)参照

ケーブルの接続

お使いの環境、運用形態にあわせ、プリンタにケーブルを接続します。

ガイド

- 接続方法は、お使いの環境、運用形態に合わせて以下を目安に選択してください。
  - USB ケーブルで接続
    1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
  - LAN ケーブルで接続
    プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
    LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
- サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
- 本製品は、USB ／ LAN のケーブルを同時に接続することができます。

参照 「複数のポートに同時接続するときの注意事項」(63 ページ) 参照

USB ケーブルの接続

USB ケーブルコネクタにパソコンを接続するときの注意事項と手順について説明します。

環境

・パソコン
USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 日本語版

お願い

・お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
・Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」「第２章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」を参照し、プリンタドライバをインストールしてから USB ケーブルを接続してください。
・Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
・Windows 95/NT 4.0 では動作しません。
・パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
・印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
・USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
・本製品と接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
・USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

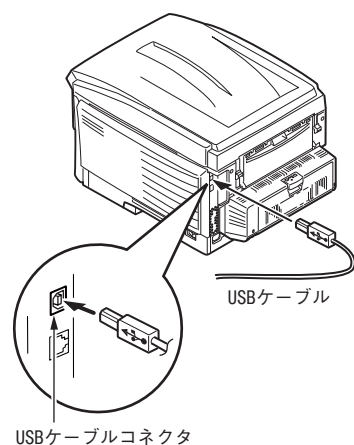
ガイド

・USB2.0 でお使いになるにはパソコンが USB2.0 に対応している必要があります。
・USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。
参照 「プリンタケーブル」（68 ページ）参照

USBケーブルをプリンタ背面にあるUSBケーブルコネクタに差し込む

パソコンに USB ケーブルを接続する

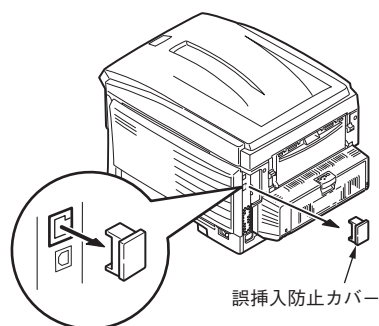
パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」「ネットワークを利用しないプリンタの接続」で、USB 接続時のプリンタドライバのインストール方法に関する説明を参照してください。

LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5、またはエンハンスドカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。
また、次ページの「LAN に接続するときの注意事項」もあわせてお読みください。

1 プリンタ本体背面のLANケーブルコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外す

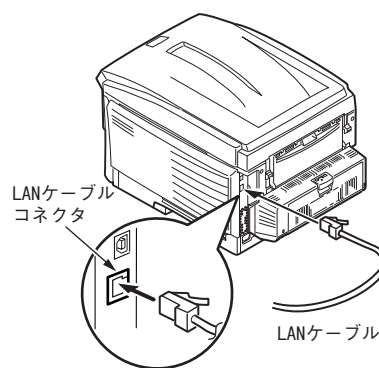
お願い

誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

2 LAN ケーブルをプリンタの LAN ケーブルコネクタに差し込む

この後は、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」で、ネットワーク接続時の設定方法の説明を参照してください。

ガイド

LAN ケーブルで接続した場合は、プリンタに IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、オペレータパネルから設定することができます。

参照 オペレータパネルで IP アドレスを設定する方法は、「IP アドレスの設定」（138 ページ）参照

LANに接続するときの注意事項

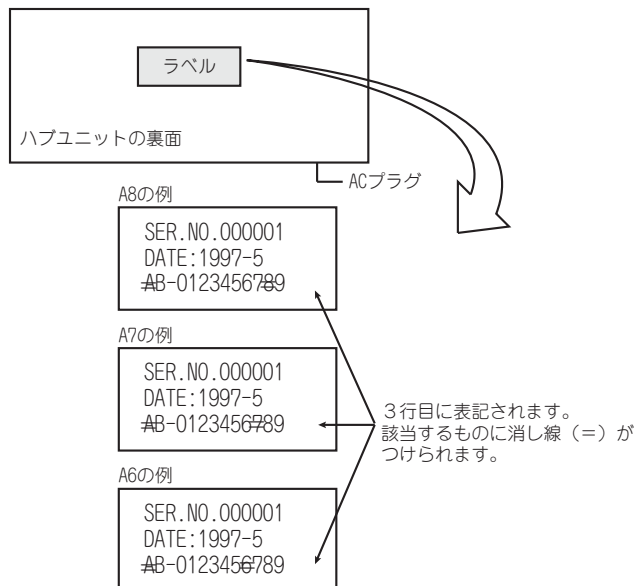
・LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
本製品の Ethernet タイプは、「ジドウ」「100BASE-TX FULL」「100BASE-TX HALF」「10BASE-T FULL」「10BASE-T HALF」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの「ネットワークメニュー」－「ハブトノセツゾク」で変更します。

メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
なお、プリンタとハブユニットの Ethernet タイプを「自動」以外の固定値に設定することで、なんらかの要因で回線の切断が一時的に発生しても、その後の通信再開がより速やかになります。

・ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。

・ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご相談ください。

ラベルの見かたを次の図に示します。

複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、他のパソコンを USB ケーブルコネクタに接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。

参照　ポートの切り替え時間については、「メニューモードの項目一覧」の「システム　コウセイ　メニュー」－「「タイムアウト インサツ」（131 ページ）」参照

・使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
・使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。

お願い

印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

第3章

オプションの装着

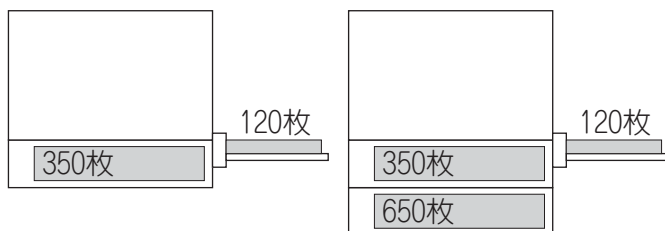
本製品のオプションには、拡張給紙ユニット、プリンタ RAM モジュールがあります。これらの取り付け方について説明します。

オプション品のご紹介

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF65CC	2段目として使用できる給紙ユニットです。 650 枚(64g/ ㎡ 用紙の場合)積載可能な給紙カセット1段の構成です。

●形態

プリンタ本体のみ

プリンタ本体
＋
拡張給紙ユニット

ガイド

- 異なるサイズの用紙を、同時に1つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

プリンタ RAM モジュール

本製品には、次のプリンタ RAM モジュールを 1 枚搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256CC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増加することにより、印刷可能範囲や部単位印刷の印刷可能枚数が増えます。

●プリンタ RAM モジュールによる印刷可能範囲の目安

搭載されている RAM の容量と印刷品位によって印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を以下の表に示します。

◎：どのようなデータも確実に印刷できます。
○：データの内容によって印刷できない場合があります。
－：本設定では使用できません。

＜片面印刷＞

容量	256MB（オプションなし）				512MB（オプション：256MB）			
印刷品位	はやい	ふつう	きれい	高精細	はやい	ふつう	きれい	高精細
リーガル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ユーザ定義サイズ	○ *1	○ *1	○ *1	○ *1	◎	◎	◎	◎
長尺紙	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎

*1：幅 210mm 以上かつ長さ 356mm 以上で印刷できない場合があります。

<両面印刷>

容量	256MB（オプションなし）				512MB（オプション：256MB）			
印刷品位	はやい	ふつう	きれい	高精細	はやい	ふつう	きれい	高精細
リーガル	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A6	—	—	—	—	—	—	—	—
はがき	—	—	—	—	—	—	—	—
ユーザ定義サイズ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
長尺紙	—	—	—	—	—	—	—	—

参照　「使用できる用紙のサイズ」（146 ページ）、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

ガイド

片面印刷でユーザ定義サイズ／長尺紙をご使用の場合、オプションのプリンタ RAM モジュールが必要な場合があります。

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

ガイド

本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。

お願い

以下の長さのシールドケーブルをお使いください。
USB ケーブル：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

● USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠ 警告	感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠ 注意	け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

お願い

オプション品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

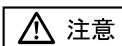
拡張給紙ユニットの取り付け方

オプションの拡張給紙ユニットを本製品に取り付けると、次のサイズの用紙に印刷でき、標準の給紙カセットおよびマルチパーパストレイとあわせて最大 1,120 枚（用紙厚が坪量 64g/ ㎡の場合）をセットできます。

A4 〜 A5、レター、リーガル

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、「オプション品のご紹介」（66 ページ）参照

⚠ 警告

感　電	拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠ 注意

け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、充分に注意してください。手を傷付けるおそれがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 23.9kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右両側の下方にあるくぼみをしっかり持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 拡張給紙ユニットを平らな床に置く

2 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントから抜きます。
LAN ケーブル、USB ケーブルを外します。

3 プリンタ底面の穴と拡張給紙ユニットの突起を合わせる

4 プリンタを拡張給紙ユニットの上に静かに載せる

5 プリンタに電源コード、ケーブルを取り付け、電源を入れる

プリンタの電源スイッチを「｜」側に倒します。

6 設定内容の一覧を印刷し、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認する

「トレイ 2」が表示されていることを確認します。

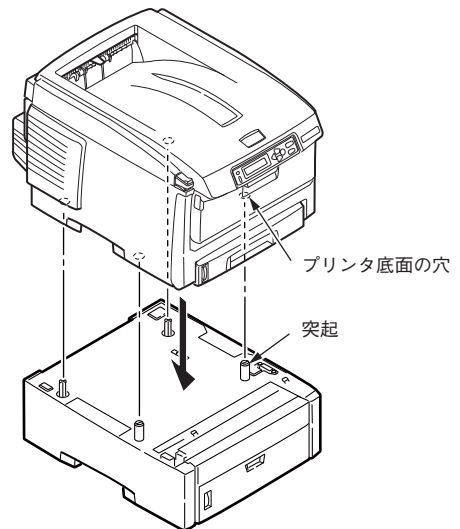
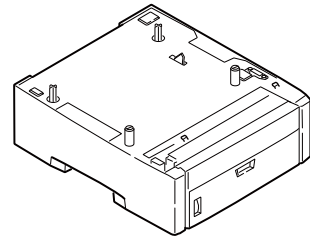
印刷メニュー
　コピー枚数 : 1
　モノクロ印刷速度 : モード 1

メディアメニュー
　トレイ1用紙サイズ : A4
　トレイ2用紙サイズ : A4
　MPトレイ用紙サイズ : A4

参照　「設定内容の印刷」（56 ページ）参照

これで、拡張給紙ユニットの取り付けは完了です。

お願い

拡張給紙ユニットを増設した場合は、必ずプリンタドライバでデバイスオプションの設定を行ってください。

参照　プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

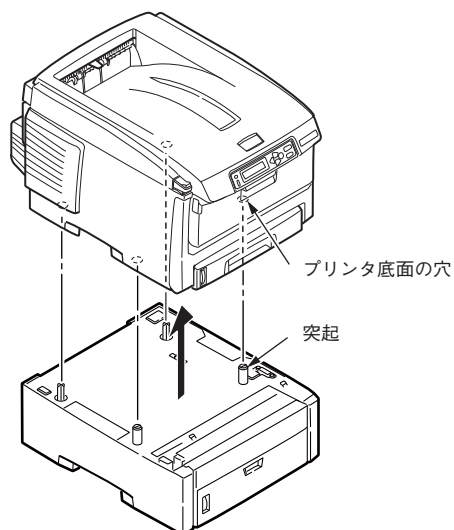
ガイド

取り外し前に、あらかじめプリンタを置くスペースを確保しておいてください。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントから抜きます。
LAN ケーブル、USB ケーブルを外します。

2 プリンタの両サイド下側を2 人以上で持ち、拡張給紙ユニットから取り外す

持ち上げ方に関しては、「安全上のご注意」の（11 ページ）をご参照ください。

プリンタ RAM モジュールの取り付け方

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠ 警告

感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- 本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
- モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

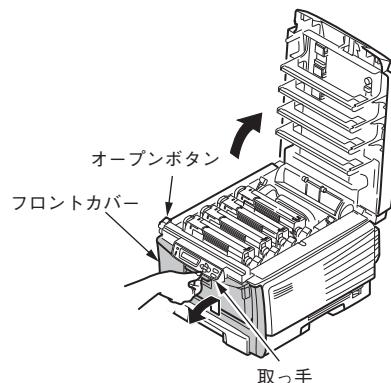
プリンタ RAM モジュールを取り付ける

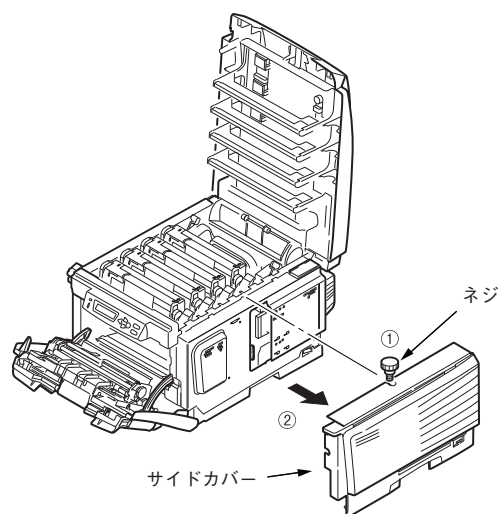
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

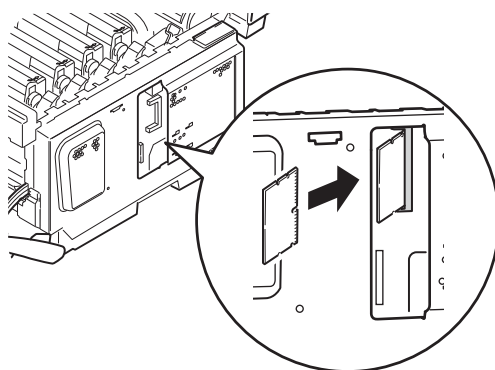
プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントから抜きます。
LAN ケーブル、USB ケーブルを外します。

2 トップカバーとフロントカバーを開く

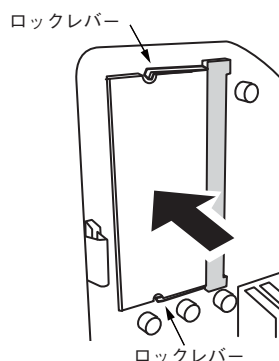
オープンボタンを押し、トップカバーを開きます。フロントカバー上部中央にある取っ手を持ち、フロントカバーを手前に開きます。

3 ネジをゆるめ（①)、サイドカバー（右側）を外す（②）

サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 プリンタ RAM モジュールの向きに注意して、溝に合わせて斜めにゆっくりと奥まで差し込む

お願い

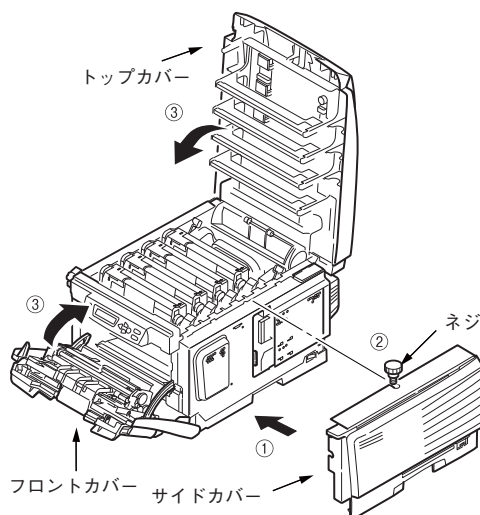
- プリンタRAMモジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには充分注意してください。
- プリンタ RAM モジュールを奥まで充分に差し込まなかった場合、電源投入時に「005:FATAL ERROR」、「031:FATAL ERROR」または「COMMUNICATION ERROR」とオペレータパネルに表示されることがあります。この場合は、いったん電源を切り、プリンタ RAM モジュールを取り付け直してください。

5 プリンタ RAM モジュールをプリンタ側に押して、上下のロックレバーに固定する

お願い

ロックレバーに固定できない場合は、いったん取り外して、溝に合わせて斜めに差し込むところからやりなおしてください。

6 サイドカバーを取り付け（①）、手順 3 でゆるめたネジで固定（②）する

7 トップカバーとフロントカバーを閉じる（③）

8 プリンタに電源コード、ケーブルを取り付け、電源を入れる

プリンタの電源スイッチを「｜」側に倒します。

お願い

電源投入時に､｢036:FATAL ERROR｣とオペレータパネルに表示される場合は、仕様外のプリンタ RAM モジュールが取り付けられている可能性があります。純正品のプリンタ RAM モジュールを取り付けてください。

9 設定内容の一覧を印刷し、増設したメモリが正しく取り付けられていることを確認する

「Total Memory Size」に表示される総メモリ量が512MB であることを確認します。

設定内容

CU version:F0.20 [100.92 S2
PU version:01.03.07 [P102.1
Program version:01.53 [0A.1
両面ユニット:installed
Total Memory Size:512 MB

参照 「設定内容の印刷」（56 ページ）参照

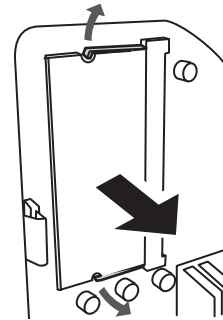
プリンタ RAM モジュールを取り外す

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントから抜きます。
LAN ケーブル、USB ケーブルを外します。

2 上下のロックレバーを開き、プリンタ RAM モジュールを手前に起こし、基板の上側と下側を交互に引っ張りながら引き抜く

参照 カバーの開閉のしかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」（73 ページ）参照

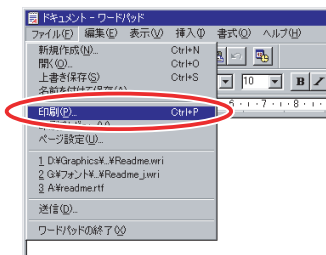
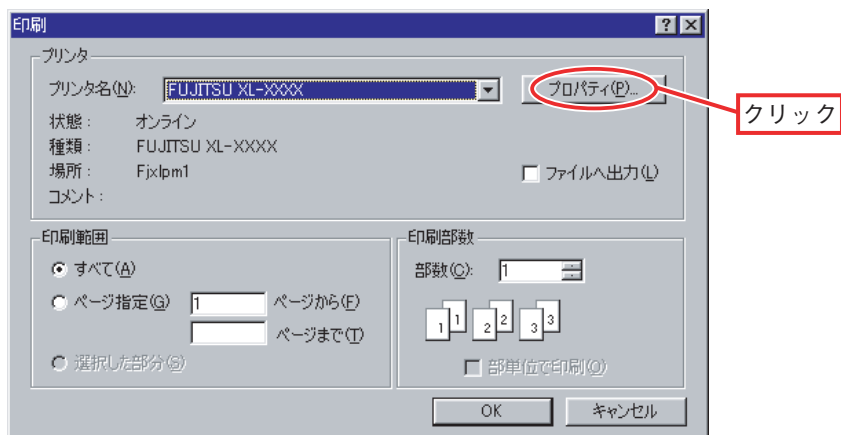
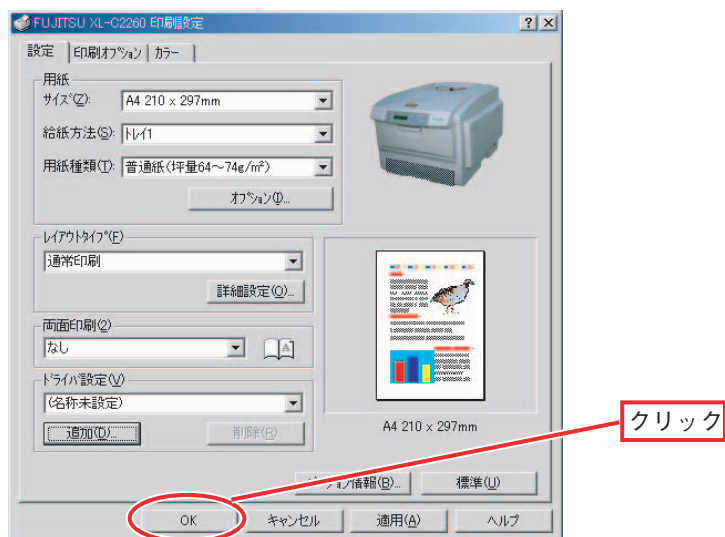
運　用　編

第4章
日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1. ワードパッドでデータを作成する

2. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

3. プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする

各項目を設定し、[OK] をクリックする

参照　各設定項目について、詳しくはプリンタドライバの「ヘルプ」または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

参照　用紙をセットする方法については、「第 6 章　用紙について」(145 ページ) 参照

手順3の画面に戻ります。

5 [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照　うまく印刷できないときは、「第 7 章　こんなときには」(155 ページ) 参照

ガイド

用紙の種類によっては、排出直後の用紙が熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。

4

運用編

印刷の中止

印刷開始後（オンラインランプ点滅後）、印刷を中止する方法を説明します。

パソコンの画面から中止する

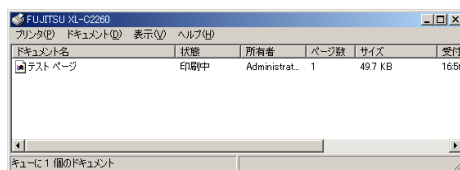
Windowsから中止する

Windows で印刷の指示を取り消す手順について説明します。

1 「プリンタと FAX」フォルダ、「プリンタ」フォルダ、または「デバイスとプリンター」フォルダを開きます。

Windows XP/Windows Server 2003 では、［スタート］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Vista/Windows Server 2008(R2 以外) では、［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］の順にクリックします。
Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。

2 ［XL-C2260］のアイコンをダブルクリックする

3 表示されたウィンドウから、印刷を中止したいドキュメント名をクリックし、削除（「Delete」キーを押す）する

Internet Serviceから中止する

Internet Service を使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照 Internet Service について、詳しくは『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

Printianavi2から中止する

Printianavi2 を使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照 Printianavi2 について、詳しくは『オンラインマニュアル』「Printianavi2 編」参照

FUJITSU LPRユーティリティ(2003/XP/2000専用)から中止する

LPR ユーティリティを使用して、プリンタに指示した印刷を中止することもできます。

参照 LPR ユーティリティについて、詳しくは『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

オペレータパネルから中止する

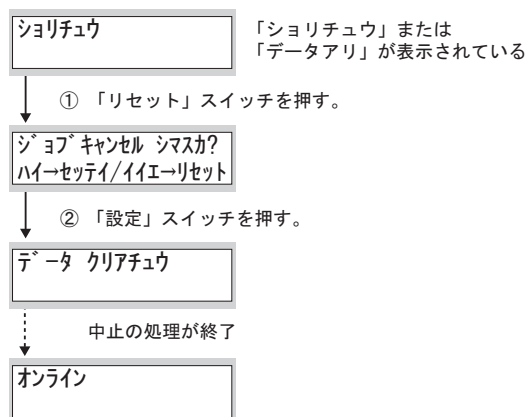
オペレータパネルでプリンタのリセット操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。

参照　オペレータパネルについて、詳しくは「第5章　オペレータパネルの操作」(115ページ)参照

4

1 印刷中に「リセット」スイッチを押す

2 「設定」スイッチを押す

印刷を中止しない場合は、「リセット」スイッチを押します。
パソコン側のスプールモニタの出力が終了するまで、「データクリアチュウ」と表示されます。
中止処理が終了すると、オンライン状態に戻ります。

ガイド

「リセット」スイッチを押して受信データをクリアすると、次のジョブを受信するタイミングによっては次のデータがいっしょにクリアされる場合があります。また、オペレータパネルの「システム コウセイ メニュー」で設定している「タイムアウト インサツ」の時間が長いと、データのクリアに時間がかかる場合があります。
「タイムアウト インサツ」は、20～40秒に設定することをお勧めします。

運用編

用紙の排出面を切り替える

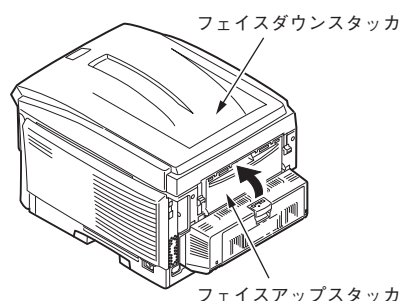
用紙の排出面を切り替える方法について説明します。

印刷面を下にして用紙を排出する

普通紙への印刷時は、印刷面を下にして排出します。印刷された用紙はフェイスダウンスタッカに排出され、印刷した順に重ねられます。

お願い

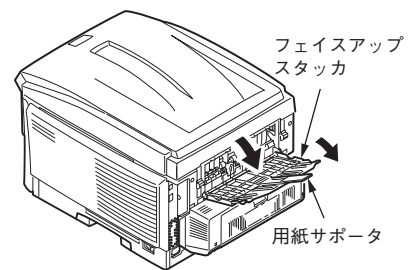
- 厚紙（用紙種類：より厚い紙、ごく厚い紙）、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙や A5 より小さい用紙に印刷するときは、フェイスダウンスタッカに排出しないでください。紙づまりの原因になります。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを引き出したり、押し込んだりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 印刷面を下に向けて排紙するときは、必ずフェイスアップスタッカを押し込んでください。
- 規定枚数（約 250 枚（64g/ ㎡用紙の場合））以上の用紙をフェイスダウンスタッカに排紙しないでください。紙づまりや汚れの原因になります。

プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認する

印刷面を上にして用紙を排出する

OHP フィルムやラベル紙、長尺紙などの特殊紙、厚手の用紙、郵便はがきなどに印刷するときは、印刷面を上にして排紙します。用紙が曲がらずにまっすぐなまま排出できます。
印刷された用紙はフェイスアップスタッカに排出され、印刷した順序と逆に重ねられます。

お願い

- 薄手の用紙や普通紙でもA5より小さいものは、フェイスアップスタッカに排出してください。紙づまりを予防できます。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを押し込んだり、引き出したりしないでください。紙づまりの原因になります。

プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開き、次に用紙サポータを開く

消耗品の交換と使用上のご注意

消耗品の交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

お願い

他のプリンタで使用している消耗品を取り付けないでください。消耗品の残量を正しくカウントできなくなります。

トナーカートリッジの交換

トナーが少なくなるとオペレータパネルに「＊＊＊＊　マモナク　トナーギレ」（＊は各色を表し、KYMC の順番に表示されます）のメッセージが表示されます。新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると「＊＊＊＊　トナー　ナシ」を表示して印刷を停止します。トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを取り外して、ドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙に 5％の印刷密度（1 ページの印刷可能領域でトナーの付いている面積の割合）で、1 度に 3 ページを出力する印刷ジョブを繰り返した場合（片面連続印刷時）、約 5,000 ページです。新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取り付けたときには、交換の目安の枚数は通常の約 2/3 になります。これは、新しいドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1 本目のトナーカートリッジからトナーを補給するためです。

ガイド

製品購入時に添付されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、サプライ品と比較すると少なくなっています。A4 サイズに 5% の密度で印刷した場合、約 1500 ページ印刷できます。

お願い

- 「＊＊＊＊ マモナク　トナーギレ」が表示された場合は、速やかに新しいトナーカートリッジに交換することをお勧めします。
- トナーカートリッジの交換時には、LED ヘッドの清掃を同時に行ってください。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。
- LED ヘッドの清掃は、トナーカートリッジに添付されている LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーを使ってください。LED ヘッドの清掃方法は、「LED ヘッドの清掃」（106 ページ）を参照してください。
- 「ドラム　ジュミョウ」または「ドラム　コウカン」が表示された場合に、ドラムカートリッジを交換しないままトナーカートリッジのみ交換する行為はしないでください。ドラムカートリッジの状態は変わらないため、警告メッセージが表示されたり、エラーメッセージ表示後にプリンタが停止したりして、交換したトナーカートリッジが無駄になります。
- 「＊＊＊＊　マモナク　トナーギレ」が表示されてからも印刷を続けると、やがて「＊＊＊＊　トナー　ナシ」と表示され、印刷が停止します（A4 サイズ用紙に 5%密度の印刷を続けた場合、約 200 ページ印刷後に停止）。また、高濃度印刷中には、印刷内容がかすれたりする場合があります。大量印刷や高濃度印刷を行う業務の場合は、警告メッセージが表示される前に予備のトナーカートリッジを準備しておくことをお勧めします。
- 100 ページ以上の印刷ジョブを繰り返すと、「＊＊＊＊　マモナク　トナーギレ」を表示せずに印字がかすれることがあります。
  この場合はトナーカートリッジを交換してください。

参照　「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（43 ページ）参照

参照　「トナーカートリッジの交換方法」（88 ページ）参照

参照　トナーカートリッジについて、詳しくは「サプライ品一覧」（190 ページ）参照

⚠ 警告

破　裂	トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。 使用済みのトナーカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照　「使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス」（199 ページ）参照
誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。トナーカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。 ・トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

故　障	トナーカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のトナーカートリッジを取り付けると、トナーカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になるおそれがあります。

トナーカートリッジ交換時のお願い

・立てたり、裏返して置いたりしないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
・常に、予備のトナーカートリッジを用意しておいてください。
・装置の故障を防ぐため、本製品専用品以外のトナーカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。本製品専用品のトナーカートリッジに交換してください。以下のメッセージはシアントナーカートリッジが正しくない場合のエラー表示です。

```
622:C トナー ヒジュンセイ
トナーヲ コウカンスル
```

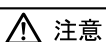
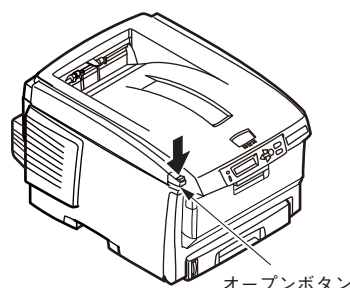
トナーカートリッジの交換に関する留意事項

・トナーカートリッジの有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。
　安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。
・トナーカートリッジの交換をうながすメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはトナーカートリッジの交換が必要です。
　- 全体的にカスレがある場合
　- 不鮮明な印刷状態が発生した場合
　- 適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

トナーカートリッジの交換方法

次の手順に従って、トナーカートリッジを交換してください。
なお、液晶ディスプレイの 2 行目に「ドラム　ジュミョウ」と表示されている場合は、先にドラムカートリッジを交換してください。

「ドラムカートリッジの交換方法」(95 ページ）参照

1 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

⚠ 注意	やけど　トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

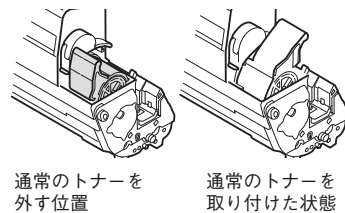
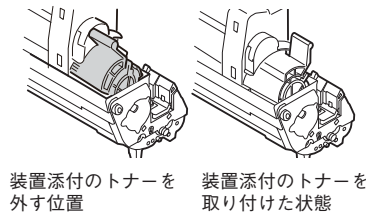
2 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認する

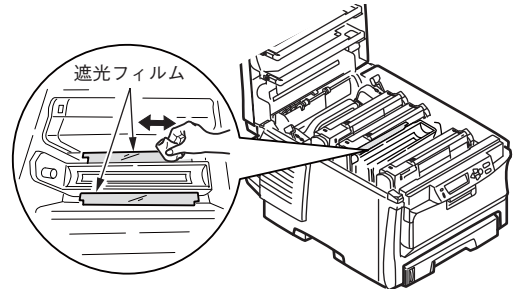
3 交換するトナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回す（①）

4 トナーカートリッジのレバー側をゆっくり持ち上げ、いったん力をゆるめてから、横にずらすようにして取り出す（②）

【トナーカートリッジのレバー位置】

■装置添付のトナーカートリッジの場合　　■通常のトナーカートリッジの場合

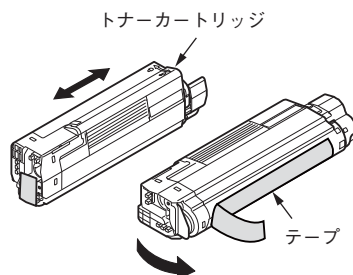
装置添付のトナーを外す位置　　装置添付のトナーを取り付けた状態　　通常のトナーを外す位置　　通常のトナーを取り付けた状態

ガイド

- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。
- トナーカートリッジのレバーと反対側はドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- トナーカートリッジ交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーが付く可能性があります。ドラムカートリッジを取り出し遮光フィルムを LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでそっと拭き取ってください。

5 新しいトナーカートリッジの色を確認し、包装袋から取り出す

6 トナーカートリッジを縦と横に数回振る

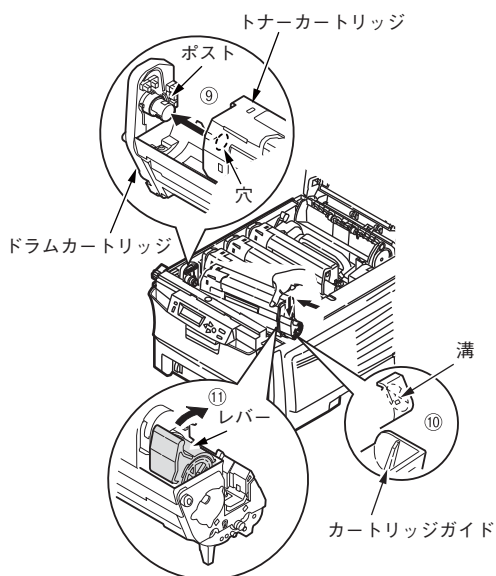
7 トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす

お願い

外気温の低い所で急いではがすと、テープが途中で切れることがあります。ゆっくりとはがしてください。

8 トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認する

9 テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側の穴をドラムカートリッジのポスト（⑨）に差し込む

10 トナーカートリッジの右側の溝（⑩）をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込む

11 トナーカートリッジのレバー（⑪）を矢印の方向に止まるまで回す

お願い

トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らない場合は、トナーカートリッジのレバーとドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。
色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。

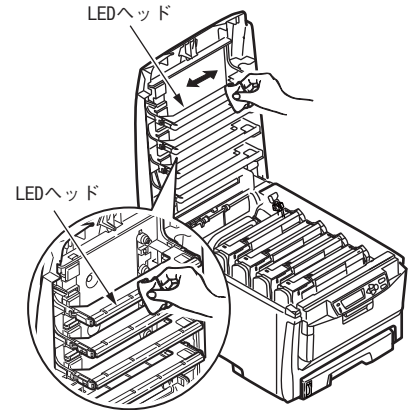
ガイド

トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

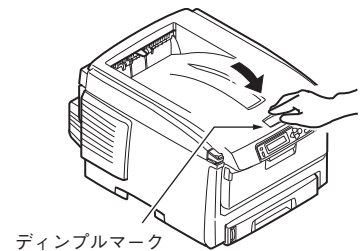
LED ヘッドのレンズ面を軽く拭く

交換用トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LED ヘッド面全体（4ヶ所）を軽く拭きます。

お 願 い

- LED ヘッド（4ヶ所）は必ず拭いてください。印字品質が低下する原因となります。
- メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

ガ イ ド

- トナーカートリッジの交換後に、オペレータパネルの「＊＊＊＊　ハイトナーフル」（＊はK/Y/M/C の順番に表示）または「＊＊＊＊　トナー　ナシ」の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- オペレータパネルに「nnn：＊＊＊＊　トナーカートリッジ　ナシ」（nnn：540（Y）/541（M）/542（C）/543（K））が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

これでトナーカートリッジの交換は完了です。
使用済みのカートリッジはカートリッジの包装袋に入れ、回収が行われるまで保管してください。

●使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みのドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行なっております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

『エコ受付センター』
通話料無料　0120-300-693
月曜～金曜　8:40 ～ 12:00 および、13:00 ～ 17:30(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
ご協力をお願いいたします。

トナーカートリッジの取り扱いと保管

トナーカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

トナーカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- トナーを吸い取るために家庭用の掃除機を使用しないでください。静電気によるセンサー破損の原因になります。
- トナーカートリッジ交換時以外はドラムカートリッジからトナーカートリッジを取り外さないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- トナーカートリッジ交換およびエラー発生時以外は、トナーカートリッジのレバーを回さないでください。トナーカートリッジのレバーがロックされていないと、エラーを検出できないことがあります。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください (結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときには、すぐに洗い流してください。
- 弊社が推奨しているトナーカートリッジ以外を使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。
- 富士通グループでは、大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みのトナーカートリッジ／ドラムカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。
- 装置やカートリッジをゆすった場合に「**** マモナク トナーギレ」が一時的に解除されることがありますが、少量の印刷で再び「**** マモナク トナーギレ」表示に戻ります。「**** マモナク トナーギレ」の表示後は少量の印刷で「**** トナー ナシ」のメッセージが表示されますので、新品トナーカートリッジに交換してください。(「*** マモナク トナーギレ」が表示されたらトナーカートリッジを交換することをお勧めします。)
- 印刷濃度が薄くなりトナーカートリッジの交換時期となった場合は、必ず液晶ディスプレイの表示状態を確認してください。
  「**** マモナク トナーギレ」と表示されている場合は、トナーカートリッジを交換してください。また、「**** ドラム ジュミョウ」と表示されている場合は、ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジをいっしょに交換してください。

「使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス」(91 ページ) 参照

保管上のご注意

トナーカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- 直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
  温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 20 ～ 85%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返して置いたりしないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジが寿命になるとオペレータパネルに「＊＊＊＊　マモナク　ドラムジュミョウ」（＊は各色を表し、左づめで K/Y/M/C の順番で表示されます）のメッセージが表示されます。トナーがなくなると「＊＊＊＊　ドラム　ジュミョウ」を表示して印刷を停止します。
ドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 20,000 ページです。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 ページずつ）で印刷した場合のページ数です。1 ページずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。（連続印刷で約 27,000 ページに相当します。）

4

ガイド

- ドラムカートリッジの交換をうながすメッセージには、該当の色が　C、M、Y、K の形式で合わせて表示されます。C はシアン、M はマゼンタ、Y はイエロー、K はブラックを表します。
- ドラムカートリッジに添付されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、A4 サイズの用紙に 5％の印刷密度（1 ページの印刷可能領域でトナーの付いている面積の割合）で、1 度に 3 ページを出力する印刷ジョブを繰り返した場合（片面連続印刷時）、約 1200 ページです。

お願い

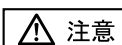
- ドラムカートリッジの交換時には、LED ヘッドの清掃を同時に行ってください。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。
- LED ヘッドの清掃は、トナーカートリッジに添付されている LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーを使ってください。LED ヘッドの清掃方法は、「LED ヘッドの清掃」（106 ページ）を参照してください。
- ドラムカートリッジを交換した直後は、印刷がかすれる場合があります。

参照　「トナーカートリッジとドラムカートリッジの取り付け」（43 ページ）参照

参照　「ドラムカートリッジの交換方法」（95 ページ）参照

参照　ドラムカートリッジについて、詳しくは「サプライ品一覧」（190 ページ）参照

運用編

⚠ 警告		
	破　裂	ドラムカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。 使用済みのドラムカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。 参照 「使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス」（199 ページ）参照
	誤　飲	・トナーが目や口に入らないように注意してください。ドラムカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。 万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。 ・ドラムカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意		
	故　障	ドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のドラムカートリッジを取り付けると、ドラムカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になるおそれがあります。

ドラムカートリッジ交換時のお願い

ドラムカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

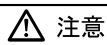
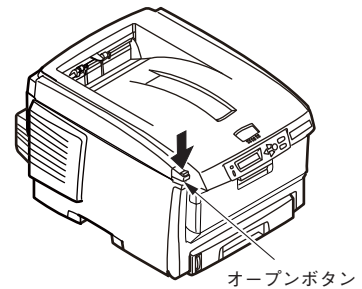
- 直射日光や強い光（約 1,500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返して置いたりしないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のドラムカートリッジを用意しておいてください。
- 装置の故障を防ぐため、本製品専用品以外のドラムカートリッジをセットしないでください。

ドラムカートリッジの交換に関する留意事項

- ドラムカートリッジの有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。
  安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。
- ドラムカートリッジの交換をうながすメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはドラムカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
  - 適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

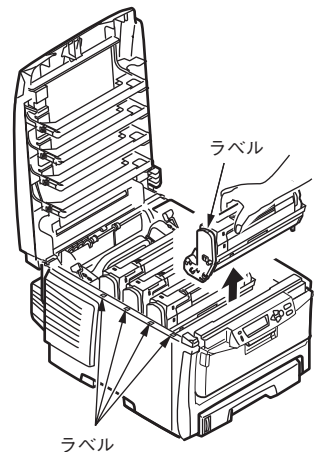
ドラムカートリッジの交換方法

次の手順に従って、ドラムカートリッジを交換します。

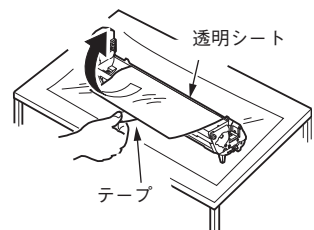
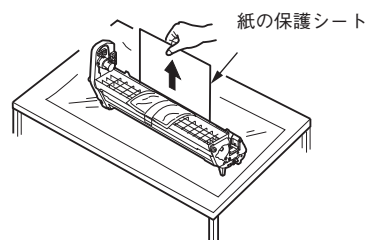
1 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

やけど　トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

2 交換するドラムカートリッジをラベルの色で確認する

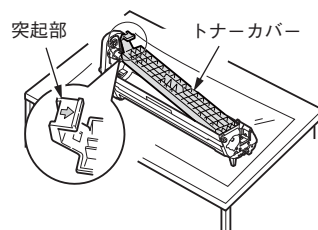
3 交換するドラムカートリッジを取り出す

ドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジもいっしょに取り出されます。

4 新しいドラムカートリッジを包装袋から出し、紙を敷いた、平らなテーブルの上に置く

新しいドラムカートリッジの色を間違えないように注意してください。

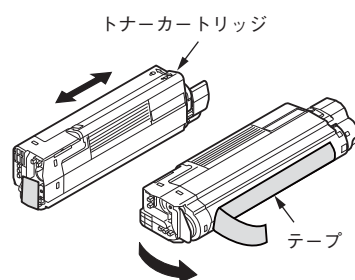
5 透明シートを留めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜く

6. ドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印方向に引き抜く

7. テープをはがし、乾燥剤を取り除く

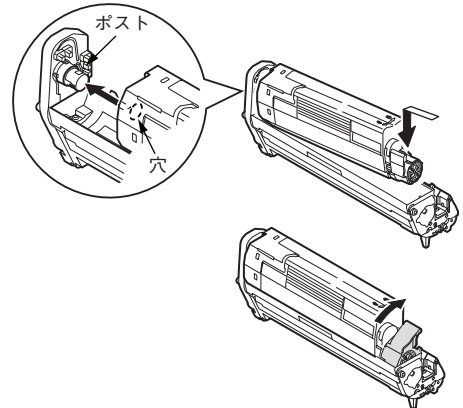
8. 突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外す

トナーカバーは不燃物として処理してください。

9. 新しいトナーカートリッジの色を確認し、包装袋から取り出す

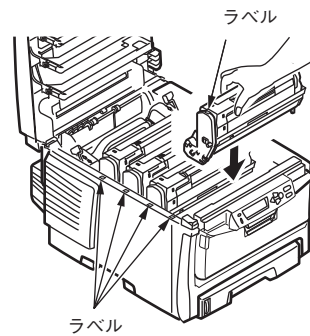
10. トナーカートリッジ縦と横に数回振る

11. トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす

外気温の低い所で急いではがすと、テープが途中で切れることがあります。ゆっくりとはがしてください。

12. トナーカートリッジのラベルの色とドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認する

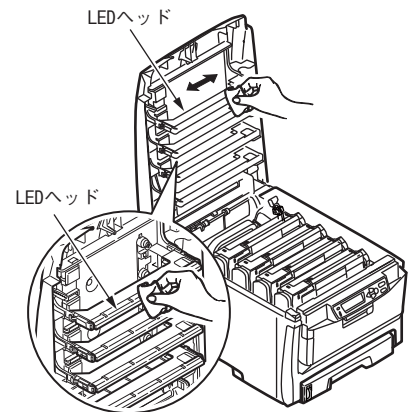
13 テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの左側の穴をドラムカートリッジのポストに差し込む

14 トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込む

15 トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回す

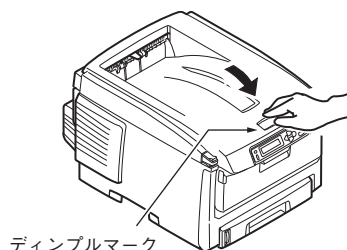
16 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認し、ドラムカートリッジを静かにセットする

17 LEDヘッドのレンズ面を軽く拭く

交換用トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LED ヘッド面全体（4ヶ所）を軽く拭きます。

お願い

- LED ヘッド（4ヶ所）は必ず拭いてください。印字品質が低下する原因となります。
- メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

ガイド

ドラムカートリッジに添付されているトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、A4 サイズの用紙に 5%の印刷密度（1 ページの印刷可能領域でトナーの付いている面積の割合）で、1 度に 3 ページを出力する印刷ジョブを繰り返した場合（片面連続印刷時）、約 1200 ページです。

これでドラムカートリッジの交換は完了です。
使用済みのカートリッジは、カートリッジの包装袋に入れ、回収が行われるまで保管してください。

●使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みのドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行なっております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

『エコ受付センター』
通話料無料　0120-300-693
月曜～金曜　8:40 ～ 12:00 および、13:00 ～ 17:30(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
ご協力をお願いいたします。

ドラムカートリッジの取り扱いと保管

ドラムカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

ドラムカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

・直射日光や強い光（約 1,500 ルクス以上）に当てないでください。
・室内の明かりの下でも、ドラムカートリッジを 5 分以上放置しないでください。
・ドラムカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
・寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
・立てたり、裏返して置いたりしないでください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときはすぐに洗ってください。
・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

ドラムカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　0 ～ 35 ℃、湿度範囲　20 ～ 85％RH（ただし、結露のないこと）
・アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所は避けてください。
・高温多湿になる場所には置かないでください。
・立てたり、裏返して置いたりしないでください。
・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
・幼児の手の届かない所に保管してください。

画質を調整する

本製品は一定の枚数印刷後など定期的に画質に関する調整を行うよう設定されています。色ズレおよび濃度については、必要に応じてオペレータパネルから調整を行うことができます。

参照 オペレータパネルについて、詳しくは「第 5 章　オペレータパネルの操作」（115 ページ）参照

色ズレを調整する

本製品は、電源投入時、トップカバー開閉時、新しいドラムカートリッジ取り付け時、新しいトナーカートリッジ取り付け時、400 ページ印刷後、および 6 時間以上放置した後の印刷時に、自動的に色ズレ調整を行います。特に色ズレが気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

ガイド

連続印刷中は実行のタイミングになっても色ズレ調整は実行されません。印刷終了、または用紙トレイの切り替えなど印刷が停止すると調整を行います。

1. **印刷可能状態であることを確認する**

   次のいずれかの状態であることを確認します。
   - オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
   - オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
   - オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2. **オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す**

   オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3. **「メニュー＋」スイッチを 4 回押し、カラーメニューにする**

ガイド

「カラーメニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。

参照「オペレータパネルの操作制限」（142 ページ）参照

4 「設定」スイッチを押す

「ジドウ　イロズレホセイ」が表示されます。

ジドウ　イロズレホセイ ジッコウ

5 「設定」スイッチを押す

色ズレ補正が行われ、「カラー　チョウセイチュウ」のメッセージが表示されます。補正が終わると、メッセージは消えます。

カラー　チョウセイチュウ

濃度を補正する

本製品は、電源投入時、新しいドラムカートリッジ取り付け時、新しいトナーカートリッジ取り付け時、100 ページ、300 ページ、500 ページ印刷後（以後は 500 ページ印刷ごと）、および 6 時間以上放置した後の印刷時に、自動的に濃度補正を行います。特に印刷濃度が気になる場合は、プリンタのオペレータパネルから調整を行ってください。

ガイド

- 連続印刷中は実行のタイミングになっても濃度補正は実行されません。印刷終了、または用紙トレイの切り替えなど印刷が停止すると調整を行います。
- メニューモード「プリンタ調整」－「濃度補正モード」を「手動」に設定すると、濃度補正は自動で行われなくなります。濃度補正により印刷が停止することを避けたい場合は、「手動」に設定してください。

参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

- オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
- オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
- オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3 「メニュー＋」スイッチを 4 回押し、カラーメニューにする

ガイド

「カラーメニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。

参照 「オペレータパネルの操作制限」（142 ページ）参照

4 「設定」スイッチを押す

「ジドウ　イロズレホセイ」が表示されます。

ジドウ　イロズレホセイ
ジッコウ

5 「メニュー＋」スイッチを 5 回押す

「ノウド　ホセイ」が表示されます。

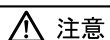
ノウド　ホセイ
ジッコウ

6 「設定」スイッチを押す

濃度補正が行われ、「ノウド　ホセイチュウ」のメッセージが表示されます。補正が終わると、メッセージは消えます。

ノウド　ホセイチュウ

プリンタの清掃

ここでは、プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンタの清掃の方法について説明します。

⚠ 注意

感　電	プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
け　が やけど	プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。火災や故障の原因となります。

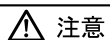
プリンタ外部の清掃

約 1 ヶ月に 1 回、プリンタの外部を清掃してください。プリンタの外側を、水でぬらしかたく絞った柔らかい布で拭きます。その後、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。

お願い

洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

プリンタ内部の清掃

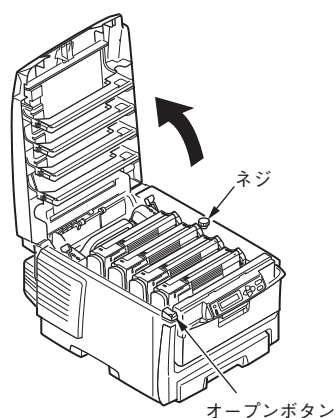
印刷パターンにより、定着器とシアンドラムカートリッジの間の金属シャフトにトナーが付着する場合があります。
金属シャフトにトナーが付着した場合に、内部の清掃を行ってください。

⚠ 注意

け　が やけど	「高温注意」をうながすラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。 なお、ヒーター部やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。けがややけどの原因となります。ただちに電源スイッチを切り、弊社ハードウェア修理相談センターまたは販売店にご連絡ください。

プリンタの電源を切る

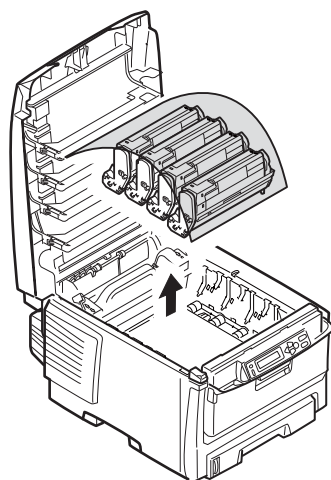
プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。

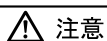
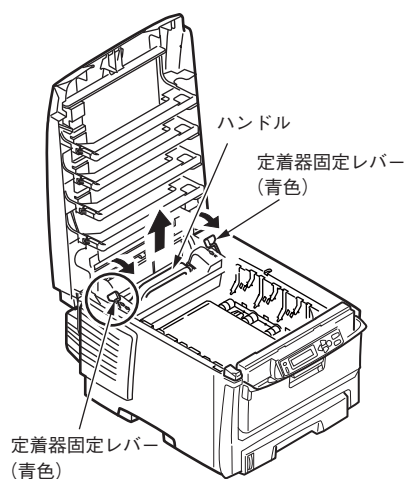
2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを開く

3 ネジに手を触れて、静電気を逃がす

4 ドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置く

5 取り出したドラムカートリッジに黒い紙をかぶせる

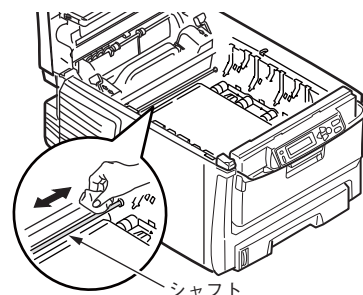
ガイド

・ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷付きやすいため、取り扱いには充分注意してください。
・ドラムカートリッジは直射日光や強い光(約1,500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

6 定着器固定レバー（青色 2ヶ所）を矢印の方向へ起こす

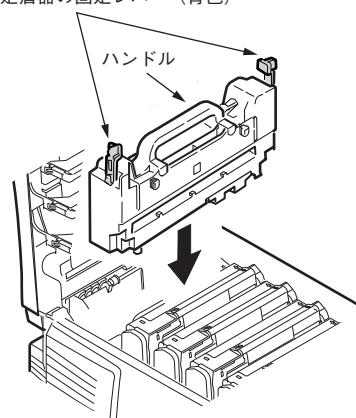
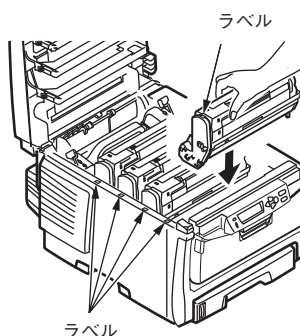
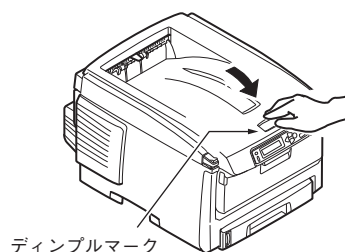
7 定着器のハンドルを持ち、取り出す

⚠ 注意

プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所には、触れないでください。
定着器を外す場合は、定着器が常温になってから、定着器のハンドルを持って取り出してください。

8 金属シャフトを拭く

交換用トナーカートリッジに添付されている LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、金属シャフトを拭きます。

9 ハンドルを持って定着器をプリンタの中へ静かに戻し、定着器固定レバー（青色 2ヶ所）を奥側に倒し、固定する

ガイド

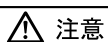
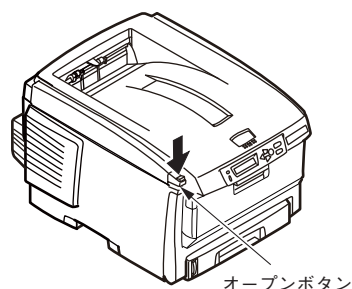
定着器につまった用紙を取り除いた後は、定着器内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、設定内容一覧、白紙などを数回印刷してください。

10 ドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認し、ドラムカートリッジ（4 個）を静かにプリンタに戻す

11 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

これでプリンタ内部の清掃は完了です。

LED ヘッドの清掃

印刷結果にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源を切る

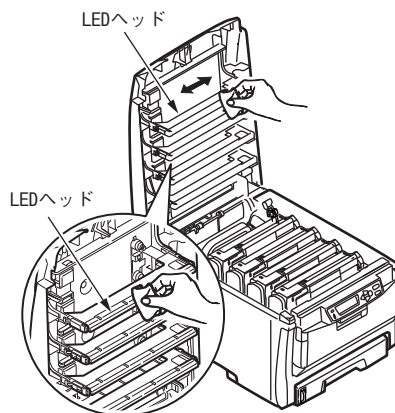
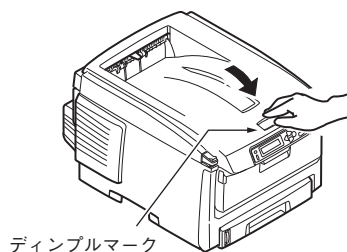
プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。

2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

⚠ 注意	やけど　定着器は高温になっていますので、触らないでください。

3 LEDヘッドのレンズ面(4ヶ所)を軽く拭く

交換用トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで、LEDヘッド面全体を軽く拭きます。

お願い

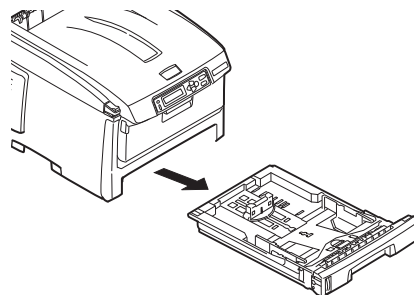
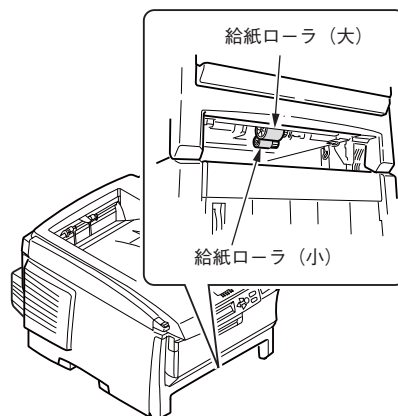
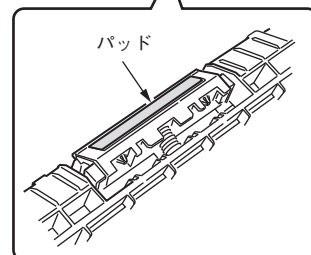
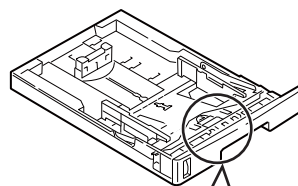
メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

4 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

これで LED ヘッドの清掃は完了です。

給紙ローラとパッドの清掃

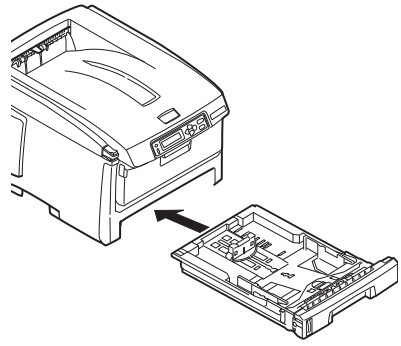
紙づまりがよく起こる場合に行ってください。

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。

2 用紙カセットを引き出す

3 給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布、または交換用トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナで拭く

4 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布または交換用トナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナで拭く

お願い

「392：ピックミス　トレイ 2」が頻発する場合は、拡張給紙ユニットの給紙ローラとパッドも同様の手順で清掃してください。

給紙カセットを元に戻す

これで給紙ローラとパッドの清掃は完了です。

プリンタを長時間使用しないとき

1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を用紙トレイやマルチパーパストレイから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

⚠ 警告

感電	電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。
感電 火災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

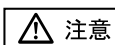
参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（175 ページ）参照

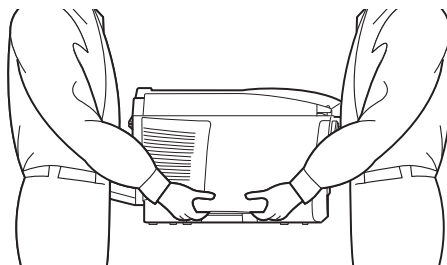
2 用紙を取り出す

用紙トレイやマルチパーパストレイから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

参照 用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（145 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠ 注意

けが	本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で 23.9kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。指定場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。

ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

1. **電源の切断を確認し、電源コードを取り外す**
   プリンタの電源スイッチがオフ（「○」側）であることを確認します。電源コードをコンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

   お願い

   エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから、電源を切ってください。

   参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（175 ページ）参照

2. **ケーブルを抜く**
   USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3. **排紙トレイの用紙を取り除く**
   排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除きます。

4. **給紙カセット、マルチパーパストレイの用紙を取り除く**
   用紙トレイ、マルチパーパストレイから用紙を取り除きます。

   参照　用紙の保管については、「第 6 章　用紙について」（145 ページ）参照

5. **適切な場所に、プリンタを設置し直す**

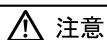
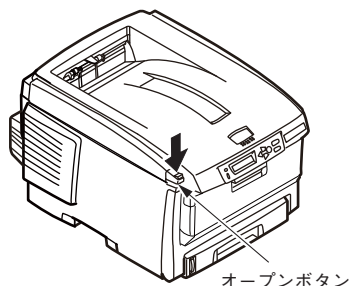
   参照　設置し直すときの手順については、
   「第 2 章　プリンタ本体の設置」（35 ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

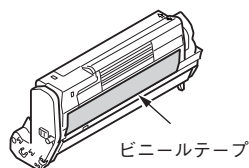
1 付属品を取り外す

参照 「近くに移動する」の1～4（111 ページ）参照

2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

注意 やけど　定着器は高温になっていますので、触らないでください。

3 ドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置く

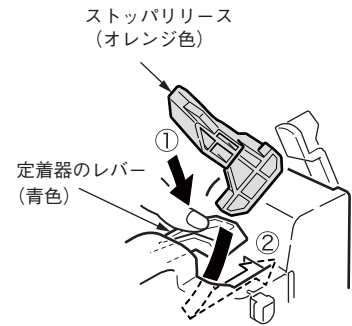
4 ドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部をビニールテープで留めてプリンタに戻す

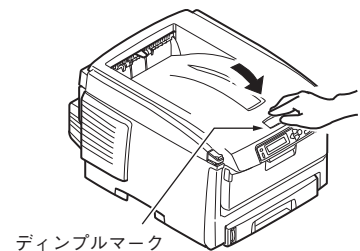
プリンタにドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないように、ビニールテープで密封してください。

ガイド

ビニールテープは本製品には添付されていません。お客様ご自身でご用意ください。ビニールテープは一般の市販品が使用できます。

5 定着器のレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパリリース（オレンジ色）を取り付ける

お願い

定着器が充分に冷えるまでしばらく待ってください。

⚠ 注意	やけど	電源スイッチを切った直後にストッパリリースの取り付けを行うと定着器ユニットの熱によりやけどをする可能性があります。電源切断直後には上記操作を絶対に行わないでください。

6 ディンプルマークを押して、トップカバーを閉じる

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れる

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。

ガイド

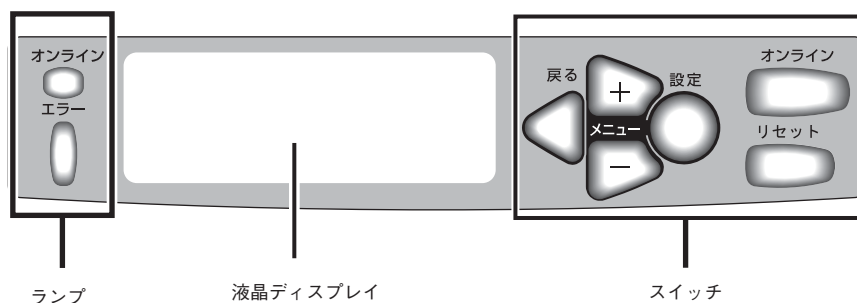
プリンタを輸送後、再度設置するときには、ドラムカートリッジとトナーカートリッジを留めたテープをはがし、ストッパリリースを取り外してください。

第５章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

■ランプ

名称	状態	説明
オンラインランプ	緑色でデータの処理状況を表します。	
	点灯	データを受信できる状態です（オンライン）。
	点滅	受信したデータを処理しています。
	消灯	データが受信できない状態です（オフライン）。また、エラーが発生したときやイニシャル中のときも消灯しています。
エラーランプ	橙色でエラーの状態を表します。	
	点灯	ワーニングが発生しました。印刷は行えます。
	点滅	エラーが発生しました。印刷できません。
	消灯	エラーは発生していません。

■スイッチ

名称	状態	説明
オンラインスイッチ	オンライン中	オフラインに切り替わり、「メニュー+」、「メニュー−」スイッチの操作が可能になります。
	オフライン中	オンラインに切り替わります。
	メニュー中	オンラインになります。
	エラー中	「nnn：ttttt ヨウシ サイズ フイッチ」が表示されている場合は、現在セットされている用紙で強制的に印刷を行います。 また、「sss ヲ MP トレイニ セットシテ／オンラインヲ オス」「MP トレイ　ヨウシナシ／ sss ヲ　イレテ　オンラインヲ　オス」が表示されている場合は、マルチパーパストレイに用紙セット後、このスイッチを押すと印刷を開始します。
リセットスイッチ	オンライン中	処理中または印刷中のジョブを中断し、ジョブをキャンセルするかどうかの確認メッセージを表示します。
	オフライン中	印刷または受信中断中のジョブをキャンセルするかどうかの確認メッセージを表示します。
	メニュー中	オンラインになります。処理中のジョブがあってもジョブの削除は行いません。
	エラー中	「nnn：ttttt ヨウシ サイズ フイッチ」、「nnn：ttttt ヨウシ　ナシ」、「nnn：トレイ 1 ミソウチャク」、「nnn：ヨウシ サイズエラー」、「sss ヲ MP トレイニ セットシテ／オンラインヲ オス」が表示されている場合、処理中のジョブをキャンセルするかどうかの確認メッセージを表示します。
	確認メッセージ中	ジョブをキャンセルせず、確認メッセージ表示前の状態に戻ります。
メニュー+スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	「インフォメーション メニュー」を表示します。
	メニュー中	メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を 1 つ先に進めます。3 秒以上押すと早送りします。
メニュー−スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	「インフォメーション メニュー」を表示します。
	メニュー中	メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を 1 つ前に戻します。3 秒以上押すと早戻しします。

名称	状態	説明
設定スイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	無効です。
	メニュー中	（カテゴリ表示中）表示カテゴリの先頭項目および値を表示します。 （項目表示中）値表示を点滅させ、内容の変更を可能にします。 （値点滅表示中）メニューの値を確定します。
	確認メッセージ中	ジョブをキャンセルします。
戻るスイッチ	オンライン中	無効です。
	オフライン中	無効です。
	メニュー中	（カテゴリ表示中）無効です。 （項目表示中）表示項目のカテゴリを表示します。 （値点滅表示中）値の点滅表示を止め、確定した値を表示します。

「メニュー＋」「メニュー－」「設定」「戻る」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点滅し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

ガイド

- エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「第7章　こんなときには」の「オペレータパネルのエラーメッセージ」(175ページ)を参照してください。
- 警告やエラーが複数発生している場合は、順番に表示が切り替わります。
- パワーセーブ中やエラーが発生すると、警告は表示されなくなります。

電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

参照　「プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認」(49ページ)参照

オンライン(印刷できる状態)時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

tttt　：トレイ1　：給紙カセット
　　　　トレイ2　：拡張給紙カセット(オプション)
mmmm　：用紙サイズ

●動作状態に関する表示内容

(□は上段に別表示があることを意味する)

オペレータパネル表示	オンラインランプ	エラーランプ	内容
ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	消灯	消灯	プリンタの初期化中です。フラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を切らないでください。
ｻｲｷﾄﾞｳﾁｭｳ　d	消灯	点灯	再起動中です。dは1桁の数値で、再起動の要因を示します。 d=0　下記以外の原因による再起動 =1　制御コマンドによる再起動 =2　メニュー変更に伴う再起動 =4　Internet Serviceの操作による再起動

オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
RAM ﾁｪｯｸﾁｭｳ ****************	消灯	消灯	RAM チェック中です。
ｵﾝﾗｲﾝ	点灯	不定	オンラインです。
ｵﾌﾗｲﾝ	消灯	不定	オフラインです。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ	不定	不定	データ受信中です。
ｼｮﾘﾁｭｳ	点滅	不定	データを受信中または受信したデータを処理しています。
ﾃﾞｰﾀｱﾘ	不定	不定	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	不定	不定	印刷しています。
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	設定内容の一覧を印刷中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	ネットワーク設定を印刷中です。
ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	フォントを印刷中です。
ﾃｽﾄ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	テストパターンを印刷中です。
ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	不定	不定	エラーログ情報を印刷中です。発生したエラーログを最大 500 個まで保存し、印刷します。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ	点滅	不定	データ受信中に「リセット」スイッチが押されました。ジョブをキャンセルするために受信データをクリアします。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱﾁｭｳ (ｶﾐﾂﾞﾏﾘ)	点滅	不定	「システムコウセイメニュー」でジャムリカバリをオフに設定しているときに紙づまりが発生した場合、ジョブをキャンセルするためにデータを受信し、削除します。
□ ﾌﾞﾀﾝｲ　　iii/jjj	不定	不定	部単位印刷中です。iii は印刷中の部設定を、jjj は印刷する総部数を示します。1 部の時は通常の印刷表示となります。
□ ｺﾋﾟｰ　　kkk/lll	不定	不定	コピー印刷中です。kkk は印刷中の枚数、lll は総印刷枚数を示します。コピー枚数が 1 枚の場合は通常の印刷表示となります。
□ ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	不定	不定	ウォーミングアップ動作中です。
□ ｵﾝﾄﾞ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	ドラムが高温になっているため、しばらく印刷を停止しています。
□ ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	不定	不定	省電力モード中です。
□ ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動色ズレ調整中です。

オペレータパネル表示	オンラインランプ	エラーランプ	内容
□ ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲﾁｭｳ	不定	不定	自動濃度補正または自動階調補正中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	不定	不定	ネットワークの設定を初期化中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ ｶｷｺﾐﾁｭｳ	不定	不定	ネットワークの設定項目が更新されたときに、その内容を保存しています。
ｶﾗｰﾃﾞｰﾀｦ ｼﾞｭｼﾝ ﾘｾｯﾄｦ ｵｼﾃ ｼﾞｮﾌﾞｦ ｷｬﾝｾﾙ ｽﾙ	消灯	点滅	カラーレスモードを有効にした状態でカラー印刷データを受信した場合、それ以降のジョブをキャンセルするために表示します。
ｼﾞｮﾌﾞｷｬﾝｾﾙ ｼﾏｽｶ？ ﾊｲ→ｾｯﾃｲ / ｲｲｴ→ﾘｾｯﾄ	消灯	点滅	ジョブをキャンセルする場合は、「設定」スイッチを押してください。また、印刷を継続する場合は、「リセット」スイッチを押してください。カラーレスモード有効時に本メッセージが表示された場合は、「リセット」スイッチを押すと 1 つ前のメッセージ画面に戻ります。
ﾓｰﾄﾞﾍﾝｺｳ ｶﾝﾘｮｳ ﾃﾞﾝｹﾞﾝ ｵﾌｵﾝ	消灯	消灯	カラーレスモードの設定変更を行い、「オンライン」スイッチを押すと本メッセージが表示されます。
ﾓｰﾄﾞﾍﾝｺｳ	消灯	消灯	カラーレスモードの変更を行っています。

●ワーニングに関する表示内容

印刷可能なメッセージです。メッセージによってはそのまま使用すると故障の原因になる場合がありますので、内容に従って対処してください。
（□は上段に別表示があることを意味する）

オペレータパネル表示	オンラインランプ	エラーランプ	内容
□ ｿｳﾁ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	不定	本製品の寿命です。新しい製品と交換してください。
□ ****[*1] ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ	不定	点灯	**** 部に表示された色のトナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。 「トナー ナシ」と表示された場合はプリンタが停止します。早急に新しいトナーカートリッジに交換してください。
□ ****[*1] ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。**** 部に表示された色のドラムカートリッジを準備してください。

オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
□ ****[*1] ドラム ジュミョウ	不定	点灯	**** 部に表示された色のドラムカートリッジが寿命です。早急に新しいドラムカートリッジに交換してください。 このメッセージは、ドラムカートリッジが寿命に達し、トップカバーの開閉で一時的に復旧した場合に表示されます。
□ メモリ フソク (ブタンイ)	不定	不定	部単位印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1 部のみ印刷されます。「オンライン」スイッチ以外は無効です。「オンライン」スイッチを押して表示を消してください。
mmmm ヲ MP トレイニ セットシテ オンラインヲ オス	点灯	消灯	手差し印刷を行います。mmmm に表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。
オンラインヲ オス ムコウ データ ジュシン	不定	不定	無効データ受信時にオンラインスイッチを押して、ワーニング表示の解除をうながします。
□ ttttt ヨウシ ナシ	不定	点灯	表示されたトレイの用紙がなくなった、またはトレイが抜かれています。用紙を入れてください。
□ マモナク テイチャクキ ジュミョウ	不定	点灯	定着器(定期交換部品)の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター(199 ページ)に連絡してください。
□ マモナク ベルト ジュミョウ	不定	点灯	ベルトユニット(定期交換部品)の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター(199 ページ)に連絡してください。
□ テイチャクキ ジュミョウ	不定	点灯	定着器の寿命です。印刷品質が保証できません。新しい定着器に交換してください。
□ ベルト ジュミョウ	不定	点灯	ベルトユニット(定期交換部品)の寿命です。印刷品質が保証できません。新しいベルトユニットに交換してください。
□ ***[*2] トナー ナシ	不定	点灯	*** 部に表示された色のトナーがない状態で、残った黒トナーを使用してカラーレス印刷を行っている時に表示されます。カラー印刷に戻すためには、*** 部に表示された色のトナーカートリッジを交換し、カラーレスモードを無効にしてください。 参照 「カラーレス印刷を行う」(140 ページ)

オペレータパネル表示	オンラインランプ	エラーランプ	内容
□ **[*3] ﾊｲﾄﾅｰﾌﾙ	不定	点灯	** 部に表示された色の廃トナーがいっぱいになった状態で、残った黒トナーを使用してカラーレス印刷を行っている時に表示されます。カラー印刷に戻すためには、** 部に表示された色のトナーカートリッジを交換し、カラーレスモードを無効にしてください。 参照「カラーレス印刷を行う」（140 ページ）

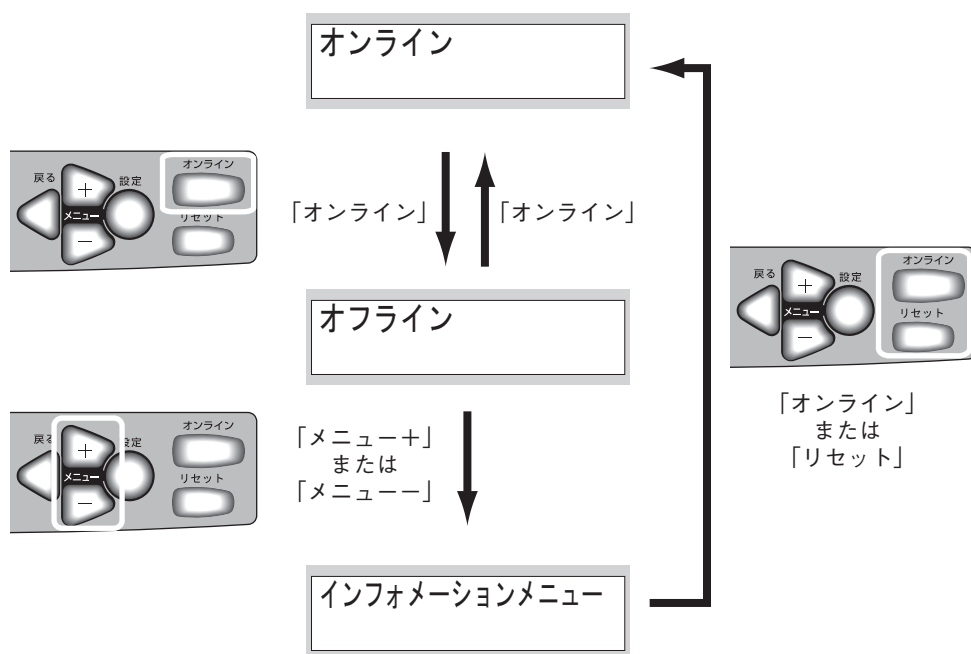
1： は左づめで K/Y/M/C 色の順番に一括表示されます。
2： は左づめで Y/M/C 色の順番に一括表示されます。
3： は左づめで M/C 色の順番に一括表示されます。

オペレータパネルからの設定（メニューモード）

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、「メニューモードの項目一覧」（126 ページ）参照

基本的な操作

メニューモードに入るときは、「オンライン」スイッチを押し、プリンタをオフラインにした後に「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「オンライン」スイッチ、または「リセット」スイッチを押します。

メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド

・電源を入れてからしばらくたっている場合、オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。
・オペレータメニューの「インサツ　メニュー」「カラー　メニュー」「USB メニュー」「ネットワーク　メニュー」「ホジョメニュー」「カラーレスモード　メニュー」「パスワード　ヘンコウ　メニュー」は「管理者用メニュー」として、パスワードの入力が必要となります。

```
パスワードニュウリョク
****
```

参照「オペレータパネルの操作制限」（142 ページ）参照

5

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「メニュー＋」または 「メニュー－」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「設定」スイッチ	下のレベルに移動します。表示された値に設定するときや、機能を実行するときにも使用します。
「戻る」スイッチ	上のレベルに移動します。

●設定の反映

変更した設定は次のタイミングで反映されます。

－印刷中でないとき

・「USB メニュー」以外は変更した時点で反映されます。
・「ネットワークメニュー」を変更するとプリンタがリセットされ、変更が反映されます。
・「USB メニュー」はプリンタの電源を入れ直すと変更が反映されます。

－印刷中のとき

・「ネットワークメニュー」、「USB　メニュー」以外は現在印刷中、データ処理中のジョブの処理が終了した時点で反映されます。
・「ネットワークメニュー」は、ネットワークからの受信終了後にプリンタがリセットされ、変更が反映されます。
・「USB メニュー」は印刷終了後にプリンタの電源を入れ直すと反映されます。

運

用

編

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。
「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
インフォメーションメニュー	セッテイ ナイヨウ　インサツ	ジッコウ	設定内容一覧を印刷します。	-
	ネットワーク	ジッコウ	ネットワークメニューを印刷します。	-
	フォントインサツ	ジッコウ	フォントリストを印刷します。	-
	テスト　インサツ	ジッコウ	テスト印刷をします。	-
	エラーログ　インサツ	ジッコウ	エラーログを印刷します。 （最大 500 個保存されます。）	-
	シュウケイケッカ　インサツ	ジッコウ	印刷集計結果を印刷します。	-
インサツ メニュー (*1)	コピーマイスウ	1 999	コピー枚数を設定します。	◎
	モノクロ インサツ　ソクド	モード 1 モード 2 モード 3	モノクロページの印刷速度が設定できます。 モード 1： カラー／モノクロが混在したページの処理に応じて最適な印刷速度になります。 ただし、カラーページ以降はすべてカラー印刷速度（A4 印刷時は 26ppm）になります。 モード 2： カラー印刷速度（A4 印刷時は 26ppm）になります。 モード 3： モノクロ印刷速度（A4 印刷時は 32ppm）になります。 カラー / モノクロが混在すると、ページごとに速度切り替えを行うため、全体の性能は低下します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
メディア メニュー	トレイ 1 ヨウシ サイズ	A4 A5 A6 B5 リーガル レター	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。	○
	トレイ 2 ヨウシ サイズ (*2)	A4 A5 B5 リーガル レター	トレイ 2 の用紙サイズを設定します。	○
	MPトレイ ヨウシ サイズ	A4 A5 A6 B5 リーガル レター カスタム ハガキ オウフクハガキ フウトウ 1 フウトウ 2 フウトウ 3 フウトウ 4	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○
カラー メニュー (*1)	ジドウ イロズレ ホセイ	ジッコウ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ズレ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○
	C イチズレ ビ チョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○
	M イチズレ ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
カラー メニュー (*1)	Y イチズレ ビチョウセイ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○
	UCR	スクナイ フツウ オオイ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると、他の 3 色のトナー量を節約できます。	○
	CMY 100% ノウド	ムコウ ユウコウ	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。	○
	ノウド ホセイ モード	ジドウ シュドウ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○
	ノウド ホセイ	ジッコウ	実行を選択すると、プリンタはただちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○
	カラー チョウセイ	パターン インサツ	階調特性を調整するためのパターンを印刷します。	○
	C HIGHLIGT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンのハイライト部（薄い領域）を調整します。	○
	C MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部を調整します。	○
	C DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンのダーク部（濃い領域）を調整します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
カラーメニュー（*1）	M HIGHLIGT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタのハイライト部（薄い領域）を調整します。	○
	M MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部を調整します。	○
	M DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタのダーク部（濃い領域）を調整します。	○
	Y HIGHLIGT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローのハイライト部（薄い領域）を調整します。	○
	Y MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部を調整します。	○
	Y DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローのダーク部（濃い領域）を調整します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
カラーメニュー（*1）	K HIGHLIGT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	黒のハイライト部（薄い領域）を調整します。	○
	K MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	黒の中間部を調整します。	○
	K DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	黒のダーク部（濃い領域）を調整します。	○
	C ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンのエンジン濃度を調整します。	○
	M ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタのエンジン濃度を調整します。	○
	Y ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローのエンジン濃度を調整します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
カラー メニュー (*1)	K ノウド	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	黒のエンジン濃度を調整します。	○
システム　コウセイ　メニュー	パワーセーブ イコウジカン	5 フン 15 フン 30 フン 60 フン 240 フン	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○
	タイムアウト インサツ	オフ 5 ビョウ ≀ 40 ビョウ ≀ 300 ビョウ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 オフを指定すると「データ クリアチュウ」、「データ ジュシンチュウ」で無限に停止した状態となるため、有限な値を設定することをおすすめします。 USB インターフェースでの印刷時は、最後のデータを受信してから設定時間が経過するまで、他のインターフェースおよびオペレータパネルからの印刷は行えません。	◎
	ジャム リカバリ	オン オフ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○
USB　メニュー (*1)	ソフト リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
	SPEED	12Mbps 480Mbps	USB インターフェースの最大転送速度を設定します。	○
	シリアルナンバ	ユウコウ ムコウ	USB シリアルナンバの有効／無効を設定します。	○
ネットワーク メニュー (*1)	IP アドレスセッテイ	ジドウ シュドウ	IP アドレスの設定方法を設定します。	○
	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	ゲートウェイアドレス	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	WEB	ムコウ ユウコウ	WEB の有効／無効を設定します。	○
	SNMP	ユウコウ ムコウ	SNMP の有効／無効を設定します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
ネットワークメニュー（*1）	ネットワークノキボ	フツウ ショウキボ	フツウ：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブユニットに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2、3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 ショウキボ：コンピュータが 2、3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブユニットに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○
	ハブトノセツゾク	ジドウ 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブユニットとのリンク方法を設定します。ジドウに設定すると、すべてのハブユニットに対して接続方法を自動的に選択し、接続を試みます。	○
イチ　チョウセイ メニュー	X　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ≀ 0.00 mm ≀ -2.0 mm	X 方向の印刷位置を微調整します。両面印刷時は、表面 / 裏面ともに微調整します。	○
	Y　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ≀ 0.00 mm ≀ -2.0 mm	Y 方向の印刷位置を微調整します。両面印刷時は、表面 / 裏面ともに微調整します。	○
	リョウメンインサツ　X　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ≀ 0.00 mm ≀ -2.0 mm	両面印刷の場合、裏面の X 方向のみ印刷位置を微調整します。「X ホセイ」と加算した値が裏面の補正値となります。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
イチ　チョウセイ メニュー	リョウメンインサツ　Y　ホセイ	+2.00 mm 1.75 mm ≀ 0.00 mm ≀ -2.0 mm	両面印刷の場合、裏面のY方向のみ印刷位置を微調整します。「Y　ホセイ」と加算した値が裏面の補正値となります。	○
	HEX　ダンプ (*3)	ジッコウ	印刷データを16進データとして印刷します。再起動すると通常モードに復旧します。	○
ホジョ メニュー (*1)	メニューリセット	ジッコウ	メニューの設定値を初期化します。	-
	メニューセッテイヲホゾン	ジッコウ	現在のメニュー設定を保存します。	-
	ホゾンメニューニモドス	ジッコウ	保存しているメニュー設定に変更します。	-
	パワーセーブ　キノウ	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。 有効時のパワーセーブ移行時間は「システムコウセイメニュー」の「パワーセーブ イコウジカン」で設定します。	○
	フツウシ　クロ セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる / －：薄くなる	○
	フツウシ カラー セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる / －：薄くなる	○
	ＯＨＰ クロ セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHP フィルムに印刷してかすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる / －：薄くなる	○
	ＯＨＰ　カラー セッティング	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHP フィルムに印刷してかすれる場合に値を変更します。 ＋：濃くなる / －：薄くなる	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
ホジョ メニュー (*1)	SMR セッティング	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	画質にムラがある場合に印字のばらつきを補正します。	○
	BG セッティング	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	下地が濃い場合に印字のばらつきを補正します。	○
ジュミョウ メニュー	トータル ページ カウント	nnnnnn	総印刷ページ数を表示します。	-
	ソウチジュミョウカウント	xxx%	装置寿命カウント（%）を表示します。	-
	トレイ1 キュウシカイスウ	nnnnnn	トレイ 1 の給紙回数を表示します。	-
	トレイ2 キュウシカイスウ（*2）	nnnnnn	トレイ 2 の給紙回数を表示します。	-
	MP トレイ キュウシカイスウ	nnnnnn	マルチパーパストレイの給紙回数を表示します。	-
	カラー ページ カウント	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	-
	モノクロ ページ カウント	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	-
	K ドラム	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	黒のドラムの使用量（%）を表示します。	-
	C ドラム	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	シアンのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	M ドラム	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	マゼンタのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	Y ドラム	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	イエローのドラムの使用量（%）を表示します。	-
	ベルト ユニット	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	ベルトユニットの使用量（%）を表示します。	-
	テイチャクキ	ｼﾖｳﾘｮｳ xxx %	定着器の使用量（%）を表示します。	-

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
ジュミョウ　メニュー	K トナー （容量種）	ノコリ xxx%	黒トナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、1.5K、1.2K と表示されます。	-
	C トナー （容量種）	ノコリ xxx%	シアントナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、1.5K、1.2K と表示されます。	-
	M トナー （容量種）	ノコリ xxx%	マゼンタトナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、1.5K、1.2K と表示されます。	-
	Y トナー （容量種）	ノコリ xxx%	イエロートナーの残量（%）を表示します。容量種には、ご使用のトナーカートリッジの容量タイプに応じ、5.0K、1.5K、1.2K と表示されます。	-
シュウケイケッカ　メニュー	カウンタリセット	ジッコウ	印刷集計結果のカウンタをクリアします。ただし、トータルカウントと消耗品交換回数はクリアされません。	
カラーレスモードメニュー(*1)	カラーレス モード	ムコウ ユウコウ	カラートナー（Y/M/C）が寿命となり、印刷ができなくなった場合に、モノクロ印刷のみ可能とします。「カラーレス印刷を行う」（140 ページ）を参照してください。	
パスワードヘンコウメニュー(*1)	アタラシイパスワード	****	新しいパスワードを設定します。	
	パスワードサイニュウリョク	****	「アタラシイパスワード」で設定したパスワードを再入力します。	

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。
- 本製品添付のトナーカートリッジを使用している場合
- ドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けた場合
- 新しいドラムに取り付けた 1 本目のトナーカートリッジを使用している場合

*1　：選択時、パスワードの入力が必要です。

参照　「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

*2　：オプションの拡張給紙ユニット装着時に表示されます。

*3　：本機能を実行する場合は、プリンタドライバの設定で双方向通信を無効に設定してください。

参照『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

オペレータパネルで行える、主な設定と操作

ここでは、プリンタのオペレータパネルで行える、主な機能の設定や操作方法について説明します。

設定内容の印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容を印刷します。
設定内容は、インフォメーションメニューの「セッテイナイヨウインサツ」で印刷します。
・ 設定内容の印刷例

設定内容　XL-C2260

CU version:F0.41
PU version:00.F0.01
Program version:14.10
両面ユニット:installed
Total Memory Size:256 MB

Network Version:F0.04　Internet Service:F0.14

印刷メニュー
　コピー枚数 : 1
　モノクロ印刷速度 : モード 1

メディアメニュー
　トレイ1用紙サイズ : A4
　トレイ2用紙サイズ : A4
　MPトレイ用紙サイズ : A5

カラーメニュー
　シアン位置ずれ微調整 : 0
　マゼンタ位置ずれ微調整 : 0
　イエロー位置ずれ微調整 : 0
　UCR : 少ない
　CMY100%濃度 : 無効
　自動濃度補正モード : 自動
　シアン HIGHLIGHT : 0
　シアン MID-TONE : 0
　シアン DARK : 0
　マゼンタ HIGHLIGHT : 0
　マゼンタ MID-TONE : 0
　マゼンタ DARK : 0
　イエロー HIGHLIGHT : 0
　イエロー MID-TONE : 0
　イエロー DARK : 0
　ブラック HIGHLIGHT : 0
　ブラック MID-TONE : 0
　ブラック DARK : 0
　シアン濃度 : 0
　マゼンタ濃度 : 0
　イエロー濃度 : 0
　ブラック濃度 : 0

システム構成メニュー
　パワーセーブ移行時間 : 60 分
　タイムアウト印刷 : 40 秒
　ジャムリカバリ : オン

USBメニュー
　ソフトリセット : 無効
　SPEED : 480Mbps
　シリアルナンバ : 有効

ネットワークメニュー
　IPアドレス設定 : 自動
　IPアドレス : 10.10.20.110
　サブネットマスク : 255.255.255.0
　ゲートウェイアドレス : 10.10.20.1
　WEB : 有効
　SNMP : 有効
　ネットワークの規模 : 普通
　ハブとの接続 : 自動

位置調整メニュー
　X補正 : 0.00 ミリメートル
　Y補正 : 0.00 ミリメートル
　両面印刷X補正 : 0.00 ミリメートル
　両面印刷Y補正 : 0.00 ミリメートル

補助メニュー
　パワーセーブ機能 : 有効

　普通紙ブラックセッティング : 0
　普通紙カラーセッティング : 0
　OHPブラックセッティング : 0
　OHPカラーセッティング : 0
　SMRセッティング : 0
　BGセッティング : 0

寿命メニュー
　総印刷ページ数 : 8408
　装置寿命 : 3 %
　トレイ1給紙回数 : 4237
　トレイ2給紙回数 : 1798
　MPトレイ給紙回数 : 1041
　カラーページ印刷数 : 58
　モノクロページ印刷数 : 28
　ブラック ドラム : 使用量 48 %
　シアン ドラム : 使用量 29 %
　マゼンタ ドラム : 使用量 29 %
　イエロー ドラム : 使用量 29 %
　ベルトユニット : 使用量 16 %
　定着器 : 使用量 14 %
　ブラックトナー (5.0K) : 残り 70 %
　シアントナー (5.0K) : 残り 90 %
　マゼンタトナー (1.5K) : 残り 20 %
　イエロートナー (1.5K) : 残り 20 %

カラーレスモードメニュー
　カラーレスモード : 無効

ガイド

・ 設定内容は A4 サイズに印刷します。
・ 用紙がない場合は「XXXX に用紙を入れてください」（XXXX は給紙口を表示します）と表示されますので、用紙を補給してください。
・ 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。

情報の確認

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容などは、メニューモード内でも確認することができます。
以下は、用紙トレイ 1 での印刷枚数を確認する方法です。

1. **印刷可能状態であることを確認する**

   次のいずれかの状態であることを確認します。
   - オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
   - オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
   - オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2. **オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す**

   オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3. **「メニュー＋」または「メニュー－」スイッチを、「ジュミョウ メニュー」が表示されるまで押す**

4. **「設定」スイッチを押す**

   設定項目にレベルが移動します。

トータルページカウント nnnnnnn

5. **「メニュー＋」スイッチを 2 回押す**

   用紙トレイ 1 の給紙回数が表示されます。

トレイ1キュウシカイスウ nnnnnnn

6. **確認が終わったら「オンライン」スイッチを押し、メニューモードを終了する**

IPアドレスの設定

本製品に IP アドレスを設定するには、プリンタに直接設定する手動設定と、プリンタの電源投入時に DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定の 2 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

●手動設定の場合

設定は、メニューモードの「ネットワーク メニュー」−「IP アドレスセッテイ」で、まず「シュドウ」に変更してから、IP アドレスの設定を行います。

1. **印刷可能状態であることを確認する**

   次のいずれかの状態であることを確認します。

   ・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
   ・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
   ・オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2. **オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す**

   オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3. **「メニュー+」または「メニュー−」スイッチを押し、インフォメーションメニューにする**

4. **「メニュー+」スイッチを 6 回押し、ネットワークメニューにする**

5. **「設定」スイッチを押す**

   IPアドレスセッテイ
   ジドウ *

   ガイド

   「ネットワークメニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。

   参照 「オペレータパネルの操作制限」(142 ページ)参照

   設定項目にレベルが移動します。

6. **「メニュー+」スイッチを押す**

   IP アドレスが表示されます。

   IPアドレス
   XXX. XXX. XXX. XXX

7 **「設定」スイッチを押す**

IP アドレスの 1 桁目が点滅します。

8 **「メニュー+」または「メニュー−」スイッチを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定する**

ここでは、192.168.0.2 に設定する場合を例にします。
ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

```
IPアドレス
192
```

9 **「設定」スイッチを押す**

IP アドレス 1 桁目が点灯に切り替わり、2 桁目が点滅します。

```
IPアドレス
192.xxx.xxx.xxx
```

10 **手順 8 〜 9 を繰り返し、すべての桁を設定する**

4 桁目を設定すると設定した値の右側に＊がつきます。

```
IPアドレス
192.168.0.2 *
```

11 **手順 7 〜 10 と同様に、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定する**

12 **「オンライン」スイッチを押す**

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

● DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「ネットワークメニュー」－「IP アドレス設定」が、「ジドウ」になっていることを確認します。
DHCP サーバとプリンタをネットワークに接続し、プリンタの電源を投入してください。プリンタの起動時に IP アドレスを DHCP サーバから取得します。

ガイド

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、ネットワークメニューの印刷を行って確認してください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IP アドレスは、メニューモードの「ネットワークメニュー」－「IP アドレス」で確認することができます。
- IP アドレスが取得できなかった場合や、表示された IP アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「ネットワークメニュー」－「IP アドレスセッテイ」が「ジドウ」になっているか確認します。「シュドウ」の場合は、「ジドウ」に変更してください。（初期値は「ジドウ」です。）
  設定変更後、メニューモードを抜けるとプリンタが再起動し、IP アドレスの取得を行います。

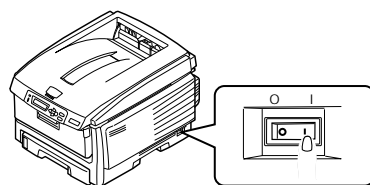
カラーレス印刷を行う

イエロー / マゼンタ / シアンのトナーがなくなり、オペレータパネルに「トナー　コウカン」メッセージが表示されると、通常は新品のトナーカートリッジに交換するまでプリンタが使用できなくなります。ただし、オペレータパネルでカラーレスモードの設定変更を行うことによりグレースケール印刷のみを継続して行うことができます。次の手順に従って、カラーレス印刷を設定します。

ガイド

「トナー　コウカン」が表示されていない場合は、メニューモードからもカラーレス印刷の設定ができます。

参照 「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照

1 「リセット」スイッチを押しながら、プリンタ本体右側にある電源スイッチの「｜」側を押して電源を入れ、「カラーレス モードメニュー」を表示する

2 「設定」スイッチを 1 回押し、カラーレスモードの状態を表示する（初期値 ：「ムコウ」）

カラーレス　モード
ムコウ　　　　　　＊

ガイド

「カラーレスモードメニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。

参照 「オペレータパネルの操作制限」（142 ページ）参照

3 「設定」スイッチをもう 1 回押し、カラーレスモードの状態を点滅表示にする

4 「メニュー＋」スイッチを 1 回押し、カラーレスモードの状態を「ユウコウ」に変更する

5 「設定」スイッチをもう 1 回押し、「ユウコウ　＊」状態を確定する

6 「オンライン」スイッチを押す

「デンゲン　オフオン」と表示されるまで待ってください。

モード ヘンコウ　カンリョウ
デ ンゲ ン　オフオン

7 プリンタ本体右側にある電源スイッチの「｜」側を押して、電源を入れ直す

オペレータパネルの 1 行目の右端に「. モノクロ」と表示され、カラーレス印刷（黒トナーのみでの印刷）が可能となります。

ガイド

・カラーレスモードが有効な状態でカラー印刷を行った場合、「カラーページヲ ジュシンシマシタ／ジョブヲ　キャンセル シテクダサイ」と表示されます。本モードではカラーデータの印刷はできないため、「リセット」スイッチを押し、データをキャンセルしてください。
・カラーレスモードを有効とした場合でも、黒トナーカートリッジがない場合は印刷できません。
・新品のトナーカートリッジを入手後は、同一手順によりカラーレスモードを無効に戻し、対応するトナーカートリッジを交換してください。再びカラー印刷が可能となります。

セキュリティに関する設定

ここでは、プリンタを使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

サービスの管理

ネットワークサービスの有効 / 無効を設定します。
設定は、メニューモードの「ネットワークメニュー」－「WEB」、「SNMP」から行います。

ガイド

・各設定を無効にした場合について、詳しくは Color Printia LASER Internet Service のネットワークサービスの説明を参照してください。

参照 『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

・「ネットワークメニュー」の「WEB」を無効に設定した場合など、Color Printia LASER Internet Service からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルの「管理者用メニュー」はパスワード（4 桁の数字）で制限されています。「管理者用メニュー」を選択すると、パスワードの入力を要求されます。
「メニュー＋」「メニュー－」スイッチで数字を選び、「設定」スイッチを押すと次の行に移ります。4 桁のパスワード入力したら最後に「設定」スイッチを押します。
パスワードの初期値は、「0000」です。パスワードの変更は、メニューモードの「パスワードヘンコウメニュー」から行ってください。

```
パスワードニュウリョク
****
```

ガイド

パスワードを忘れた場合は、「設定」スイッチと「オンライン」スイッチを同時に押しながらプリンタの電源を入れてください。
一時的にパスワードが「0000」になります。パスワードの変更で新しいパスワードを設定してください。

パスワードの変更

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
・オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

2 オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す

オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

3 「メニュー+」または「メニュー−」スイッチを、「パスワードヘンコウメニュー」が表示されるまで押す

4 「設定」スイッチを押す

パスワード ヘンコウ

ガイド

「管理者用メニュー」に入るためにはパスワードの入力が必要です。
参照『「オペレータパネルの操作制限」（142 ページ）参照

設定項目にレベルが移動します。

5 「設定」スイッチを押す

新しいパスワードの入力画面になります。

アタラシイ パスワード

6 「メニュー＋」「メニュー－」スイッチでパスワードの１桁目を設定する

アタラシイ パスワード
X

7 「設定」スイッチを押す

アタラシイ パスワード
*

8 手順6～7を繰り返し、すべての桁を設定し、「設定」スイッチを押す

アタラシイ パスワード
* * * *

9 手順6～8と同様に新しく設定したパスワードをもう一度入力する

パスワード サイニュウリョク
* * * *

10 オンラインスイッチを押す

これでパスワードの変更は完了です。

第６章

用紙について

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

使用できる用紙のサイズ

本製品は、給紙カセット（標準）、拡張給紙ユニット（オプション品）、マルチパーパストレイ（手差しトレイ）を使い分けることによって、いろいろな用紙を取り扱うことができます。次の用紙の使用をお勧めします。

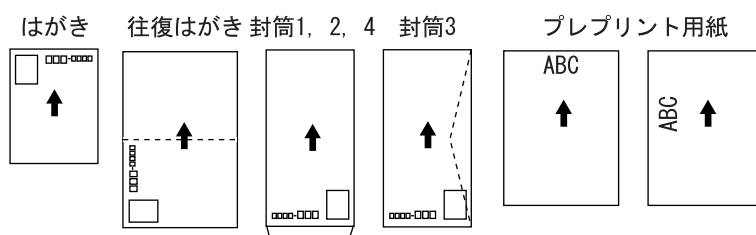
◎：片面、両面印刷とも使用できます。
○：片面印刷のみ使用できます。
▲：片面、両面印刷とも一部のサイズで使用できます。
△：片面印刷のみ、一部のサイズで使用できます。
×：使用できません。

種類	厚さ 坪量（連量）	サイズ *3	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット *2		マルチパーパストレイ（手差し）	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1（標準カセット）	トレイ 2*1（拡張給紙ユニット）			
普通紙 *4	64～74g/㎡ (55～64kg)	A4,A5,B5, レター, リーガル	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義（カスタム）*5	×	×	◎ *12	◎ *12	▲ *13
厚い紙	75～104g/㎡ (65～90kg)	A4,A5,B5, レター, リーガル	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義（カスタム）*5	×	×	◎ *12	◎ *12	▲ *13
より厚い紙	105～120g/㎡ (91～103kg)	A4, A5, B5, レター, リーガル	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		ユーザ定義（カスタム）*5	×	×	○	○	△ *6
ごく厚い紙 *8	121～200g/㎡ (104～172kg)	A4, A5, B5, レター, リーガル	×	○ *7	○	○	△ *11
		A6	×	×	○	○	×
		ユーザ定義（カスタム）*5	×	×	○	○	△ *14
		はがき, 往復はがき *8	×	×	○	○	×
封筒 *4*8	−	封筒 1（長形 3 号） 封筒 2（長形 4 号） 封筒 3（洋形 4 号） 封筒 4*9	×	×	○	○	×
ラベル紙 1*8	0.1～0.16mm	A4, レター	×	×	○	○	×
ラベル紙 2*8	0.17～0.2mm	A4, レター	×	×	○	○	×
OHP フィルム *8	−	A4, レター	×	×	○	○	×
長尺紙	121～200g/㎡ (104～172kg)	ユーザ定義（カスタム）*5	×	×	○	○	×

*1　：トレイ 2 はオプションです。
*2　：上から順にトレイ 1、トレイ 2 となります。
*3　：すべての用紙は縦送りです。

用紙のセット方向

はがき　往復はがき 封筒1，2，4　封筒3　プレプリント用紙

ABC　ABC

封筒に縦長で印刷する場合、プリンタドライバの「印刷オプション」タブで「印刷の向き」を縦に 180° 回転してください。

参照　印刷の向きについて、詳しくはプリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

*4　：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
*5　：ユーザ定義サイズは、オペレータパネル上の表示や設定内容一覧では「カスタム」と表示されます。カスタムは幅 64 ～ 215.9mm、長さ 148 ～ 1200mm です。ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅 210 ～ 215.9mm となります。
*6　：幅 105 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。
*7　：トレイ 2 で実際に扱える「ごく厚い紙」の厚さは、121 ～ 175g/ ㎡（104 ～ 150kg）です。
*8　：はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、ごく厚い紙を設定すると印刷速度が遅くなります。
*9　：封筒 4 は A4 サイズです。
*10：封筒 1,2,4 と同じ向きにセットしてください。
*11：フェイスダウンで実際に扱える「ごく厚い紙」の厚さは 121 ～ 175g/ ㎡（104 ～ 150kg）です。
*12：両面印刷は幅 148 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。
*13：片面印刷は幅 105 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。両面印刷は幅 148 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。
*14：幅 105 ～ 215.9mm, 長さ 210 ～ 355.6mm です。フェイスダウンで実際に扱える「ごく厚い紙」の厚さは、121 ～ 175g/ ㎡（104 ～ 150kg）です。

ガイド

- マルチパーパストレイはプリンタのオペレータパネルや設定内容の印刷では「MP トレイ」と表示されます。
- OHP フィルムとラベル紙は、マルチパーパストレイで使用できます。
- 用紙幅で 150mm（A5 幅も含む）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

お願い

銘柄によっては、用紙のカールが大きくなる場合があります。用紙セット時の面を反対にすることで、カールが小さくなる場合があります。

使用できる用紙の種類

本製品で使用できる用紙の種類を説明します。用紙の厚さ（重量）は、「使用できる用紙のサイズ」（146 ページ）を参照してください。

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります（例えば、こしの弱すぎる用紙を使用すると、用紙にシワが入ったりアコーディオン状の紙づまりとなったり、こしの強すぎる用紙を使用すると、用紙全体がうっすらと黒くなったり印刷物をこするとかすれたりします)。できるだけサプライ品をご使用ください。サプライ品について、詳しくは「サプライ品一覧」（190 ページ）を参照してください。
用紙の重量は、64 ～ 120g/ ㎡ のものをお使いください。

お願い

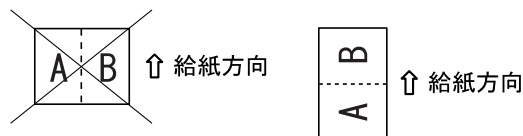
A5 より小さい用紙は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（85 ページ）を参照）

はがき

郵便はがきをご使用ください。
往復はがきの場合は、郵便の往復はがきで折り目のないものをご使用ください。

お願い

- マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（85 ページ）を参照）
- 用紙サイズの設定は「はがき」「往復はがき」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄かったりすることがあります。
- はがきは反りがないものをご使用ください。2mm 以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。
- 切手の貼ってあるはがきは、使用できません。
- 往復はがきをご使用のときは、給紙方向に注意してください。
- 両面に印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。（文書面、宛名面の順に印刷してください。）
- はがきによっては、裏面に「バリ」が大きいものがあります。はがきを水平な所に置き、定規などで「バリ」を取り除いてください。また、紙粉をよく払ってからセットしてください。
- インクジェット用郵便はがきは特殊コーティングが施されており、使用しないでください。
- あらかじめ印刷の施されているはがき（かもめ～るなど）は印刷のときに使用した添加粉がプリンタのローラなどに付着して、印刷品質の低下や走行不良、印刷位置ズレの原因となることがあります。印刷の施されていない郵便はがきをご使用ください。

<往復はがき>

封筒

クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または PPC 用紙で作られた封筒をご使用ください。また、封筒 1 ～ 4 は坪量 85g/ ㎡ の紙を使用した封筒をご使用ください。

お願い

- マルチパーパストレイにセットし､印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。(「印刷面を上にして用紙を排出する」(85 ページ) を参照)
- 用紙サイズの設定は「封筒 1 ～ 4」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると､印刷品位が著しく低下することがあります。
- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり､印刷が薄かったりすることがあります。
- 封筒は反りがないものをご使用ください。2mm 以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）の周り約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 切手の貼ってある封筒は、使用できません。
- 次のような封筒は使用できません。
- プラスチック製 / 内袋のある二重封筒 / とめ金、ボタン窓付き / フラップ部に粘着剤、両面テープが付いている
- 用紙によっては、しわが発生することがあります。推奨紙での印刷をお勧めします。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHP フィルム

溶けたり変質したりしないように､約 230 ℃の耐熱性を持った OHP シートを使用してください。本製品で使用できる OHP シートについては､「サプライ品一覧」(190 ページ) をご覧ください。

お願い

- マルチパーパストレイにセットし､印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。(「印刷面を上にして用紙を排出する」(85 ページ) を参照)
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり､印刷が薄かったりすることがあります。
- レーザプリンタ用のものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているページプリンタ用のものを使用してください。また、粘着材が定着時の熱(約230℃)で溶けたり変質したりしないものを使用してください。
本製品で使用できるラベル紙については、「サプライ品一覧」(190ページ)をご覧ください。

お願い

マルチパーパストレイにセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。(「印刷面を上にして用紙を排出する」(85ページ)を参照)

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクが耐熱性で、230℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器や感光ドラムやローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。

お願い

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のばらつきを充分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度　A4サイズで±2mm程度
  - 用紙の傾き　100mmあたり±1mm程度
  - 画像の伸縮　100mmあたり±1mm程度

厚紙(ごく厚い紙)

坪量121～200g/㎡の用紙をご使用ください。

お願い

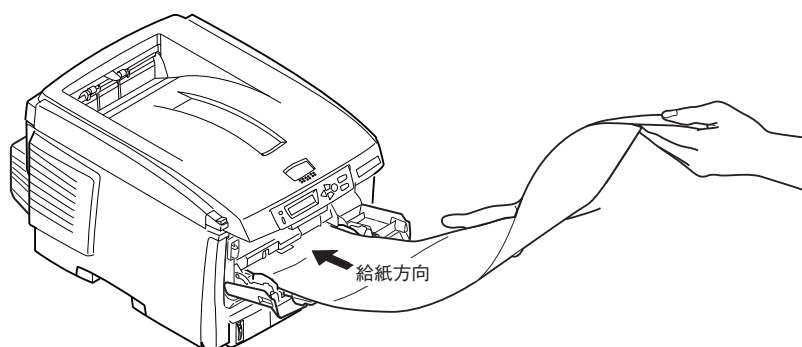
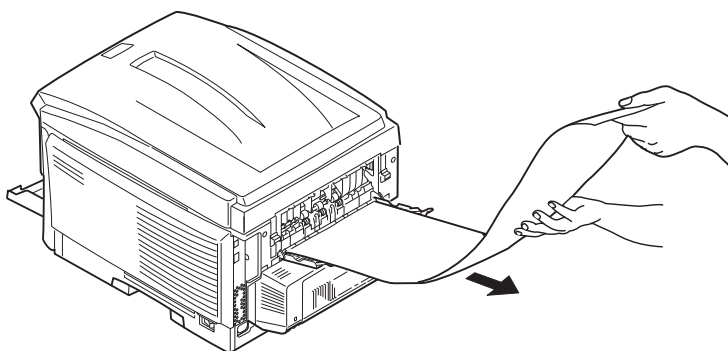
- マルチパーパストレイまたは拡張給紙ユニット(オプション)にセットし、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。(「印刷面を上にして用紙を排出する」(85ページ)を参照)
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄かったりすることがあります。

長尺紙

縦や横に長いデータ（1200mm の長さまで）を印刷することができます。
用紙サイズは、幅 210 ～ 215.9mm、長さ 356 ～ 1200mm（用紙厚が坪量 106 ～ 200g/ ㎡ ）の用紙が使用可能ですが、できるだけサプライ品をご使用ください。サプライ品以外を使用した場合は、シワ、印刷ズレ、および汚れが発生することがあります。

参照　「サプライ品一覧」（190 ページ）を参照

また、長尺紙の使用にあたっては、次の点に留意してください。

- フェイスアップスタッカに排紙してください。（「各部の名称と機能」（31 ページ）を参照）
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- パソコン側で印刷を実行する操作と、プリンタ側の給紙はタイミングを合わせてください。
- アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

- 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

お願い

幅が 210mm 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。

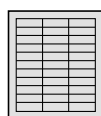
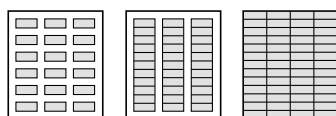
使用できない用紙

以下の用紙は本製品では使用できません。

本製品で使用できない用紙

以下にあげる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、ぬれている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
・反り、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙など）
・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230 ℃の熱でガスが発生するインクを使用したりしたプレプリント用紙
・230 ℃の熱で溶けたり、変質したりする用紙
・ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙
・横目の用紙
・熱転写プリンタ用紙 / インクジェット用紙 / 湿式 PPC 用紙 / 複写紙、和紙など
・台紙全体がラベルで覆われていない、または用紙端までカットラインのあるラベル用紙

×使用できません　　○使用できます

つるつるした台紙面　　全面ラベル紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。

郵便はがき、往復はがき、封筒、A6 用紙、厚紙（より厚い紙（105 ～ 120g/ ㎡）、ごく厚い紙（121 ～ 200g/ ㎡））、OHP フィルム、ラベル紙、長尺紙

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。

- 暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
- 平らなパレットの上
- 温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- 床の上に直接置く
- 直射日光の当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や、曲がりのある場所
- 静電気が発生する所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある所
- 複写機、空調機、ヒーター、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

- 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- 長期間プリンタを使用しないときは、用紙トレイ、マルチパーパストレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド

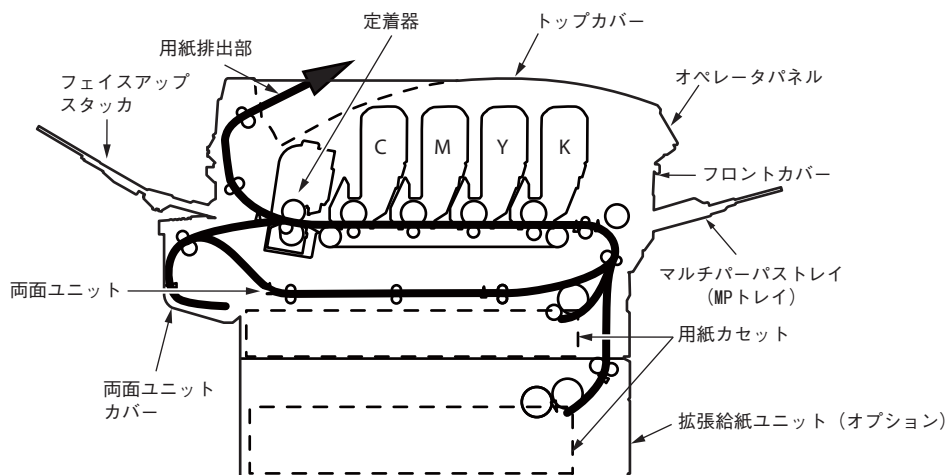
- 長時間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。具体的には以下のような現象が発生する場合があります。
  - 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる。
  - 印刷した用紙にシワが発生する。
  - 紙づまりが発生する。
- 再生紙をご使用される場合は、以下の点にご注意いただきますようお願いいたします。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙づまりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。このような環境でご使用される場合は、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出してご使用ください。
  - また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、用紙トレイ、マルチパーパストレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境でご使用になる場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行っていただいたうえで、銘柄を選定してください。

第7章
こんなときには

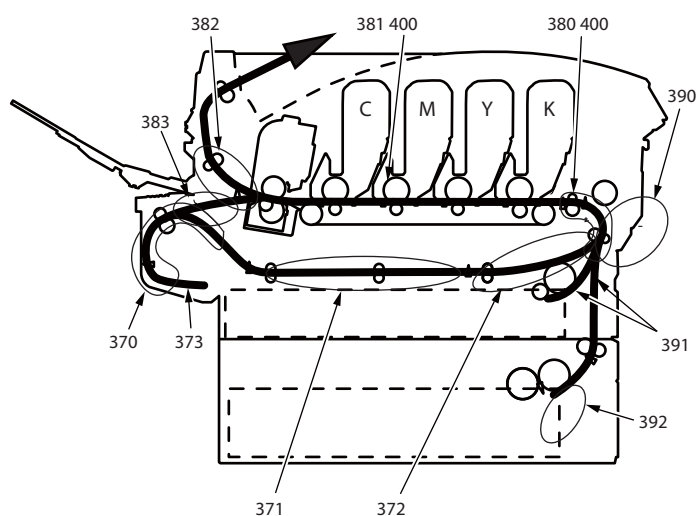
この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとオペレータパネルに「ヨウシ　ジャム」メッセージが表示されます。次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（プリンタを横から見た図）

●紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

（プリンタを横から見た図）

お願い

- **つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。**
- **用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。**

⚠ 注意

けが	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。けがの原因になることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
火災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。

紙づまりの主な原因

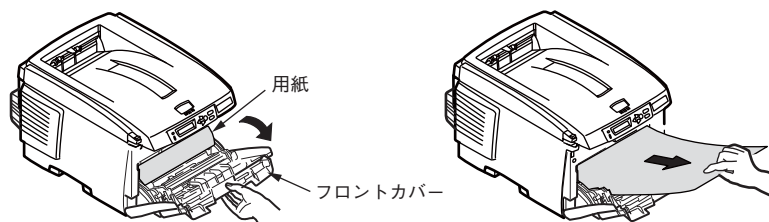
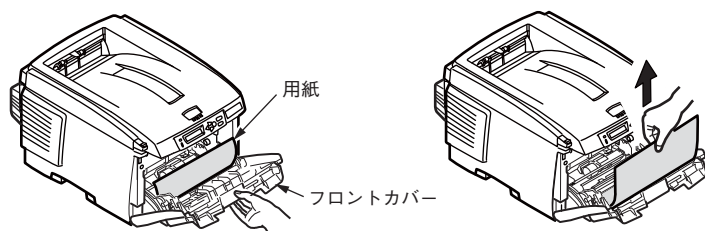
紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

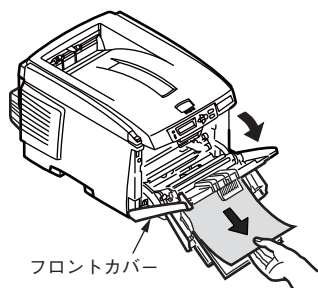
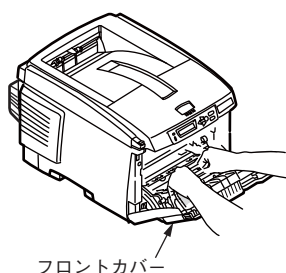
- プリンタを水平に設置する
- 反りのない用紙、しわ／折り目のない用紙など、適切な用紙を使用する。
  （特に、吸湿した用紙を使用すると紙づまりが発生しやすくなる場合があります。）
- 給紙カセットやマルチパーパストレイに用紙を正しくセットする
- 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む
- 給紙ローラが汚れている、摩耗している
- ドライバで指定の用紙種類と実際に使用している用紙種類が合っていない

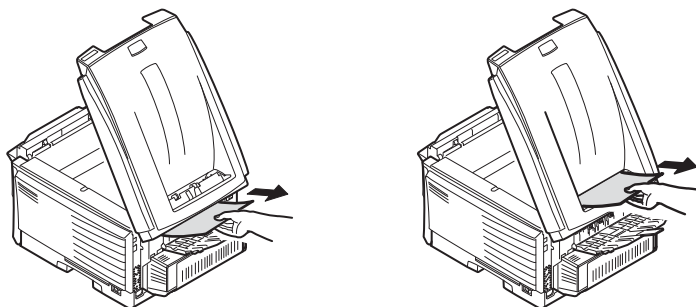
フロントカバー部でつまった用紙を取り除く（コード：372、380、390、391*、400）

フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

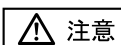
＊：「拡張給紙ユニット部（オプション）でつまった用紙を取り除く（コード：391*、392）」（164 ページ）も参照してください。

●後端が見える場合

●先端が見える場合

●先端が見えない場合

[その1]

[その2]

用紙排出部でつまった用紙を取り除く（コード：382）

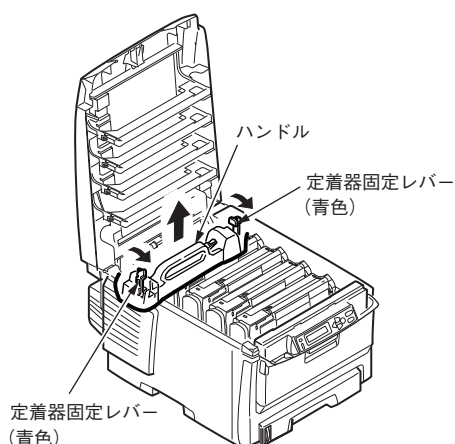
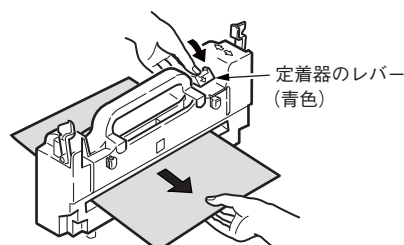
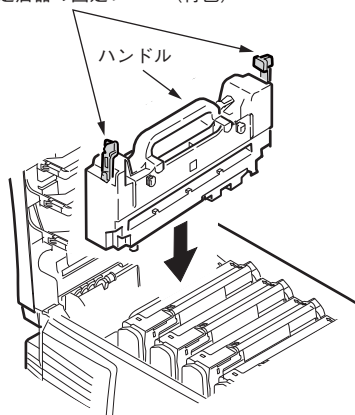
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

お願い

- 無理に用紙を引き出すと、定着器部に紙片が残る場合があります。「定着器でつまった用紙を取り除く（コード：381、382、383、385）」（160 ページ）の手順に従って、用紙を引き出せないか確認してください。
- 用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理にうしろに引き出すと定着器を傷めるおそれがあります。

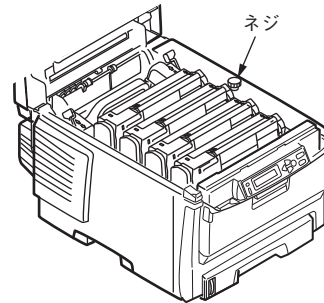
定着器でつまった用紙を取り除く（コード：381、382、383、385）

⚠ 注意

プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所には、触れないでください。
定着器を外す場合は、定着器が常温になってから、定着器のハンドルを持って取り出してください。

1. 定着器固定レバー（青色 2ヶ所）を矢印の方向へ起こす

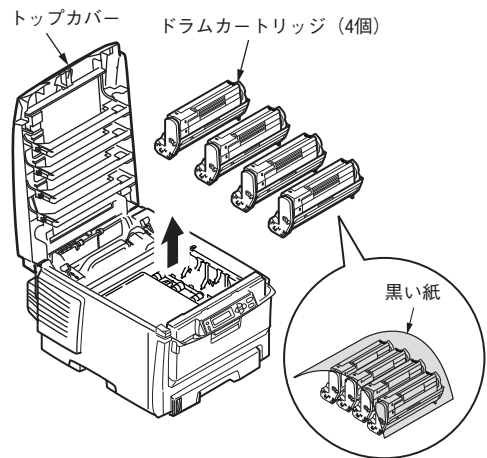
2. ハンドルを持って定着器を取り出し、平らなテーブルの上に置く

3. 定着器のレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出す

4. ハンドルを持って定着器をプリンタの中へ静かに戻し、定着器固定レバー（青色 2ヶ所）を奥側に倒し、固定する

定着器につまった用紙を取り除いた後は、定着器内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、設定内容一覧、白紙などを数回印刷してください。

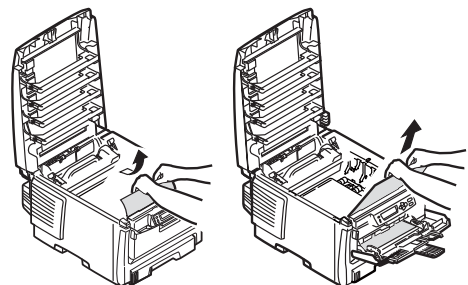
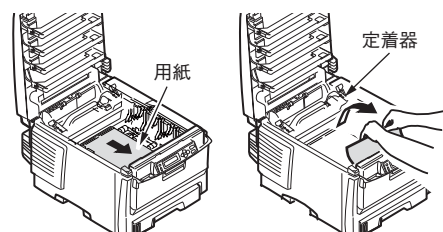
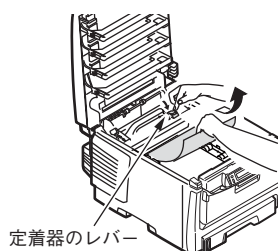
つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

ネジに手を触れて静電気を逃がす

2 ドラムカートリッジ（4 個）を取り出し、平らなテーブルの上に置く

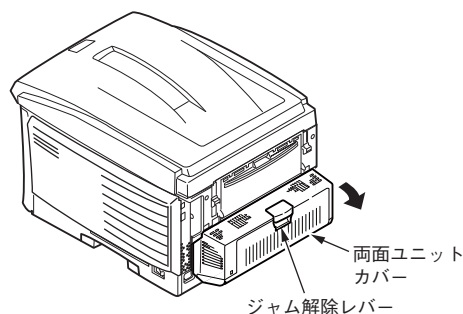
取り出したドラムカートリッジには、黒い紙をかぶせておきます。

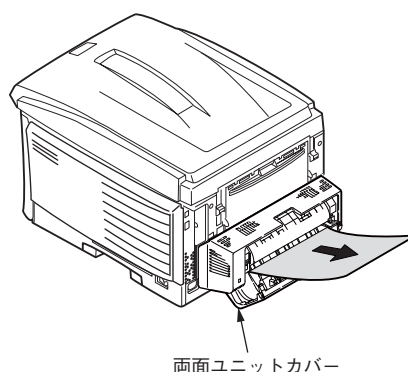
お願い

- 感光ドラム（緑の筒の部分）は非常に傷付きやすいため、取り扱いには充分注意してください。
- ドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

3 つまっている用紙をゆっくり引き出す

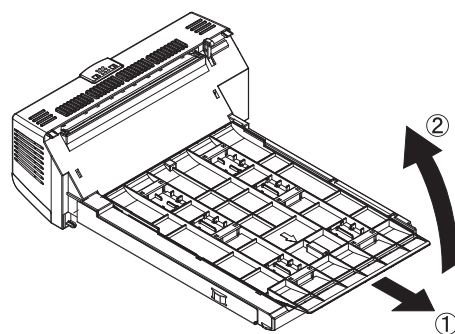
【用紙の先端が見えている場合】
プリンタ内部へゆっくり引き出します。

【用紙の先端も後端も見えない場合】
つまっている用紙を矢印方向にずらしてから、ゆっくり引き出します。

【用紙の後端が見えている場合】
定着器のレバーを矢印方向に押しながら、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

ドラムカートリッジをプリンタに戻す

両面ユニット部でつまった用紙を取り除く（コード：370、371、373）

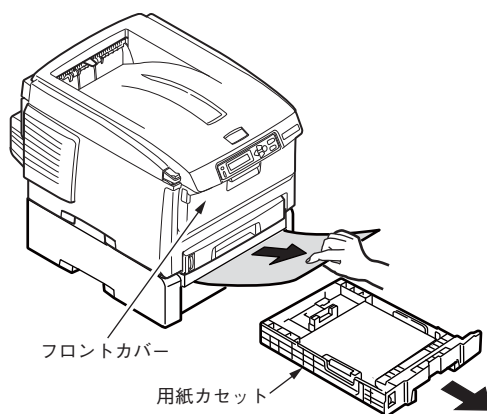
1. 両面ユニット部のジャム解除レバーを押して、両面ユニットカバーを開く

2. つまっている用紙を取り出す

用紙が見えない場合は、いったん両面ユニットカバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。

3. 両面ユニットを装置から引き抜き、両面ユニットのアッパーカバーを矢印の方向（①）に引っ張り、上に開く（②）。つまっている用紙を取り除く

お願い

- 紙づまりが発生した場合以外は、電源を入れた状態で両面ユニットを抜かないでください。通常は、電源を入れた状態で両面ユニットを抜くとエラーとなり、電源を入れ直す必要があります。
- 紙づまりを取り除き、両面ユニットをプリンタに取り付ける場合は、奥までしっかりと差し込んでください。
- 電源投入時に両面ユニットが外れていると、プリンタが両面ユニットを認識できない場合があります。両面ユニットを取り付けてから電源を投入してください。

拡張給紙ユニット部（オプション）でつまった用紙を取り除く（コード：391*、392）

＊：「フロントカバー部でつまった用紙を取り除く（コード：372、380、390、391*、400）」（158 ページ）も参照してください。

拡張給紙ユニット部の給紙カセットを抜いて、用紙を取り除く

2 用紙を除去後、フロントカバーを開閉する

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そのようなときは、次の各項目を読んで確認してください。

ガイド

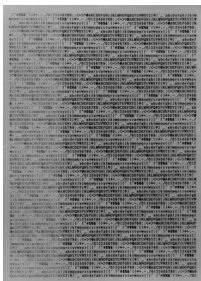
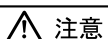
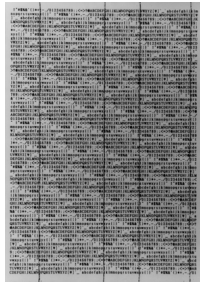
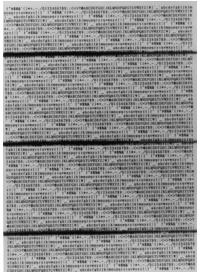
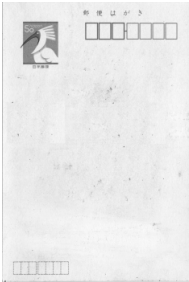
パソコンのアプリケーションからの印刷やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」を参照してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う。	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「電源の投入」（47 ページ）参照 参照「電源の切断」（57 ページ）参照
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・USBケーブルが抜けている。 ・USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用していない。 ・オンライン状態でない。	・USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンラインです』と表示されていることを確認してください。 参照「USB ケーブルの接続」（59 ページ）参照 参照「電源の投入」（47 ページ）参照 参照「電源の切断」（57 ページ）参照 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（115 ページ）参照
印刷処理が中断する	パソコンのデータ処理に時間がかかっている。	・タイムアウト時間を長く設定してください。 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	用紙サイズと、用紙ガイドがずれている。	・給紙カセットの縦／横ガイドクリップが正しくセットされているか確認してください。 参照「用紙のセット」（50 ページ）参照
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照「第 5 章　オペレータパネルの操作」（115 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
異常音がする	・プリンタ内部に用紙クズやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全な状態になっている。 ・プリンタが傾いている。 ・トップカバーが開いている。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 ・安定した水平な場所に設置してください。 ・トップカバーの左右を押してください。 参照「用紙のセット」（50 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（156 ページ）参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「第 6 章　用紙について」（145 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「用紙のセット」（50 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照 参照「第 6 章　用紙について」（145 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（156 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した。 ・紙づまりが発生している。	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「電源の投入」（47 ページ）参照 参照「電源の切断」（57 ページ）参照 参照「紙づまりになったとき」（156 ページ）参照
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・定期交換部品の交換時期になっている。	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れが取れたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 ・定期交換部品を交換してください。 参照「プリンタの清掃」（103 ページ）参照 参照「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（124 ページ）参照 参照「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照「オペレータパネルのエラーメッセージ」（175 ページ）参照
トナーカートリッジを装着してもカートリッジに関するエラーが表示される	・他社製のトナーカートリッジを装着している。 ・トナーカートリッジが故障している。	・他社製のトナーカートリッジを使用していないか確認してください。 ・純正のトナーカートリッジを使用していて、「トナーカートリッジが正しくありません」と表示される場合にはトナーカートリッジが故障しています。新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（86 ページ）参照
印刷開始時や印刷中に「オンド　チョウセイチュウ」と表示される	・印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した 。 ・幅の狭い用紙などを大量に連続印刷した。	装置内の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。
液晶ディスプレイの表示が判読できない	・静電気による誤作動 ・バックライトが消えている。	・アースが正しく接続されていることを確認してください。 ・パワーセーブになるとバックライトが消灯します。オペレータパネルのスイッチを押すと、パワーセーブ状態のままバックライトを点灯することができます。 参照「安全上のご注意」（9 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
新しいトナーカートリッジを装着しても液晶ディスプレイのトナー残量表示が元に戻らない	純正品以外のトナーカートリッジを装着している。	純正品以外のトナーカートリッジを使用された場合は、トナー残量表示を正しく表示できません。
印刷を中止できない	エラーが発生している。	エラー発生中に印刷を中止しても印刷が中止されない場合があります。エラーを解除すると、印刷が中止されます。
指定したトレイと別のトレイから印刷される	給紙オプションで自動トレイ切り替えが有効になっている。	特定トレイからのみ印刷する場合は、給紙方法を自動選択以外に設定し、自動トレイ切り替えを無効にします。
・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。 参照「安全上のご注意」(9 ページ)参照
ページの切り替わりに時間がかかる	モノクロページの次にカラーページがある。	モノクロページの次にカラーページがあると、印刷速度の切り替えのために処理に時間がかかります。オペレータパネルのメニューモードで「モノクロ印刷速度」を「モード 2」にすると、切り替えによる待ち合わせはなくなりますが、モノクロページもカラー印刷速度(A4印刷時は26ppm)になります。 参照「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」(124 ページ)参照
オフラインにしてもオペレータパネルの液晶ディスプレイに「オフラインです」と表示されない	印刷中にオフライン状態にした。	印刷中にオフラインにすると処理中のデータがプリンタ内に残ったままになることがあります。この場合、液晶ディスプレイには「ショリチュウ」または「データ　アリ」と表示されますが、プリンタはオフライン状態になっています。
排出した用紙が落下する	封筒の裏面に印刷している。	排出済みの封筒の口に次の封筒が当たり封筒が押し出され落下することがあります。封筒の裏面に印刷する場合は、排出されるごとに封筒を取り除いてください。
両面印刷が行われず、片面印刷が行われてしまう	電源投入時に両面ユニットが取り付けられていなかった。	電源投入時に、両面ユニットを正しく取り付けておく必要があります。いったん電源を切り、両面ユニットが正しく取り付けられていることを確認した後、再度電源を入れてください。
トップカバーがうまく閉められない	ベルトユニットのロックがかかっていない。	ベルトユニットがロックされていることを確認してください。
印刷中にリセットスイッチを押して印刷を中止したら、「データクリアチュウ」表示のまま止まっている	データ量の大きな印刷データを印刷中止した。	データ量の大きな印刷を中止した場合は、長時間「データクリアチュウ」表示のままとなる可能性があります。「オンライン」表示に戻るまでは、印刷を控えてください。

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。

⚠ 注意	やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙の送り方向と平行に白いスジが入る ↑用紙の送り方向	LED ヘッドが汚れている。	LED レンズクリーナ、または柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（106 ページ）参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（86 ページ）参照
	異物がつまっている。	ドラムカートリッジを交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（93 ページ）参照
	ドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れている。	LED レンズクリーナ、または柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「トナーカートリッジの交換方法」（88 ページ）参照
用紙の送り方向と平行にかすれる ↑用紙の送り方向	LED ヘッドが汚れている。	LED レンズクリーナ、または柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（106 ページ）参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（86 ページ）参照
	用紙がプリンタに適していない。	推奨紙を使用してください。 参照「第 6 章　用紙について」（145 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷が薄い	トナーカートリッジが正しくセットされていない。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」(86ページ)参照
	用紙が湿気を含んでいる。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していない。	推奨紙を使用してください。 参照「第6章　用紙について」(145 ページ)参照
	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	・プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。 ・プリンタドライバで用紙種類を「自動検知」に設定している場合は、適切な厚さを選択してください。
	再生紙を使用している。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると、白い点や線が現れる	用紙やトナーが湿気を含んでいるか、乾燥している。	・適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 ・適切な温度、湿度に保管した用紙を使用しても変わらない場合は、プリンタ本体を適切な温湿度の環境に約12時間放置してからご使用ください。
	「セッティング」の設定が不適切。	プリンタのメニュー設定で「フツウシ　クロセッティング」、または「フツウシ　カラーセッティング」の値を変更してみてください。OHP に印刷している場合は、「OHP　クロセッティング」、または「OHP　カラーセッティング」の値を変更してみてください。
用紙の送り方向と平行にスジが入る ↑用紙の送り方向	ドラムカートリッジに傷が付いている。	ドラムカートリッジを交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」(93ページ)参照
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」(86ページ)参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙の送り方向と垂直にスジや点が周期的に入る ↑用紙の送り方向	約 94mm 周期の場合は、ドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れが付いている。	傷が付いていたら、ドラムカートリッジを交換してください。
	約 40mm 周期の場合は、ドラムカートリッジ内にゴミが混入している。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約 87mm 周期の場合は、定着器に傷が付いている。	定着器を交換してみてください。
	ドラムカートリッジが光にさらされた。	ドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、ドラムカートリッジを交換してください。
	半日以上プリンタの稼動がなかった状態からハーフトーン画像を印刷すると、約 40mm 周期の濃淡が現れる場合がある。	プリンタの故障ではありません。ハーフトーンの濃度を変えることにより、改善される場合があります。
白地の部分が薄く汚れる	用紙が静電気を帯びている。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚すぎる用紙を使用している。	プリンタにあった用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 参照「トナーカートリッジの交換」（86 ページ）参照
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電している。	室内の湿度を高くしてください。湿度 50%RH が最適です。
	高温高湿環境に長期間（約 4 日間以上）放置されたため、用紙やトナーが水分を吸収している。	適切な温湿度環境に約 12 時間放置してからご使用ください。
	ドラムカートリッジが劣化している。	ドラムカートリッジを交換してください。 参照「ドラムカートリッジの交換」（93 ページ）参照
文字の周辺がにじむ	LED ヘッドが汚れている。	LED レンズクリーナ、または柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 参照「LED ヘッドの清掃」（106 ページ）参照
	LED ヘッドの位置が正しくない。	プリンタのトップカバーを開閉してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる こすると文字の周辺が汚れる	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがある。	プリンタの故障ではありません。
	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがある。	プリンタの故障ではありません。 ・事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 ・高温、高湿度環境を避けてください。温度23 ℃、湿度50% が最も適した環境です。
用紙が反る	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。
	普通紙を厚紙の設定で印刷している。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
こするとトナーが取れる	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
	再生紙を使用している。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
光沢にムラが出る	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
トナーが定着しない所がある トナーがはがれる	定着器の温度が適切ではない。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切である。	プリンタドライバで正しい用紙種類を設定してください。
思った色合いで印刷されない	トナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	「黒の生成」の設定がアプリケーションに合っていない。	プリンタドライバの「黒の生成」で「CMYKトナーで生成」または、「黒 (K) トナーのみで生成」を選択してください。 参照『オンラインマニュアル』参照
	カラー調整を変更している。	プリンタドライバの「カラーモード」で適切な設定を行ってください。 参照『オンラインマニュアル』参照
	カラーバランスが取れていない。	プリンタのオペレータパネルで濃度補正を実行してください。 参照「濃度を補正する」(101 ページ) 参照
	色ズレが起こっている。	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ズレ補正調整をしてください。 参照「色ズレを調整する」(100 ページ) 参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印字がかすれる	100ページ以上の印刷ジョブを繰り返すと、「＊＊＊＊　マモナク　トナーギレ」を表示せずにトナーが残り少なくなることがある。	トナーカートリッジを交換してください。
モニタの色と印刷結果が合わない 思った色が出ない	プリンタユーティリティのカラーが調整されてない。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合がある。	添付のユーティリティを使ってカラー調整を行います。 参照『オンラインマニュアル』参照
特定の色が薄いまたは濃い	カラーバランスが取れていない。	プリンタのオペレータパネルで濃度補正を実行してください。 参照「濃度を補正する」(101 ページ) 参照
印刷結果が汚いまたは粗い	ハーフトーン濃度が適切でない	ハーフトーン調整を細かく設定してください。
汚れが出る(トナーが飛び散る)	トナーやドラムが正しくセットされていない。	トップカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする	指定したフォントに問題がある。	フォント印刷を行います。 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。 参照「メニューモードの項目一覧」(126 ページ) 参照
40mm、82mm、94mm 周期の残像が印刷される	印刷環境が適切でない。	高温度、高湿度環境、また低温度、低湿度環境を避けて、推奨環境で使用してください。
	印刷品位、明暗の調整の設定が適切でない。	プリンタドライバの［印刷オプション］ダイアログの「印刷品位」、または［カラー］ダイアログの「明暗の調整」で適切な設定を行ってください。 参照『オンラインマニュアル』参照
用紙に水滴が付く	・結露した水分が用紙に付着した。 ・電源投入直後、パワーセーブ解除直後に両面印刷をした。	・プリンタの電源投入直後に水分を吸収した用紙に印刷すると、結露した水分が用紙に付くことがあります。プリンタ全体の温度が一定になるまでしばらくお待ちください。 ・通気口がふさがれていないか、プリンタ周囲に充分なスペースが確保されているか確認してください。 参照「安全上のご注意」(9 ページ) 参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
カラーと黒の間に隙間ができる	色ズレの調整をしてから時間がたっている。	・トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ズレ補正調整をしてください。 参照「色ズレを調整する」(100 ページ)参照 ・プリンタドライバで「黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する」にチェックを付けて印刷してください。 参照『オンラインマニュアル』参照
シアンに白点が多数入っている	両面印刷時にシアンのトナーが残り少なくなっている、または連続して数百枚以上の印刷を行った場合に発生する場合がある。	「C マモナク　トナーギレ」と表示されている場合は、シアンのトナーカートリッジを交換してください。上記メッセージが表示されていないにも関わらず、この現象が発生する場合は、プリンタを約 12 時間休止させてから印刷を再開するか、片面印刷に切り替えると改善されます。

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

tttt　　：トレイ 1　：給紙カセット
　　　　　トレイ 2　：拡張給紙カセット（オプション）
　　　　　MP トレイ：マルチパーパストレイ
mmmm　：用紙サイズ

エラーに関するメッセージ

コード nnn	オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
126	126：ｹﾂﾛ ｴﾗｰ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｷﾘ ｼﾊﾞﾗｸ ﾏﾂ	消灯	点滅	結露エラーが発生しています。しばらく待って電源を入れてください。
181	181：ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ ﾂｳｼﾝｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｦ ｶｸﾆﾝｺﾞ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｵﾌｵﾝ	消灯	点滅	両面ユニットを取り付け直し、再度、電源を入れてください。*1
182	182：ｶｸﾁｮｳｷｭｳｼﾕﾆｯﾄ ﾂｳｼﾝｴﾗｰ ｶｸﾁｮｳｷｭｳｼﾕﾆｯﾄｦ ｶｸﾆﾝｺﾞ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｵﾌｵﾝ	消灯	点滅	オプションの拡張給紙ユニットを取り付け直し、再度、電源を入れてください。
310	310：ﾄｯﾌﾟ / ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
316	316：ﾘｮｳﾒﾝ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	消灯	点滅	両面ユニットカバーが開いています。印刷するときはカバーを閉めてください。
320	320：ﾃｲﾁｬｸｷ ﾐｿｳﾁｬｸ	消灯	点滅	定着器が正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
330	330：ﾍﾞﾙﾄ ﾐｿｳﾁｬｸ	消灯	点滅	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
340 341 342 343	nnn*2:****3 ﾄﾞﾗﾑ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾄﾞﾗﾑｦ ﾀﾀﾞｼｸｾｯﾄｽﾙ	消灯	点滅	K/Y/M/C 色のドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。エラー対象となったドラムカートリッジを取り付け直してください。
350 351 352 353	nnn*4:*****5 ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ LED ﾍｯﾄﾞ ｾｲｿｳ	消灯	点滅	ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムを交換し、LED ヘッドを清掃してください。
354	354：ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	定着器の交換時期です。ご購入元へご連絡ください。
355	355：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	ベルトユニットの交換時期です。ご購入元へご連絡ください。
356	356：ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	消灯	点滅	廃トナーがいっぱいとなり、ベルト寿命となりました。ご購入元へご連絡ください。

コード nnn	オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
360	360：ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄ ﾐｿｳﾁｬｸ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｦ ｲﾚﾙ	消灯	点滅	両面ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。
370	370：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｸ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥のほうに用紙があります。
371	371：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｸ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。中央付近に用紙があります。
372	372：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾌﾛﾝﾄ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾙ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。手前のほうに用紙があります。
373	373：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾘｮｳﾒﾝ ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄﾉ ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｸ	消灯	点滅	両面ユニット付近で紙づまりが発生しました。両面ユニットカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。奥のほうに用紙があります。
380	380：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。
381	381：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。
382	382：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾊｲｼﾌﾞ ﾄｯﾌﾟ / ﾘｮｳﾒﾝｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーと両面ユニットカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。
383	383：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面ユニット入口付近に用紙があります。
385	385：ｶﾐｼﾞﾏﾘ ﾅｲﾌﾞ ﾄｯﾌﾟｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けて定着器に巻き付いている用紙を取り除いてください。
390	390：ﾋﾟｯｸﾐｽ MP ﾄﾚｲ ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰ	消灯	点滅	マルチパーパストレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
391	391：ﾋﾟｯｸﾐｽ ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲｶｸﾆﾝ / ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｶｲﾍｲ	消灯	点滅	トレイ1からの給紙中に紙づまりが発生しました。フロントカバーを開けてつまった用紙を取り除いてください。
392	392：ﾋﾟｯｸﾐｽ ﾄﾚｲ 2 ﾄﾚｲｶｸﾆﾝ / ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｶｲﾍｲ	消灯	点滅	トレイ2からの給紙中に紙づまりが発生しました。給紙カセットを抜き、つまった用紙を取り除いてください。用紙除去後、フロントカバーを開閉してください。

コード nnn	オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
400	400：tttt ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ ﾄﾚｲｶｸﾆﾝ / ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰｶｲﾍｲ	消灯	点滅	用紙サイズが違っています。フロントカバーを開けて用紙を取り除き、表示されている給紙口に正しいサイズの用紙を入れてください。
410 411 412 413	nnn[*6]：****[*5] ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ LED ﾍｯﾄﾞ ｾｲｿｳ	消灯	点滅	対象トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換し、LED ヘッドを清掃してください。 K（ブラック）トナーが表示されていない場合は、カラーレス印刷を行うことができます。 参照「カラーレス印刷を行う」（140ページ）
415 416	nnn[*7]：**[*8] ﾄﾅｰｺｳｶﾝ LED ﾍｯﾄﾞ ｾｲｿｳ	消灯	点滅	廃トナーがいっぱいになりました。対象色のトナーカートリッジを交換し、LED ヘッドを清掃してください。 カラーレス印刷を行うことができます。 参照「カラーレス印刷を行う」（140ページ）
420	420：ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞﾌﾛｰ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ	消灯	点滅	メモリ不足です。「オンライン」スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをご購入ください。
430	430：ﾄﾚｲ 1 ﾐｿｳﾁｬｸ sss[*10]	消灯	点滅	トレイ1のカセットがセットされていません。表示されているサイズの用紙を入れたカセットをセットしてください。
440	440：ﾄﾚｲ 1 ﾐｿｳﾁｬｸ ﾄﾚｲ 1 ｦ ｾｯﾄｽﾙ	消灯	点滅	トレイ 2 から印刷しようとしたが、走行路にあたるトレイ1のカセットがセットされていません。カセットをセットしてください。
461	461:ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ sss[*10] ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ	消灯	点滅	トレイ 1 の用紙のサイズが違います。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、印刷指定の用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
462	462:ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ sss[*10] ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ	消灯	点滅	トレイ 2 の用紙のサイズが違います。リセットスイッチを押してジョブをキャンセルするか、印刷指定の用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
490	490：MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼﾅｼ sss[*10] ｦ ｲﾚﾃ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ	消灯	点滅	マルチパーパストレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙をセットして「オンライン」スイッチを押してください。
491	491：ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾅｼ sss[*10]	消灯	点滅	トレイ 1 に用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	492：ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ ﾅｼ sss[*10]	消灯	点滅	トレイ 2 に用紙がありません。またはトレイ 2 から印刷しようとしましたが、トレイ2のカセットが抜かれていて給紙できません。表示されているサイズの用紙を入れてください。

コード nnn	オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
540 541 542 543	nnn[*11]：****[*5] ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ ｶｰﾄﾘｯｼﾞ / ﾚﾊﾞｰ ｶｸﾆﾝ	消灯	点滅	トナーセンサーに異常が発生しているか、またはドラムカートリッジがセットされていません。対象のトナーカートリッジおよびドラムカートリッジが正しくセットされているか確認してください。トップカバーの開閉でメッセージが消える場合はそのまま使用してください。
544 545 546 547	nnn[*12]：****[*5] ﾛｯｸﾚﾊﾞｰ ｴﾗｰ ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶｸﾆﾝｽﾙ	消灯	点滅	トナーカートリッジのレバーがロックされていません。ロックレバーをセットしてください。
560 561 562 563	nnn[*13]：****[*5] ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ LED ﾍｯﾄﾞ ｾｲｿｳ	消灯	点滅	ドラムカートリッジの寿命です。新しいドラムカートリッジと交換し、LED ヘッドを清掃してください。
610 611 612 613	nnn[*14]：****[*5] ﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ ﾄﾅｰｦ ｾｯﾄｽﾙ	消灯	点滅	トナーカートリッジがセットされていません。エラー対象となったトナーカートリッジをセットしてください。
550 551 552 553 620 621 622 623	nnn[*15]：****[*5] ﾄﾅｰ ﾋ ｼﾞｭﾝｾｲ ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｽﾙ	消灯	点滅	トナーカートリッジが正しくありません。トナーカートリッジを交換してください。

*1：紙づまり発生時以外は、電源が入っている状態で両面ユニットを抜かないでください。
*2：nnn は 340(Y)/341(M)/342(C)/343(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
3： は左づめで K/Y/M/C の順番で同時に表示されます。
*4：nnn は 350(Y)/351(M)/352(C)/353(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
5： は左づめで K/Y/M/C の順番で同時に表示されます。
*6：nnn は 410(Y)/411(M)/412(C)/413(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
*7：nnn は 415(M)/416(C) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
8： は左づめで M/C の順番で同時に表示されます。
9： は Y/M/C が個別に表示されます。
*10：sss は用紙サイズが表示されます。
*11：nnn は 540(Y)/541(M)/542(C)/543(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
*12：nnn は 544(Y)/545(M)/546(C)/547(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
*13：nnn は 560(Y)/561(M)/562(C)/563(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
*14：nnn は 610(Y)/611(M)/612(C)/613(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。
*15：nnn は 550(Y)/551(M)/552(C)/553(K)、または 620(Y)/621(M)/622(C)/623(K) で、優先度の高いものが 1 つ表示されます。

サービスコールに関するメッセージ

コード nnn	オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
***	nnn：FATAL ERROR POWER OFF/ON	消灯	点滅	プリンタに異常が発生しています。電源をオフ / オンしてください。復旧しない場合は、ハードウェア修理相談センターへご連絡ください。エラーコードが 005/031/036 の場合は、下記の確認も行ってください。
	nnn：FATAL ERROR aaaaaa bbbbbb cccccc*1 POWER OFF/ON			
	nnn：FATAL ERROR SERVICE CALL			
	nnn：FATAL ERROR aa*1 SERVICE CALL			
	nnn：FATAL ERROR aaaaaa bbbbbb cccccc*1 SERVICE CALL			
―	COMMUNICATION ERROR	消灯	点滅	プリンタ RAM モジュール取り付け時に本エラーが発生した場合は、プリンタ RAM モジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。 「プリンタ RAM モジュールの取り付け方」（73 ページ）の取り付け手順に従って、プリンタ RAM モジュールを取り付け直してください。 それでも復旧しない場合は、ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。
005 031 036	nnn：FATAL ERROR SERVICE CALL	消灯	点滅	プリンタ RAM モジュールのチェックエラーです。エラーコードに応じて、以下のように対処してください。 ・エラーコードが 005/031 の場合 プリンタ RAM モジュールを取り付け直してください。 ・エラーコードが 036 の場合 純正品のプリンタ RAM モジュールを使用してください。

*1：a、b、c の部分には数字が表示されます。

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を 2 行目に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

ガイド

警告が複数発生している場合は、順番に表示が切り替わります。エラーが発生している場合は、警告は表示されません。

オペレータパネル表示	オンラインランプ	エラーランプ	内容
□ ｿｳﾁ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	不定	本製品の寿命です。新しい製品と交換してください。
□ ****[*1] ﾏﾓﾅｸ ﾄﾅｰｷﾞﾚ	不定	点灯	**** 部に表示された色のトナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。このメッセージは、廃トナーがいっぱいになりかけているときにも表示されます。 「トナー ナシ」と表示された場合はプリンタが停止します。早急に新しいトナーカートリッジに交換してください。
□ ****[*1] ﾏﾓﾅｸ ﾄﾞﾗﾑｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。**** 部に表示された色のドラムカートリッジを準備してください。
****[*1] ﾄﾅｰ ﾋ ｼﾞｭﾝｾｲ	不定	点灯	**** 部に表示された色のトナーカートリッジが純正品ではありません。
****[*1] ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	**** 部に表示された色のドラムカートリッジが寿命です。早急に新しいドラムカートリッジに交換してください。 このメッセージは、ドラムカートリッジが寿命に達し、トップカバーの開閉で一時的に復旧した場合に表示されます。
□ ﾒﾓﾘ ﾌｿｸ (ﾌﾞﾀﾝｲ)	不定	不定	部単位印刷のためのメモリが不足しています。指定された部数ではなく、1 部のみ印刷されます。「オンライン」スイッチ以外は無効です。「オンライン」スイッチを押して表示を消してください。
mmmm ｦ MP ﾄﾚｲﾆ ｾｯﾄｼﾃ ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ	点灯	消灯	手差し印刷を行います。mmmm に表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、「オンライン」スイッチを押してください。
ｵﾝﾗｲﾝｦ ｵｽ ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝ	不定	不定	無効データ受信時にオンラインスイッチを押して、ワーニング表示の解除をうながします。
□ ttttt ﾖｳｼ ﾅｼ	不定	点灯	トレイ 1/2 または MP トレイの用紙がなくなった、またはトレイが抜かれています。用紙を入れてください。
□ ﾏﾓﾅｸ ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着器（定期交換部品）の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター（199 ページ）に連絡してください。

オペレータパネル表示	オンライン ランプ	エラー ランプ	内容
□ ﾏﾓﾅｸ ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ベルトユニット（定期交換部品）の寿命が近づいています。保守担当窓口またはハードウェア修理相談センター（199 ページ）に連絡してください。
□ ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	定着器の寿命です。印刷品質が保証できません。新しい定着器に交換してください。 トップカバーを開閉すると一時的にメッセージが解除されます。
□ ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ	不定	点灯	ベルトユニット（定期交換部品）の寿命です。印刷品質が保証できません。新しいベルトユニットに交換してください。 トップカバーを開閉すると一時的にメッセージが解除されます。
□ ***[*2] ﾄﾅｰ ﾅｼ	不定	点灯	*** 部に表示された色のトナーがない状態で、残った黒トナーを使用してカラーレス印刷を行っているときに表示されます。カラー印刷に戻すためには、*** 部に表示された色のトナーカートリッジを交換し、カラーレスモードを無効にしてください。 参照「カラーレス印刷を行う」（140 ページ）
□ **[*3] ﾊｲﾄﾅｰﾌﾙ	不定	点灯	** 部に表示された色の廃トナーがいっぱいになった状態で、残った黒トナーを使用してカラーレス印刷を行っているときに表示されます。カラー印刷に戻すためには、** 部に表示された色のトナーカートリッジを交換し、カラーレスモードを無効にしてください。 参照「カラーレス印刷を行う」（140 ページ）

1： は左づめで K/Y/M/C 色の順番に一括表示されます。
2： は左づめで Y/M/C 色の順番に一括表示されます。
3： は左づめで M/C 色の順番に一括表示されます。

7

運用編

付 録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-C2260 の各仕様を示します。

印刷方式	LED を露光光源とする電子写真方式
印刷速度 *1 （コピー動作による連続印刷時） 単位：ページ / 分	定形サイズ

			片面印刷	両面印刷
カラー	普通紙／薄い紙	A4	26	20
	厚い紙	A4	26	20
	より厚い紙	A4	20	−
	ごく厚い紙	A4	10	−
	OHP フィルム	A4	9	−
	ラベル紙	A4	10	−

			片面印刷	両面印刷
モノクロ	普通紙／薄い紙	A4	32	24
	厚い紙	A4	32	24
	より厚い紙	A4	24	−
	ごく厚い紙	A4	12	−
	OHP フィルム	A4	10	−
	ラベル紙	A4	10	−

ウォームアップ時間	電源投入後 60 秒以内（パワーセーブ復旧後 45 秒以内）
解像度	600 × 600dpi、600 × 1200dpi
用紙種類	・マルチパーパストレイ 普通紙／再生紙 (64g/ ㎡〜 74g/ ㎡)、厚紙(75g/ ㎡〜 200g/ ㎡)、 郵便はがき (190g/ ㎡)、郵便往復はがき (190g/ ㎡)、 封筒 (85g/ ㎡)、OHP フィルム、ラベル紙 (0.1 〜 0.2mm) ・用紙トレイ 1 普通紙／再生紙 (64g/ ㎡〜 74g/ ㎡)、厚紙(75g/ ㎡〜 120g/ ㎡) ・用紙トレイ 2(拡張給紙ユニット) 普通紙／再生紙 (64g/ ㎡〜 74g/ ㎡)、厚紙(75g/ ㎡〜 175g/ ㎡)
用紙サイズ	・マルチパーパストレイ A4、A5、A6、B5、レター、リーガル ユーザ定義サイズ（幅 64 〜 215.9mm、長さ 148 〜 1200mm） はがき、往復はがき、 封筒（長形 3 号、長形 4 号、洋形 4 号、210 x 297mm） ・用紙トレイ 1 A4、A5、A6、B5、レター、リーガル ・拡張給紙ユニット A4、A5、B5、レター、リーガル
給紙容量	・マルチパーパストレイ 約 120 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合） ・用紙トレイ 1 約 350 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合） ・拡張給紙ユニット（オプション） 約 650 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合） ・最大給紙容量：1120 枚 （拡張給紙ユニット使用時）

排紙容量	・フェイスダウントレイ：約 250 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合） ・フェイスアップトレイ：約 100 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合）
両面印刷	用紙種類：　普通紙(64 ～ 104g/ ㎡) 用紙サイズ：　A4、A5、B5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ （幅 148 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm）
メモリ	256MB（オプションを 1 枚増設可能、最大 512MB）
使用環境条件 *2	温度（℃） 32 28 27 25 17 10 印刷最適領域 印刷領域 （結露しないこと） 湿度（%） 20　50　70 80
電源	AC100V ± 10%、50/60Hz（安定した正弦波であること） 注意：本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。
消費電力	動作時：　最大 1200W、平均 510W 待機時：　平均 100W 節電時：　最大 17W
突入電流	最大突入電流　70A 以下（定着器ヒーター ON 時突入時間：10m 秒以下）
騒　音	稼動時：55.6dB(A) 以下 待機時：37.0dB(A) 以下
外形寸法	プリンタ本体：　幅 435mm、奥行き 621mm、高さ 340mm フルオプション：　幅 435mm、奥行き 621mm、高さ 488mm
質　量	プリンタ本体：　約 28.9kg（消耗品含む） フルオプション：　約 42.3kg（消耗品および用紙最大量含む）
インターフェース	USB2.0 準拠 USB インターフェース 100BASE-TX/10BASE-T LAN インターフェース
対応ネットワーク	TCP/IP (IPP, HTTP, BPP, LPR, DHCP, SNMP, SMTP, DNS, RAW (Port9100))
プリンタシーケンス	XL プリンタドライバ（XL-C2260 専用）
文字・書体	日本語 4 書体（明朝体、ゴシック体）、欧文 84 書体
装置寿命 *3	5 年（8 時間／日）または 42 万ページ印刷のいずれか早いほう

*1：・薄い紙～より厚い紙の印刷速度は、用紙トレイ 1 から印刷したときの値です。他の給紙口からの印刷時は印刷速度は遅くなります。
・ごく厚い紙の印刷速度はマルチパーパストレイから印刷したときの値です。トレイ 2 から印刷した場合、カラー印刷の印刷速度が 9.5 ページ / 分になります。
・ユーザ定義サイズの印刷速度は、用紙の長さによって変動します。

*2：印刷最適領域を超えて使用した場合には、印字品質が低下することがありますので、印刷最適領域内での使用をお勧めします。

*3：装置寿命のページ数は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、およびプリンタ本体の電源 ON・OFF による初期化動作の頻度などにより異なります。また、本製品には、有寿命部品、消耗品や定期交換部品が含まれています。詳しくは、「有寿命部品／消耗品／定期交換部品について」（189 ページ）を参照してください。

・日間 500 ページ (連続印刷時) または日間 200 ページ (間欠印刷時) を超えて使用した場合は、印刷品質が低下することがあります。

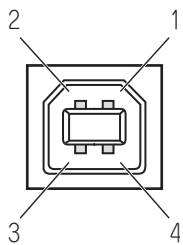
・上記の印刷ボリュームでの継続使用は故障の原因となります。月間 2,000 ページ程度までの使用が安定した品質を維持できる目安です。

・上記のページ数はあくまでも目安であり、動作を保証するものではありません。

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、USB インターフェースを採用しています。

● USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様
  USB 仕様の Revision2.0 準拠
- インターフェースコネクタ
  プリンタ側：B レセプタクル（メス）
- ケーブル
  XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- 伝送モード
  High Speed(最大 480Mbps)、Full Speed(最大 12Mbps)
- 電力制御
  セルフパワーデバイス
- USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

●拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF65CC	2 段目として使用できる給紙ユニットです。650 枚（64g/ ㎡ 用紙の場合）積載可能な給紙カセット 1 段の構成です。

●プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256CC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタケーブル

・ USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/7/ Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応しています。

有寿命部品／消耗品／定期交換部品について

●有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（22 ℃／ 55%RH）において 1 日約 8 時間のご使用で約 5 年、または 42 万ページ印刷（A4 サイズ、一回の印刷が 3 ページのジョブの印刷を繰り返したときの 1 ページを 1 とカウント）のいずれか早いほうです。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。交換の際は「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、高圧電源基板など

●消耗品について

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

参照 「サプライ品一覧」（190 ページ）参照

●定期交換部品について

- 本製品には、その性能／機能を維持するためにサービスエンジニアによる交換作業が必要な定期交換部品が含まれています。より長く安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。定期交換部品の種類および交換周期は、「定期交換部品一覧」（193 ページ）をご参照してください。

参照 「定期交換部品一覧」（193 ページ）参照

- 定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて、詳しくは富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。（http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/）
- 補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。

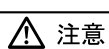
● 24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。
サプライ品のご購入については、本製品をお買い求めの販売店、または富士通コワーコにご相談ください。

「富士通コワーコお客様総合センター」
通話料無料　0120-505-279
月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始を除く）
URL:http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

より良い印刷品質が得られるよう、下記の用紙のご使用をお勧めします。

⚠ 注意

故障　トナーカートリッジ／ドラムカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のカートリッジを取り付けると、カートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となるおそれがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A4	0411610	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	B5	0411640	
	A5	0411630	
再生オフィス用紙 ER (古紙 70%、グリーン購入法適合用紙)	A4	0416560	500 枚× 10 冊で 1 ケース *1*2
	B5	0416580	500 枚× 5 冊で 1 ケース *1*2
OA ラベル A4(単票用紙)II	A4	0412270	12 面付× 100 シート／ケース
トナーカートリッジ CL113（ブラック）		0809150	約 5,000 ページの印刷が可能なトナーカートリッジです。*3 有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。
トナーカートリッジ CL113（イエロー）		0809160	
トナーカートリッジ CL113（マゼンタ）		0809170	
トナーカートリッジ CL113（シアン）		0809180	
ドラムカートリッジ CL113（ブラック）		0809450	約 20,000 ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。*3 有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。 なお、約 1,200 ページの印刷が可能なトナーカートリッジが添付されています。*3
ドラムカートリッジ CL113（イエロー）		0809460	
ドラムカートリッジ CL113（マゼンタ）		0809470	
ドラムカートリッジ CL113（シアン）		0809480	

*1：再生紙は、吸湿しやすい性質をもっており、包装紙から取り出した状態で放置された用紙を使用すると、紙詰まりや用紙シワなどが発生する場合があります。再生紙使用時は、必要枚数のみをプリンタにセットし、残った用紙は元の包装紙に戻して密閉保管してください。
*2：フェイスアップスタッカに排紙する場合、スタック不良になる場合がありますので、フェイスダウンスタッカの使用をお奨めします。
*3：A4 サイズ、印字率 5% 原稿を一回の印刷が 3 ページの印刷ジョブを繰り返した場合の目安です。ただし、実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや、本体の電源オン・オフに伴う初期動作などにより異なることがあります。

ガイド

・トナーカートリッジやドラムカートリッジは富士通純正品をお使用ください。純正品以外のカートリッジを使用されますと、印刷品質の低下やプリンタの故障の原因となることがあります。富士通純正品以外のカートリッジを使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。
・再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。

付

印刷確認済みの用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです（印刷確認は、包装された状態の用紙を、印刷直前の包装紙から取り出して実施しています）。
なお、印刷確認済み用紙の情報は、このマニュアル発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

商品名	商品名	備考／注意事項
富士通コワーコ（株）	オフィス用紙 MP（A4、B5）	
（株）沖データ	エクセレントホワイトA4長尺(210×1200mm)	商品番号 :PPR-CT4DA 125 枚× 1 束 *1
小林クリエイト（株）	NPI 上質紙 90kg　A4 タテ目	
	NPI 上質紙 110kg　A4 タテ目	
	NPI 上質紙 180kg　A4 ヨコ目	
住友スリーエム（株）	OHP フィルム　CG3720 （A4）	
郵便局などで発売	郵便はがき	多色刷りはがきは除く
（株）イムラ封筒	封筒　Y4C-108（洋形 4 号）	*2
	封筒　N3S-108（長形 3 号）	*2
	封筒　N4S-108（長形 4 号）	*2
コクヨ（株）	LBP-A69X/F7XXX シリーズ（A4）	

*1：坪量 128g/ ㎡、サイズ 210 × 1200mm の用紙です。プリンタドライバを「ごく厚い紙（121 ～ 200g/ ㎡）」に設定して印刷してください。
*2：坪量 85g/ ㎡の用紙を使った封筒です。高湿環境で開封放置した用紙に印刷すると、シワになることがあります。

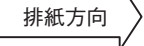
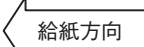
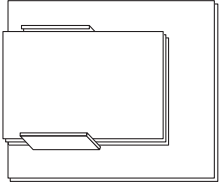
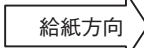
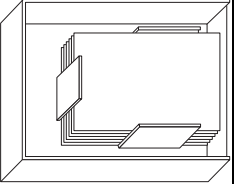
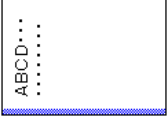
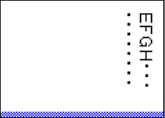
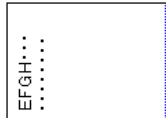
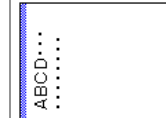
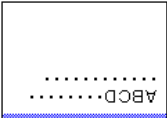
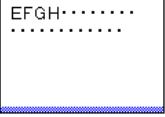
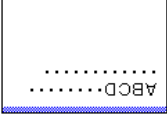
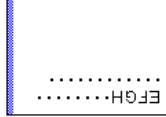
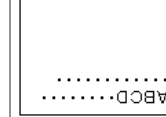
定期交換部品一覧

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換の際は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（199 ページ）にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて、詳しくは富士通公開ホームページ「製品サポート」のコーナーをご覧ください。（http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/）
補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。

品名	交換目安	表示（*3）	交換時期の症状（*4）
定着器	60,000 ページ（*1）	表示 1 マモナク テイチャクキ　ジュミョウ 表示 2 テイチャクキ　ジュミョウ	・黒線が印刷される ・等間隔に汚れる ・指でこするとトナーがかすれる ・用紙にシワが付く（印刷された後のシワ） ・太い文字や図形に影が出る（約 87mm 周期の残像）
ベルトユニット	60,000 ページ（*2）	表示 1 マモナク ベルト　ジュミョウ 表示 2 ベルト　ジュミョウ	－

*1：A4 サイズで片面印刷したときの目安です。各用紙の縦方向の長さに対して 13 インチごとにページカウントするため、リーガル用紙は 2 カウント、ユーザ定義サイズ（210x1200mm）用紙は 4 カウントとなり、実際の寿命ページ数は減少します。
*2：A4 サイズで一回の印刷が 3 ページの片面印刷ジョブを繰り返したときの目安です。1 ページの片面印刷ジョブを繰り返した場合には、約半分のページ数で寿命になります。
また、実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや本体の電源オン・オフに伴う初期動作などにより、異なることがあります。
*3：オペレータパネルの液晶ディスプレイの 2 行目に表示されます。
表示 1：　交換時期が近づいてきたときに表示されます。ただし、用紙の種類や使用条件などによっては、このメッセージが表示された時点で交換が必要な場合があります。
表示 2：　交換時期になると表示されます。
*4：表中に記載されている症状が頻繁に発生するようになったときには、定期交換部品の早期交換をお勧めします。

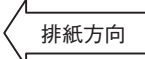
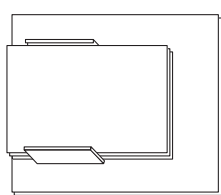
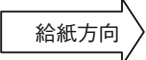
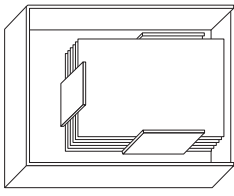
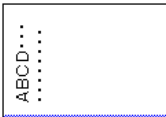
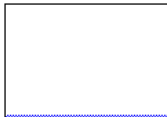
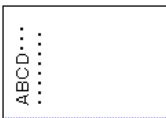
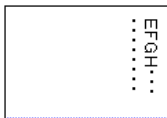
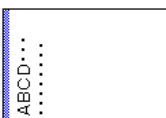
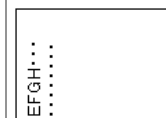
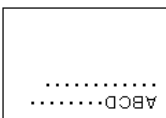
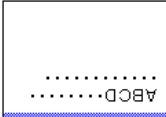
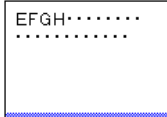
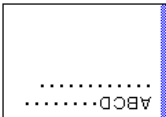
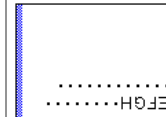
用紙関係

本製品は、用紙トレイやマルチパーパストレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。
以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応、印刷可能領域を示します。

印刷方向

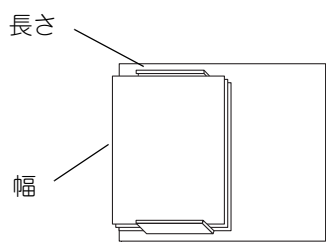
印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定と、印刷されるイメージの方向との関係は次のとおりです。

印刷の向き、印刷面、とじ方などの設定については、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「ソフトウェア編」参照

●印刷方向（排出先：フェイスダウントレイ）

用紙セット方向	印刷の向き (Nup)	印刷面	とじしろ位置（太線（▒）部分） 長辺とじ 排紙した状態 排紙方向	長辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態	短辺とじ 排紙した状態 排紙方向	短辺とじ 右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態
			裏	表	裏	表
・マルチパーパストレイ 給紙方向 セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦 (1up/4up/9up/16up) 横 (2up/6up/8up)	片面 (*1)		ABCD・・・		
		両面 (*2)	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・
・用紙トレイ (*3) 給紙方向 セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦 (2up/6up/8up) 横 (1up/4up/9up/16up)	片面 (*1)		ABCD・・・		
		両面 (*2)	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・

*1：片面印刷時は、とじ位置を指定できません。
*2：A6、はがき、往復はがきは、両面印刷できません。
*3：A6 は用紙トレイ 2 にはセットできません。また、ユーザ定義サイズは用紙トレイにセットできません。

付

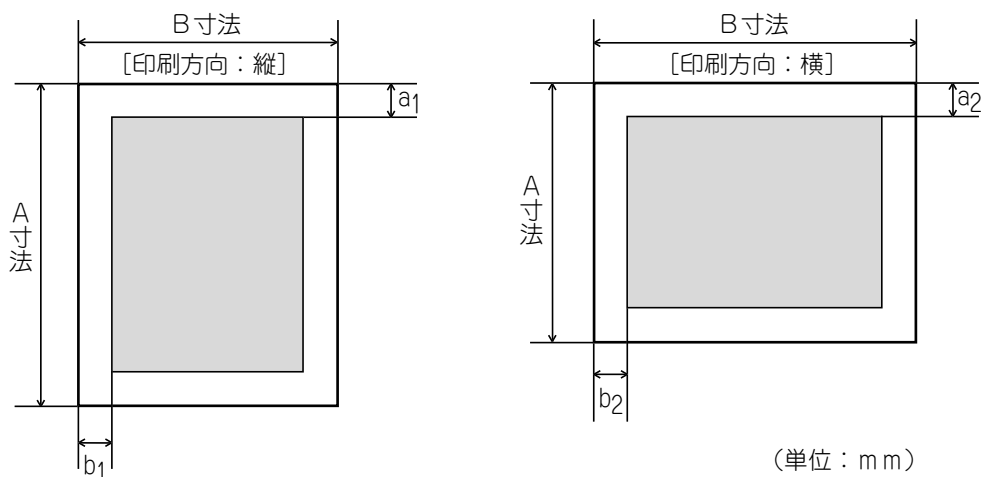
*4：ユーザ定義サイズでは、幅を長さよりも大きく指定した場合は、横長でセットしてください。

●印刷方向（排出先：フェイスアップトレイ）

用紙セット方向	印刷の向き (Nup)	印刷面	とじしろ位置（太線（　）部分）			
			長辺とじ		短辺とじ	
			排紙した状態 排紙方向	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態	排紙した状態 排紙方向	右側の辺（点線側）を軸にして表に返した状態
			表	裏	表	裏
・マルチパーパストレイ 給紙方向 セット時の上面が、片面印刷の表側、両面印刷の裏側になります。	縦 (1up/ 4up/ 9up/ 16up) 横 (2up/ 6up/ 8up)	片面 (*1)	ABCD・・・			
		両面 (*2)	ABCD・・・	EFGH・・・	ABCD・・・	EFGH・・・
・用紙トレイ (*3) 給紙方向 セット時の上面が、片面印刷の裏側、両面印刷の表側になります。	縦 (2up/ 6up/ 8up) 横 (1up/ 4up/ 9up/ 16up)	片面 (*1)	ABCD・・・・・・・・			
		両面 (*2)	ABCD・・・・・・・・	EFGH・・・・・・・	ABCD・・・・・・・・	EFGH・・・・・・・・

*1：片面印刷時は、とじ位置を指定できません。
*2：A6、はがき、往復はがきは、両面印刷できません。
*3：A6 は用紙トレイ 2 にはセットできません。また、ユーザ定義サイズは用紙トレイにセットできません。

*4：ユーザ定義サイズでは、幅を長さよりも大きく指定した場合は、横長でセットしてください。

印刷可能領域

本製品で印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

・a1=a2=5.08mm、b1=b2=5.08mm

用紙サイズ	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
A 寸法	297	257	210	355.6	279.4	148
B 寸法	210	182	148	215.9	215.9	100

印刷保証領域は、各辺から 6.35mm 内側の領域になります。できるだけこの範囲に印刷することをお勧めします。

アフターサービスについて

・ご購入の際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
・保証書は日本国内のみで有効です。
・無償保証期間は、ご購入日より6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
・本製品の定期交換部品、補修用性能部品の最低保有期間は製造終了後5年です。ご了承ください。
・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
・故障の際は下記にご連絡ください。
「ハードウェア修理相談センター」
通話料無料　0120-422-297
受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
通話料無料　0120-950-222
受付時間：平日 9:00 ～ 17:00
（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）
・プリンタのご使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／ SE にお問い合わせください。なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

お願い

・お問い合わせの際は、オペレータパネル左横に記載されているシリアル番号（LD*****）をお知らせください。**
また、オペレータパネルにエラーコード（3 桁の番号）が表示されている場合は、あわせてお知らせください。

●使用済みドラムカートリッジ／トナーカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みのドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行なっております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。
『エコ受付センター』
通話料無料　0120-300-693
月曜～金曜　8:40 ～ 12:00 および、13:00 ～ 17:30(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）
ご協力をお願いいたします。

付

●修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

設定内容の印刷を行う

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態であることを確認する
次のいずれかの状態であることを確認します。
・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている
・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている
・オペレータパネルに「パワーセーブ」と表示されている

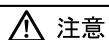
② オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、「オンライン」スイッチを押す
オペレータパネルに「オフライン」と表示されていることを確認します。

③「メニュー＋」または「メニュー－」スイッチを押し、インフォメーションメニューを表示する

④「設定」スイッチを押す

⑤「セッテイナイヨウインサツ」が表示されていることを確認し、「設定」スイッチを押す
設定の一覧の印刷が開始されます。

拡張給紙ユニットを取り外す

「拡張給紙ユニットを取り外す」（72 ページ）参照

けが	・必ず 2 人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

本製品の廃棄について

製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html) をご覧ください。

索 引

り